# 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン

~ 子育てで選ばれる町!おおいそ~

進行管理書《令和6年度》

大磯町

## 目 次

1.	実施計画進行状況	•••••	1
2.	事業一覧表	•••••	2
3.	進捗管理シート	•••••	6
	進捗管理シートの見方		6
	基本目標1		8
	基本目標 2		46
	基本目標3		78
	基本目標 4		124
	基本目標 5		152
	基本目標 6		176
4.	量の見込みと確保方策	•••••	198
	幼児期の教育・保育		198
	地域子ども・子育て支援事業	••••	201
5	第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン総括	•••••	214

#### 1. 実施計画進行状況

第2期大磯町こども笑顔かがやきプラン

~ 子育てで選ばれる町!おおいそ~

#### 基本方針

- ① 安心して子どもを産み、育てられる子育で環境づくりの促進
- ② 家庭、地域、行政が連携し子どもを育てていく体制づくりの促進
- ③ 多様な保育サービスなど子育て支援機能の充実

#### 計画の目標値

	評価指標	単位	現況	R2	R3	R4	R5	R6	目標
実績	0~14歳の人口割合	%	11.5 (H30)	11.1	11.1	10.9	10.8	10.6	11.5

#### 評価の基準

全計画からの事業の評価方法であるABC評価については、継続的に実施している事業は「B」とされ、 行政サービスを安定して提供することの評価が適当な評価となっていないことから、継続している事業 の評価等を見直し、次のとおり新たに定めた。

A…事業目標を達成した、または達成した事業を継続的に実施できている。

B… 事業目標に達していないが、概ね成果があった。

C…事業が未着手、または検討段階にある。

※ 各事業において、担当課ごとに進捗状況が異なる場合は、評価の高いもので集計する。

#### 計画事業の進行状況一覧表(令和6年度)

基本目標	項目	-	事業数		
→ 基个口信 	模 日	Α	В	С	尹未奴
1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	14	5	0	19
2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	14	1	1	16
3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	12	11	0	23
4	地域が支える子育て環境づくり	8	5	1	14
5	子育てと仕事の両立支援	9	3	0	12
6	心配りが必要な子どもたちへの支援	9	2	0	11
	計	66	27	2	95

### 2. 事業一覧表

基本目標	施策の方向		通しNo.	事業名(具体的事業)	5年間の目標	区分	所管課
			-		・継続実施	継続	学校教育課
	1 - 1	1	1	老朽化した設備の整備	・継続実施	継続	子育て支援課
	教育・保育環境の整備	2	2	公立幼稚園・公立保育所のあり方に ついての検討	・継続実施	継続	子育て支援課
				保育士、教諭の質の向上(研修、人	・組織的な学校研究への取組実施率100%	継続	学校教育課
	1 2	1	3	材育成)	<ul><li>・私立園への補助金交付</li><li>・継続実施</li></ul>	継続	子育て支援課
	1-2 質の高い教育・保育、地域子育		4	mt 1 + 2 */-	・継続実施	継続	学校教育課
	て支援	2	4	魅力ある教育・保育の推進	・継続実施	継続	子育て支援課
		3	5	少人数指導や外部人材の活用	・「地域ふれあい学習」協力者 延べ2,000人/年	継続	学校教育課
		4	6	職業体験学習などのキャリア教育の 推進	・中学校3年間の学習の中で、全ての生徒が職業体験学習を行う	継続	学校教育課
		(1)	7	子ども同士の交流	・継続実施	継続	子育て支援課
	1 - 3	(1)	'	」とも同工の交流	・「地域ふれあい学習」協力者 延べ2,000人/年	継続	学校教育課
	小学校教育への円滑な移行	2	8	幼稚園、保育所、小学校のネット	・継続実施	継続	学校教育課
1. 子どもた		)	Ů	ワーク強化(円滑な移行)	・継続実施	継続	子育て支援課
ちの生きる力		1	9	 親子同士のコミュニケーション講座	・継続実施	継続	生涯学習課
を育む環境づ	1 – 4				· 継続実施	継続	子育て支援課
< 1)	家庭教育への支援	2	10	町内幼稚園・保育所等における相談 環境の整備	・各子育て関連施設に 1 人 (コーディネーター) 配置)	継続	子育て支援課
		1	11	乳幼児とのふれあい体験	・継続実施	継続	学校教育課
		2	12	性に関する正しい知識の啓発	・継続実施	継続	学校教育課
		3	13	喫煙や薬物使用の知識啓発	・継続実施	継続	学校教育課
					・各中学校1回/年(町内全中学校開催)	継続	町民課
	1-5 子どもの心と体の健康づくり	4	14		・大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委 員会1回/年	継続	学校教育課
		(5)	15	自殺対策の推進	・各小中学校1回/年	新規	スポーツ健康課
		)			・各小中学校1回/年	新規	学校教育課
		6	16	町内幼稚園・保育所等巡回歯磨き指 導	・町内各園等1回/年	新規	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		( <u>1</u> )	17	規則正しい食生活の推進	・継続実施	継続	スポーツ健康課
		)		7700 E Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z	・継続実施	継続	産業観光課
	1 – 6	2	18	食生活に関する講座の開催	・食育講座8回/年	継続	スポーツ健康課
	食育の推進	3	19	給食の充実	・小学校給食の地場産物(県内産)の使用割合 30%	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		1	20	学童保育の推進	・継続実施	継続	子育て支援課
		2	21	放課後子ども教室の推進	・実施回数の増加	継続	子育て支援課
	2-1 子どもの居場所づくり	1 の日間で ぎょり 3 2 全ての子どもの居場所づくりの推進 へん吸引剤・放床後」とも応召ノノノ語		・大磯町新・放課後子ども総合プラン推進委員会 2回/年	継続	子育て支援課	
2. 子どもの 心豊かな成長		4	23	公園等の整備	・公園・緑地の樹木剪定の実施 ・遊具点検及び修繕1回/年	継続	都市計画課
を育む環境づ					・継続実施	継続	子育て支援課
< 1)	2 - 2	1	24	地域住民との交流事業	・「地域ふれあい学習」協力者 延べ2,000人/年	継続	学校教育課
	世代間交流の充実				・人材登録者数100人	継続	生涯学習課
					・継続実施	継続	福祉課
		2	25	青少年指導員活動	・自主事業3回/年	継続	生涯学習課

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5年間の目標	区分	所管課
		(1)	26	各幼稚園・保育所等や学校における	・継続実施	継続	学校教育課
	2 - 3	(I)	20	スポーツの取組	・継続実施	継続	子育て支援課
	スポーツ活動の推進	2	27	スポーツ少年団活動やスポーツ推進 委員の活動支援	・継続実施	継続	スポーツ健康課
		3	28	スポーツ大会や教室の開催	・継続実施	継続	スポーツ健康課
			29	地域の伝承文化に親しむ郷土愛の育 成	・継続実施	継続	生涯学習課
		(2)	30	文化・芸術体験の機会の提供	・「青少年おもしろ講座」3回/年	継続	生涯学習課
2. 子どもの		٧	30	大し・云門 体験の 成五の延尺	・継続実施	継続	学校教育課
心豊かな成長 を育む環境づ くり	2 - 4	3	31	読書活動の推進	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年 ・団体貸出用児童書の購入冊数100冊/年 ・おはなし会の参加人数1,500名/年 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数 100冊/年	継続	生涯学習課
					・継続実施	継続	学校教育課
	2 - 5	1	32	環境学習の推進	・各小学校の施設見学 1回/年 ・子供向け体験学習の実施 1回/年	継続	環境課
	子どもの健全育成	2	33	人権教育	・継続実施	継続	学校教育課
		3	34	平和学習	・継続実施	継続	総務課
	2 - 6 社会参加への支援	1	35	子どもの意見を反映する機会の充実	・継続実施	継続	政策課
		1	36	母子の健康保持、増進(新生児・未 熟児訪問)	・対象児の全数把握、全数訪問	継続	子育て支援課 (スポーツ健康課)
					・マタニティースクール10回/年	継続	子育て支援課(スポーツ健康課)
	3 - 1 妊娠、出産から子育てまで切れ 目ない支援	2	37	出産育児不安の解消(情報提供・訪問・子育で講座等)	・こんにちは赤ちゃん事業(乳幼児全戸訪問事業)訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」 訪問率100% ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 ・健康に関する講座5回/年	継続	子育で支援課 (スポーツ健康課)
		3	38	不妊等への支援	・継続実施	継続	子育て支援課(スポーツ健康課)
		4	39	乳幼児健診、予防接種の推進	·乳幼児健診受診率100% ·予防接種率100%	継続	子育て支援課(スポーツ健康課)
		(5)	40	母子の健康保持、増進(産後ケア事業)	・デイサービス型実施施設数1か所 ・アウトリーチ型 対象家庭への訪問率100% ・宿泊型実施施設数1か所	新規	子育て支援課 (スポーツ健康課)
<ol> <li>子育て家庭にとって安全で安心なま</li> </ol>		6	41	利用者支援事業(母子保健型)	・妊産婦の全数把握 ・子育て世代包括支援センター1か所 ・妊婦健康診査受診率100%	新規	子育て支援課 (スポーツ健康課)
ちづくり		1	42	救急医療の確保	・継続実施	継続	スポーツ健康課
		2	43	妊婦健康診査	・受診率100%	継続	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		3	44	周産期・小児医療の確保	・継続実施	その他	スポーツ健康課
	3 - 2 医療体制の充実	4	45	新生児聴覚検査	・受診率100%	新規	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		(5)	46	産婦健康診査	・受診率100%	新規	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		6	47	歯と口腔の健康づくり	· 2 歲児歯科健診受診率100% · 継続実施	新規	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		1	48	児童手当の支給	・継続実施	継続	子育て支援課
		2	49	こども医療費の助成(~R5 小児医療の助成)	・継続実施	継続	子育て支援課
	3 - 3	3	50	養育医療	・継続実施	継続	子育て支援課
	経済的な支援	4	51	就学援助	・継続実施	継続	学校教育課
		(5)	52	ひとり親への援助	・継続実施	継続	子育て支援課
		6	53	障がいを持つ子どもへの援助	・継続実施	継続	子育て支援課
		7	54	保育料以外の実費負担への費用助成	・継続実施	継続	子育て支援課

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5 年間の目標	区分	所管課
				公園や道路等の環境整備、バリアフ	・町内歩道整備延長L=943m	継続	建設課
		1	55	リー	(国府本郷西小磯1号線、幹線28号線)	和全的记	(道路課)
					・町内全ての公園で点検・修繕、公園検査を実施	継続	都市計画課
3. 子育て家		2	56	公共施設での子育て支援(授乳室や ベビーベット等)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年	継続	子育て支援課
庭にとって安	3 – 4				・町内の防犯灯の維持管理	継続	町民課
全で安心なま	生活環境の整備	(3)	57	通学路や公園などの安全確保	・公園・緑地の樹木剪定の実施	継続	都市計画課
ちづくり			0,	NE JAH ( AMI O C 1 X I NE PR	・遊具点検及び修繕1回/年	NET NO.	BE TE HI CLUM
					・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	町民課
		4	58	交通安全、防犯対策	・継続実施	継続	学校教育課
					・子どもSOS事業推進研修会1回/年	継続	生涯学習課
					・継続実施	継続	子育て支援課(スポーツ健康課)
		1	59	気軽に相談できる環境の整備	・継続実施	継続	子育て支援課
		-			11-1967-20G	1,50	子育て支援課
		(2)	60	子どもの病気や発育の相談体制	・継続実施	継続	(スポーツ健康課)
		(2)	00	」ともの例がで発育の相談体制	· 継続実施	継続	子育て支援課
				町内仏鉄国・伊玄武等におけて玄田	4年4960人が日	192196	313 (2000)
		3	61	町内幼稚園・保育所等における育児 相談	・各園1人ずつ配置(コーディネーター)	継続	子育て支援課
	4 - 1			作談	<ul><li>・新生児(未熟児)訪問 対象児の全数把握、全</li></ul>		
	子育て相談体制の充実				数訪問		フカイナゼ神
					 ・産後ケア事業(アウトリーチ型)対象家庭への	継続	子育て支援課(スポーツ健康課)
					訪問率100%		()VIII ) DEDICAN
		4	62	妊婦、乳幼児訪問	・こんにちは赤ちゃん事業(乳幼児全戸訪問事		
4. 地域が支					業)訪問率100%		
					・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育で応援団」	継続	子育て支援課
える子育て環 境づくり					訪問率100%		
		(5)	63		・継続実施	継続	学校教育課
		1	64	つどいの広場事業	・利用者数15,000人/年	継続	子育て支援課
	4 - 2 子育て支援の充実	2	65	保育所開放保育、幼稚園施設開放	・体験入園1回/月	拡充	子育て支援課
		3	66	一時預かりの促進	・継続実施	継続	子育て支援課
		4	67	子育て短期支援事業の充実	・検討継続	継続	子育て支援課
		(5)	68	主任児童委員、民生委員・児童委員	・継続実施	継続	福祉課
		9	00	の活動	· 枪机关///	和空形化	佃仙林
	4 - 3	1	69	ネット等による情報発信	・継続実施	継続	子育て支援課
	子育て情報の発信	2	70	子育て情報誌 (ガイドブック) の発 行	・継続実施	継続	子育て支援課
	4 - 4	1	71	保育ボランティアの活動支援	・継続実施	継続	子育て支援課
	子育て世代の社会参加への支援	2	72	ファミリー・サポート・センター事	・会員数の拡充	継続	子育て支援課
	」日(日)(47]工工多加,40人後	(	12	業の促進	ムス数~juj.jb	445T	」日、又1及1本
		( <u>1</u> )	73	待機児童解消(保育所・小規模保育	· 待機児童数 0 人	拡充	子育て支援課
		•	13	事業所等の充実)	らぬル生外マハ	JJAJ J U	」日、又3反床
		2	74	保育所・認定こども園・小規模保育	・継続実施	継続	子育て支援課
		٠	, ,	事業所等の事業実施の支援	10年10七人110	1921/96	
	F 1	3	75	認定こども園の活用	・継続実施	継続	子育て支援課
5. 子育てと	5 - 1 多様な保育サービスの提供	4	76	育休、産休明け保育の充実	・子育てコンシェルジュ 3か所配置	拡充	子育て支援課
仕事の両立支		(5)	77	延長、一時、休日、夜間保育	・継続実施	継続	子育て支援課
		(a)	78	病児、病後児保育	・利用児童数 年間延べ80人以上	継続	子育て支援課
援		6					1
援		7		保育士の確保	・継続実施	継続	子育て支援課
援		7	79	保育士の確保 利用者への支援(子育てコンシェル			
援		<del>-</del> -				継続拡充	子育て支援課子育て支援課
援	5 – 2	7	79	利用者への支援(子育てコンシェル	・子育てコンシェルジュ 3か所配置		
援	5-2 放課後児童対策の充実	<ul><li>(7)</li><li>(8)</li></ul>	79 80	利用者への支援(子育てコンシェル ジュ等) 学童保育の充実	・子育てコンシェルジュ 3か所配置 ・コーディネーター 8人配置	拡充	子育て支援課

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5 年間の目標	区分	所管課
			82	男女共同参画の講演会、講座	・「大磯町男女共同参画推進プラン」の見直し及び新プランの策定 ・男女共同参画講演会・講座を年1回以上実施	継続	町民課
5. 子育てと 仕事の両立支 援	5 – 3				・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	生涯学習課
		(		男女が共に子育てに参加する環境づ	・マタニティースクール 5回/年	継続	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		2	83	くりの推進	・イクメン講座 3回/年	継続	子育て支援課
					・ファミリー教室 3回/年	継続	生涯学習課
		3	84	事業所への啓発	・パンフレット配布 70事業所	継続	産業観光課
				(発達) 障がいのある子どもへの支	・継続実施	継続	子育て支援課 (スポーツ健康課)
		1	85	援	・子ども発達支援会議3回以上/年	継続	子育て支援課
	6 - 1 配慮が必要な子どもへの支援				・継続実施	継続	福祉課
		2	86	園や学校における人材配置や相談体	・子ども発達支援会議3回以上/年	継続	子育て支援課
				制	・継続実施	継続	学校教育課
					・相談件数100件/年	継続	子育て支援課
		3	87	専門職による相談機能の充実	・継続実施	継続	子育て支援課 (スポーツ健康課)
					・継続実施	継続	福祉課
					・継続実施	継続	学校教育課
	6 - 2 児童虐待防止体制の充実	1	88	ネットワークの強化	・要保護児童対策地域協議会(代表者会議ほか) 8回/年 ・研修会1回/年	継続	子育て支援課
6. 心配りが				早期把握や支援(乳幼児訪問・養育	・継続実施	継続	子育て支援課 (スポーツ健康課)
必要な子ども		2	89	支援訪問)	・こんにちは赤ちゃん事業(乳児全戸訪問事業) 訪問率100%	継続	子育て支援課
		3	90	家事や育児への援助	・利用件数200件/年、会員数200人	継続	子育て支援課
		4 9		地域の見守りの充実	・こんにちは赤ちゃん事業(乳児全戸訪問事業) 訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」 訪問率100%	継続	子育て支援課
		(5)		児童虐待防止の予防	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催	継続	子育て支援課
		(1)	93	相談員、スクールカウンセラーの配	・継続実施	継続	学校教育課
	6 – 3	Ì		置	・継続実施	継続	子育て支援課
	いじめや不登校への対応	2	94	保護者、児童の相談体制	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		1		就学援助(再掲)	・継続実施	継続	学校教育課
		2	52	ひとり親への援助(再掲)	・継続実施	継続	子育て支援課
	6 – 4	(3)	95	スクールソーシャルワーカー等と福	・継続実施	新規	学校教育課
	子どもの貧困への対策	Š		祉の連携	・継続実施	新規	子育て支援課
		4	54	保育料以外の実費負担への費用助成 (再掲)	・継続実施	継続	子育て支援課

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	I
事 業 名	老朽化した設備の整備	学校教育課/子育て支援課
基本目標、		課名
施策の方向、	】教育·保育環境の整備	
当初計画事業概要	安全で快適な学校及び園生》 づいた計画的な整備を行いま  基本目標  →子育ての様々な	課題の解決に向けて設定した目標
目標値 区分	継続実施 施策の方向性 →基本目標を実現するため	その他
		(事業終了)
進 捗 状 況	目標値	  コロナの影響による)、C(未着手または検討段階)
年 度	課 ⇒5年間で目指す取り組みの目標値	実績評価
令和2年度	学校 設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。 育課	で施設運営のために必要な保守点検等を行い、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。また、修繕や改修、さらには改築を計画的に実施し、これらに必要な予算をできるだけ平準化するため、大磯町教育施設等長寿命化計画を策定した。
(実績)	<b>育</b> 画的な整備を行う。	国府保育園3歳児保育室マルチエアコン取替修繕、園 庭壁面時計修繕、大磯幼稚園外廊下照明器具修繕工 事、たかとり幼稚園公共下水道接続工事、非常用電源 設置工事、保育園、幼稚園遊具修繕の実施の他、各園 で必要な修繕等を実施した。
令和3年度	学校 校校 校校 校教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。 育課	学校施設運営のために必要な保守点検等を行い、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として各小中学校に自動水栓の設置や網戸の設置を行った。
(実績)	育 画的な整備を行う。 て 支	国府保育園沐浴室改修修繕、I階ホールサッシアクリル板修繕修繕、大磯幼稚園保育室フローリング他修繕、たかとり幼稚園4歳児保育室手洗修繕、保育園・幼稚園遊具修繕の実施の他、各園で必要な修繕等を実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育園・幼稚園自動水栓設置工事を実施した。

年 度 課 年度別事業目標 実績 字 安全で快適な学校生活を送ることができるよう、大磯 可教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の修繕等の維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。 お	
マ 和 4 年 度	年 度
( 実 績 ) で	令和4年度
町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の 維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。 学校 校教教	(実績)
育 改修工事などを実施した。 また、学校教育施設整備基本構想を策定し、町立小中学校4校の整備内容及び時期を具体的にロードマップとして示した。	今和5年度
( 実 績 ) 安全で快適な園生活を送ることができるよう、施設、設 国府保育園照明器具LED化交換工事、職員室空調機 備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計 画的な整備を行う。 カース カース カース カース カース カース カース カース の他、各園で必要な修繕等を実施した。	
安全で快適な学校生活を送ることができるよう、大磯町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。  令和6年度 (実績)  安全で快適な園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。  令和6年度実績  令和6年度実績  令和6年度実績	
評価Cの場合	評価Cの場合

令和6年度の評価がCの場合、理由や対応策

第	52期ナ	で磯町子と	ぎも笑顔かか	ヾやきプラン 進捗管	理シート			1	
事 業	名	老朽化し	た設備の整	<u></u> 登備		学校教育課。	/子育て支援課		
基本目	標	I	子どもたち	ちの生きる力を育む	環境づくり				
施策のブ	方向	1-1	教育·保育	育環境の整備					
当 初 計	画		•						
事業概	要		適な子校及の	び園生活を送ることが ういます。	· (さるよ)、	<b>他改、改相</b>	の維持官珪を1] )と	○ もに、総合計画に	- 左
目標	値	継続実施	i						
区分		¥	所規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗状	況	評価基準:/	A(事業達成また	は継続実施)、B(概ね成界	見あり)、B <b>*</b> (新	「型コロナの影	√響による)、C(未着手ます	たは検討段階)	
年	度	課	年	F度別事業目標			実績		評
令和2年	E 度	学 設備		を生活を送ることができる 行うとともに、総合計画 う。	に基づいた	設・設備の( また、修繕 <sup>く</sup> れらに必要	営のために必要な保守 多繕等の維持管理を行 っ改修、さらには改築を な予算をできるだけ平立 等長寿命化計画を策な	った。 計画的に実施し、こ 隼化するため、大磯	,
<b>、                                    </b>		子   備の		活を送ることができるようとともに、総合計画に 。	基づいた計	庭壁面時計 事、たかとり 設置工事、(	3歳児保育室マルチエ  修繕、大磯幼稚園外崩  幼稚園公共下水道接終  呆育園、幼稚園遊具修修    続等を実施した。	了下照明器具修繕工 読工事、非常用電源	
令和3年	E 度	学 町教	育施設等長寿	を生活を送ることができる 計命化計画に基づいた施 ともに、計画的な整備を行	設、設備の行う。	設・設備の値 また、新型コ	営のために必要な保守 多繕等の維持管理を行 ロナウイルス感染症対 の設置や網戸の設置を	った。 策として各小中学校	
マ 和 3 1		子   備の		活を送ることができるようとともに、総合計画に 。	基づいた計	板修繕修繕 たかとり幼和	沐浴室改修修繕、1階 、大磯幼稚園保育室フ 性園4歳児保育室手洗の実施の他、各園で必	ローリング他修繕、 修繕、保育園・幼稚	

安全で快適な学校生活を送ることができるよう、大磯 野校施設運営のために必要な保守点検等を行い、大 側 町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の修繕等の維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。 また 国府小学校非常放送設備工事、大磯中学校3号				· ·	
学校 校	年 度	課	年度別事業目標	実績	評価
# 中華	令和4年度	校教育	町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の	磯町教育施設等長寿命化計画等を踏まえ、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。 また、国府小学校非常放送設備工事、大磯中学校3号	Α
明教育施設等長寿命化計画等を踏まえ、施設・設備の維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。  学校校教育課  令和5年度 (実績)  子育 て  安全で快適な園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画のな整備を行う。  安全で快適な園生活を送ることができるよう、施設、設園所保育園照明器具LED化交換工事、職員室空調機の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画のな整備を行う。  安全で快適な園生活を送ることができるよう、施設、設園が推園窓がラス修繕、たかとり幼稚園テラス雨極改修工事の他、各園で必要な修繕等を実施した。 エ事の他、各園で必要な修繕等を実施した。  安全で快適な学校生活を送ることができるよう、大磯町教育施設等長寿命化計画等を踏まえ、施設・設備の修繕等の維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。  安全で快適な学校生活を送ることができるよう、大磯町教育施設等長寿命化計画等を踏まえ、施設・設備の修繕等の機力等を踏まえ、施設・設備の修繕等の機力等を踏まえ、施設・設備の修繕等の維持管理を行うた。主な修繕工事としては、大磯小学校では扉や手すりなどの木製建具の修繕や照明器具修繕、国府小学校で	( 実 績 )	育て支援	備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計	タイル・天井等補修工事、乳児室・5歳児保育室空調機 設置工事、大磯幼稚園   階保育室引き戸等修繕、屋外 トイレ修繕、たかとり幼稚園職員室前廊下雨漏り修繕の	Α
( 実 績 )	今 和 5 年 座	校教育	町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の	磯町教育施設等長寿命化計画等を踏まえ、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。 主な修繕工事としては、大磯小学校では照明器具更新修繕や家庭科室ロールスクリーン交換修繕、国府小学校では救助袋更新修繕や門扉修繕、大磯中学校では放送室放送設備更新工事や体育館照明更新工事、国府中学校では理科室給湯器交換修繕やテニスコート改修工事などを実施した。 また、学校教育施設整備基本構想を策定し、町立小中学校4校の整備内容及び時期を具体的にロードマップ	Α
町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の 維持管理を行うとともに、計画的な整備を行う。 校 校 *********************************		育て支援	備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計	更新工事、園舎北側屋根等漏水箇所修繕工事、大磯 幼稚園窓ガラス修繕、たかとり幼稚園テラス雨樋改修	Α
育 大磯中学校では体育館鉄棒支柱及び握り棒修繕や3 階教室のサッシ修繕、国府中学校では普通教室ロッカー改修工事や非常階段の踊り場補強修繕などを実	令和6年度	校教育	町教育施設等長寿命化計画に基づいた施設、設備の	磯町教育施設等長寿命化計画等を踏まえ、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。 主な修繕工事としては、大磯小学校では扉や手すりなどの木製建具の修繕や照明器具修繕、国府小学校では教室床の改修や体育館のバレー床金具更新修繕、大磯中学校では体育館鉄棒支柱及び握り棒修繕や3階教室のサッシ修繕、国府中学校では普通教室ロッカー改修工事や非常階段の踊り場補強修繕などを実	Α
(実績) 子育備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。 て支援		育て支	備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計	等漏水箇所改修工事、給食調理室修繕工事、給水バルブ修繕工事、大磯幼稚園正面玄関門扉戸車交換工事、自動水栓交換工事、保育室空調室内機水漏れ修繕、たかとり幼稚園保育室インターホン設置工事、屋外通路照明灯設置工事、北側敷地防草シート設置工事の	
	評価Cの場合				

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	2
事 業 名	公立幼稚園・公立保育園の在り方についての検討	子育て支援課
基本目標	l 子どもたちの生きる力を育む環境づくり	•
施策の方向	-  教育・保育環境の整備	
当 初 計 画		
事 業 概 要	公立幼稚園・保育所の定員の見直し等について検討し	ます。
目 標 値	継続実施	
区分	新規    継続    拡	充 完了 その他 (事業終了)
進 捗 状 況	評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(乳	新型コロナの影響による)、C(未着手または検討段階)
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )		令和6年度の開園をめざして町立幼稚園 I 園を幼保連携型認定こども園へ移行する計画について検討を行い、対象施設を大磯幼稚園とすること、また手法を民営化による公私連携幼保連携型認定こども園への移行とすることと決定し、事業の方向性を具体化した。
令和3年度 ( 実 績 )		アンケート調査(回答数72件)、大磯幼稚園保護者への意見交換(参加者6名)等を実施し、事業への理解を求めるとともに意見聴取を行い、事業の参考とした。また、設置運営事業者の募集・選定準備を行った。

			2	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 (実績)	認定こども園運営法人の公募及び選定認定こども園運営法人による建築設計	私連携幼保 選定した。そ	園設置運営事業者選定委員会を開催し、公 R連携型認定こども園の設置運営事業者を その後、町長の方針転換に基づき、町立認定 備に向けての準備及び、保護者説明会(参 )を行った。	
令和5年度 (実績)	町立認定こども園整備工事実施設計業務委託	化あるいは 除せずにゼ の早期開園 保連携型認 を決定し、	園の開園及び待機児童対策について、町立民間の力を借りるか、いずれの可能性も排「ロベースで再検討した結果、認定こども園園の実現に寄与できる民営化(公私連携幼認定こども園)で園舎を新設(新築)すること令和4年度に選定委員会により選定した事品運営事業者として再選定した。	С
令和6年度 (実績)	設置運営事業者による施設整備準備(新園舎の設計等)		の開園をめざして、設置運営事業者と連携の基本設計や国交付金の申請手続き等を	В
評価Cの場合		1		
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	9	<b>第2</b> 期	大利	磯町子と	も笑顔かな	がやきこ	プラン 進持	步管理·	シート			3		
事	業	名	,	保育士、	教諭の質の	の向上	(研修、人材	才育成)	)		学校教育	課/子育	て支援課	
基	本目	目 標	5	1	子どもた	ちの生	きる力を育	む環境	竟づくり					
施	策の	方向	)	1-2	質の高い	教育・	保育、地域	子育で	[支援					
当	初言	十 画	Į								0			
事	業材	兓 要		完校教育 子育で支援 ・・・す。	を図ります。 の高い幼児 推園教諭及	期の教育 び保育:	育・保育を推 士の質の向	<u>進</u> する 上を目:	ために、 指し、各	人材確保	ープが行う様々な に向けた助成事員 テい人材育成の3	業の実施を	図ります。	
目	標	値	<u> </u>	字校教育 私立	成的な学校研 「園への補助 記実施			₹100%						
	区分	`		亲	<b></b> f規		継続		拡	充	完了 (事業終了)		その他	
進	捗 丬	犬 沥	Z	評価基準:A	A(事業達成ま7	たは継続	実施)、B(概れ	2成果あり	),B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着	<b>手または検討</b>	付段階)	
年		度	Ę	課	ک	年度別	事業目標				実績	į		評価
今	和 2	年 度	F	学 人グ	研究所事業と ループが行う 実を図る。					中学校にて	び個人グループが			А
	実		L	子一町」	育士就労支援 立幼稚園及び 質向上を図る	保育園の	の職員を対象	た、教師		和3年度実 ・「ヨガを通 共に、子どる 師を招き研	労支援事業交付金施に向けた制度設して体の歪みや姿 もたちへの指導法を 修を実施する予定 染症感染拡大防止	計を行った。 勢を整える方 : 学ぶ」をテー であったが、	法を知ると -マとし、講 新型コロナ	В*
~	≨n ⊃	年 中	F	学 人グ	育研究所事業 ループが行う 実を図る。					実施して、教 ・研究部及 研究の充実 ・教育研究	ヾ教育課題に応じて 対職員の資質向上: び個人グループがご を図った。 所が中心となり、特 ・ムマネジメントにつ	を図った。 行う研究を支 別研究として	援し、教育 CICTの活用	Α
	令和3年度 ( 実 績 )		· .	子 一 町	育士就労支援 立幼稚園及び 質向上を図る	保育園の	の職員を対象	とに、教師	<b>夢として</b>	育士2名に ・保育の資 みや姿勢を	労支援事業交付金 対して交付金を交付 質向上支援研修と 整える方法を知る 、」等をテーマとし、2	付した。 して「ヨガをシ と共に、子どマ	通して体の歪 もたちへの指	

				3		
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価	
令和4年度		· 校教育課 子	教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個 人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究 の充実を図る。	実施して、オ ・研究部及 研究の充実 ・教育研究	が教育課題に応じてテーマを設定し、研究を 教職員の資質向上を図った。 び個人グループが行う研究を支援し、教育 ミを図った。 所が中心となり、特別研究としてICT活用と カリキュラムマネジメントについて研究を行っ	А
(実績)	子育て支援課	・保育士就労支援事業交付金制度の実施 ・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師として の資質向上を図る研修会を企画、実施。	付対象者0 ・保育の資	労支援事業交付金制度の運用を行った(交 )人)。 質向上支援研修として「乳幼児の病気とケ 等をテーマとし、年3回の研修会を企画、実	В	
令和5年度	学校教育課	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個 人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究 の充実を図る。	実施して、オ ・研究部及 研究の充実 ・教育研究 一貫教育に	が教育課題に応じてテーマを設定し、研究を 救職員の資質向上を図った。 び個人グループが行う研究を支援し、教育 €を図った。 所が中心となり、特別研究として幼保小中 に向けてのカリキュラム・マネジメントと接続期 ラムマネジメントについて研究を行った。	А	
(実績)	子育て支援課	・保育士就労支援事業交付金制度の実施。制度継続 の必要性について検討。 ・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師として の資質向上を図る研修会を企画、実施。	付対象者7 ・保育の資 ラム等、指導	労支援事業交付金制度の運用を行った(交 '人)。 質向上支援研修として「アプローチカリキュ 導計画やエピソード記録の作成」等をテーマ  の研修会を企画、実施した。		
令和6年度	学校教育課	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個 人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究 の充実を図る。	実施して、表 ・研究部及 研究の充実 ・教育研究 幼保小中-	牧職員の資質向上を図った。 び個人グループが行う研究を支援し、教育	А	
(実績)	子育て支援課	・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師として の資質向上を図る研修会を企画、実施。	付対象者 I ・保育の資 気とケガの の向上を目		Α	

評価Cの場合

	第	2期大	:磯町子と	も笑顔かた	がやきプラン 進捗管	理シート			4	
事	業	名	魅力ある	教育・保育	の推進			学校教育課。	/子育て支援課	
基	本 目	標	- 1	子どもたっ	ちの生きる力を育むヨ	環境づくり				
施	策の力	7 向	1-2	質の高い	教育·保育、地域子	育て支援				
当	初計	画								
事	業概	要	学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学校での外国 交評議員等に 推園、保育所等	アー・タブレットPC等、ICT語活動を通じて、異文化・よる外部からの意見を受 等の子ども同士の交流やさために芸術鑑賞の場を提	への興味・関け、次年度の 幼稚園の教	心を深め、=  教育計画に	1ミュニケーション能力( 生かします。	の育成に努めます。	進し
目	標	值	継続実施							
	区分		亲	<b></b> f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:/	A(事業達成また	たは継続実施)、B(概ね成果	₹あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	課	ź	年度別事業目標			実績		評価
-	和 2 年 実 績		学校教育課・町	果的に活用し 学校での外国 を深め、コミュ 交評議員等に 育計画に生か	アー・タブレットPC等、ICT た教育を推進。 語活動を通じて、異文化・ ユニケーション能力の育成 よる外部からの意見を受いす。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	への興味・ に努める。 け、次年度	けの研修会 ように努めた ・外国人を通 ニケーション・学校評議! の教育計画	「機器の利用状況につを実施し、ICT機器が多き。 語指導助手2名を雇用 じて、異文化への興味 がおいて、といいでは、一般では、 責等による外部からの対 に生かした。 度に合併60周年事業	効果的に活用される し、小学校での外国 ・関心を深め、コミュ 。 意見を受け、次年度	Α
	大利	. )	子あい	交流を図る。 立幼稚園の全	児童を対象とした芸術鑑		交流事業「い して、人形劇	及には別のの周年ず来 いそっこフェスティバル」  の公演を行う予定でま 快症感染拡大防止の勧	」や、芸術鑑賞の場と ろったが、新型コロナ	В*
	和3年	· ·	学校教育・小関・学	果的に活用し 学校での外国 を深め、コミュ	アー・タブレットPC等、ICT た教育を推進。 語活動を通じて、異文化・ ユニケーション能力の育成 よる外部からの意見を受 いす。	への興味・ に努める。	について研究	所が中心となり、特別研究を実施し、その成果を の推進に努めた。		А
	実 績		子 あい	交流を図る。 立幼稚園の全	<b>進園と保育園を超えた年長</b> 児童を対象とした芸術鑑		内の幼保交変更し、町内 変更し、町内 作品展を実 ・町立幼稚園	・ウイルス感染症拡大防 流事業「いそっこフェス 日年長児童が制作した・ 施した(参加者8園19 園・保育園の全児童をき した(参加者3園232	ティバル」の内容を 作品を展示する合同 8名)。 対象とした芸術鑑賞	B*

					4	
年	度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年		校 教	・大型テレビモニター・タブレットPC等、ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。・小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。・学校運営協議会委員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。(修正)	を実施し、 進に努めた ・外国人英 語活動を通 ニケーション ・各校の学	所が中心となり、ICTの活用について研究その成果を各校で共有して、ICTの活用の推会。語指導助手2名を雇用し、小学校での外国党で、異文化への興味・関心を深め、コミュン能力の育成に努めた。校運営協議会において、委員の意見を踏ま標・教育計画を策定した。	А
(実績		子育て支援課	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれ あい交流を図る。 ・町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を 提供。	催し、ダンス 者8園 I 67 ・町立幼稚	保交流事業「いそっこフェスティバル」を開 スやかけっこをとおして交流を深めた(参加 名)。 園・保育園の全児童を対象とした芸術鑑賞 もした(参加者3園237名)。	Α
令和5年	度	学校教育課	・大型テレビモニター・タブレットPC等、ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 ・小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。 ・学校 <u>運営協議会委員</u> 等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。(修正)	を実施し、 進に努めた ・外国人英 語活動を通 ニケーション・各校の学	所が中心となり、ICTの活用について研究その成果を各校で共有して、ICTの活用の推。。語指導助手2名を雇用し、小学校での外国位で、異文化への興味・関心を深め、コミュン能力の育成に努めた。校運営協議会において、委員の意見を踏ま標・教育計画を策定した。	А
( 実 績		育	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれ あい交流を図る。 ・町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を 提供。	催し、ダンス 者7園 I 43 加)。 ・町立幼稚	保交流事業「いそっこフェスティバル」を開 くやかけっこをとおして交流を深めた(参加名。感染症による学級閉鎖のため I 園不参園・保育園の全児童を対象とした芸術鑑賞した(参加者3園219名)。	Α
令和6年	度	学校教育課	・大型テレビモニター・タブレットPC等、ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 ・小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。・学校運営協議会委員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。(修正)	を実施し、な進に努めた・外国がを通いからを通いなりでは、からないでは、からないでは、教育課	語指導助手2名を雇用し、小学校での外国 値で、異文化への興味・関心を深め、コミュ ン能力の育成に努めた。 校運営協議会において、委員の意見を踏ま 題に対し、その方策を模索した。	А
(実績	)	育	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれ あい交流を図る。 ・町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を 提供。	催し、ワーク びながら各 ・町立幼稚	保交流事業「いそっこフェスティバル」を開 アショップの体験を通じてSDGsの基礎を学 園と交流を深めた(参加者8園 I 28名)。 園・保育園の全児童を対象とした芸術鑑賞 もした(参加者3園200名)。	Α
評価Cの場	合					
未着手の理由 後 の 対 応						

	第 ———	2期大	スペスス (機町子ども笑顔かた)	がやきプラン 進捗管	理シート			5	
事	業	名	小人数指導や外部	人材の活用			学校	教育課	
基	本 目	標	l 子どもた	ちの生きる力を育む	環境づくり				
施	策の力	5 向	1-2 質の高い	、教育·保育、地域子	育て支援				
当	初計	· 画	<u>'</u>						
事	業 概	要	・豊富な知識や経験な習」を実施します。 ・中学校部活動充実の	形態を工夫し、基礎・基 を有する人を指導協力: のため、地域指導者を氵	者として依頼	頂し、教育活			学
目	標	値	「地域ふれあい学習」	協力者延べ2,000人	/年				
	区分		新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(事業達成ま	 たは継続実施)、B (概ね成り	<b>果あり)、B*(</b>	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	年月	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 積		とともに、35人学級編成 ・豊富な知識や経験をす 教育活動の一層の充実 施。	態を工夫し、基礎・基本の 対を支援。 育する人を指導協力者とし さ図る「地域ふれあい学 ため、地域指導者を活用。	して依頼し、 習」を実	を図るととも 校に2名の ・豊富な知i 頼し(延べる 「地域ふれ	たに、35人学級編成を3 非常勤講師を配置。 識や経験を有する人を4 672人)、教育活動の一 あい学習」を実施。 な部活動等の活動充実	を援するため、小学 指導協力者として依 -層の充実を図る	В
	和 3 年 実 4		とともに、35人学級編成 ・豊富な知識や経験をす 教育活動の一層の充実 施。	態を工夫し、基礎・基本の 技を支援。 育する人を指導協力者とし さを図る「地域ふれあい学 ため、地域指導者を活用。	して依頼し、 習」を実	を図るととも 校に4名の・ ・豊富な知言 頼し(延べ「 「地域ふれ	たに、35人学級編成をす 非常勤講師を配置。 識や経験を有する人を打 702人)、教育活動の一 あい学習」を実施。 な部活動等の活動充実に	を援するため、小学 指導協力者として依 -層の充実を図る	В

				5	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
	4年度 績)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図る とともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、 教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実 施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。	を図るととす 校に5名の ・豊富な知 頼し(延べる 「地域ふれ	導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着 もに、35人学級編成を支援するため、小学 非常勤講師を配置。 識や経験を有する人を指導協力者として依 841人)、教育活動の一層の充実を図る あい学習」を実施。 交部活動等の活動充実のため、地域指導者 活用。	В
	5 年 度	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図る とともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、 教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実 施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。	を図るととす 校に5名の ・豊富な知 頼し(延べ) 「地域ふれ	導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着 もに、35人学級編成を支援するため、小学 非常勤講師を配置。 識や経験を有する人を指導協力者として依 653人)、教育活動の一層の充実を図る あい学習」を実施。 交部活動等の活動充実のため、地域指導者 活用。	В
	6年度 績)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。	を図るととす 校に5名の ・豊富な知 頼し(延べる 「地域ふれ ・小・中学材	導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着 もに、35人学級編成を支援するため、小学 非常勤講師を配置。 識や経験を有する人を指導協力者として依 823人)、教育活動の一層の充実を図る あい学習」を実施。 交部活動等の活動充実のため、地域指導者 3人)・部活動指導員(大磯式II人)を活	В
評価C	の場合				
	の理由と今 対 応 等				

		第2	期大	磯町子ど	も笑顔かた	がやきプラ	ン 進捗管	理シート			6	
事	,	ŧ	名	職業体験	学習などの	のキャリア	教育の推済	進		学校	交教育課	
基	本	目	標	1	子どもたっ	ちの生きる	カを育む!	環境づくり				
施	策の	方	向	1-2	質の高い	教育・保育	育、地域子	育て支援				
当	初	計	画		A // 5th M/						S	-
事	業	概	要	校種に応り	じたキャリア	教育を推進	<b></b> します。			的を持って学べるよ	うになることを日指し	八谷
目	桲	西京	值	中学校3年	<b>手間の学習</b> の	の中で、全 <sup>*</sup>	ての生徒が「	<b>職業体験</b> 学	学習を行う			
	区	分		新	f規	総	<sup>搖続</sup>	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	步	状	況	評価基準:A	(事業達成ま/	たは継続実施	)、B(概ね成界	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年			度		年月	度別事業日	目標			実績		評価
	和 2 実			徒が目的を	会的・職業的 持って学べる Jア教育を推	るようになるこ			童生徒が目 各校種に応 職場体験に	会的・職業的自立に向し 目的を持って学べるよう いたキャリア教育を推 いては、新型コロナット はから実施を見送った。	になることを目指し、 進。 ウイルス感染症拡大	B*
					☆的·職業的自					<的・職業的自立に向√		

			6	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 年 度 ( 実 績 )	将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。	童生徒が目 各校種に応 職場体験	会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児目的を持って学べるようになることを目指し、 窓じたキャリア教育を推進した。 については、短時間での見学やインタビューコロナウイルス感染拡大防止の観点からエいた	В
令和5年度 ( 実 績 )	徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に 応じたキャリア教育を推進。	童生徒が目 各校種に応 職場体験に により多様 学やインタリ	会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児 目的を持って学べるようになることを目指し、 窓じたキャリア教育を推進した。 こついては、地域コーディネーターの調整等 な体験先を開拓することができた。また、見 ビューなど、新型コロナウイルス感染症以前 近い形で実施した。	А
令和6年度 (実績)	徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に 応じたキャリア教育を推進。	童生徒が目 各校種に応 職場体験に により図書 験先を開拓	会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児目的を持って学べるようになることを目指し、 いたキャリア教育を推進した。 いては、地域コーディネーターの調整等 館や資料館等、公共施設を中心に多様な体 らすることができた。また、見学やインタビューコロナウイルス感染症以前の内容に近い形	
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第	2期大	磯町子と	も笑顔かな	がやきプラン 進捗管	理シート			7			
事	業	名	子ども同	士の交流				子育て支援言	果/学校教育課			
基	本 目	標	1	子どもた	ちの生きる力を育む環	環境づくり				,		
施	策の方	向	1-3	小学校教	対育への円滑な移行							
当	初計	画		•								
事	業 概	要	する 学校教育 学校教育 学校教育 学校 教育 学校 教育 学校 教育 学校 教育 学校	交流を図りま 呆小の連携活 対な案内や遊 交、家庭、地域	動の一環として、小学   年 びなどを通じての交流を図 え社会が連携・協力し、子ど 同士、子どもと大人、そして	生が小学杉 ります。 もの「生き	をに入学する	予定の幼稚園・保育所	等の園児を学校に招	習待		
目	標	値	子 育 て 支 援	実施	習」協力者 延べ2,000人	-/年						
	区分		亲	折規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他			
進	捗 状	況	評価基準:/	A(事業達成まれ	たは継続実施)、B(概ね成果	あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)			
年		度	課	٤	年度別事業目標			実績		評価		
令	年 度 令和2年度 (実績)		子が国施を対	図る。 計地区 町立幼 <sup>5</sup> 行う。	園と保育園を超えた年長児の 稚園2園と保育園の3園で合  稚園と私立保育所の交流を図	司保育の実	業「いそっこ」 が、新型コロ とした。 ・国府地区 施。 ・国府地区	フェスティバル」を引き続き	実施する予定であった 大防止の観点から中止 )2園で合同保育を実			
			学 案 ヴァマック 学 教 育 同士	る予定の幼稚園 や遊びなどを通 え、家庭、地域社 むとともに、地域 、大人同士、子 活動や体験活動	の一環として、小学「年生が 園・保育所の園児を学校に招名 園・保育所の園児を学校に招名 園じての交流を図る。 社会が連携・協力し、子どもの「 成の教育力の再生・充実を目割 どもと大人、そして幅広い年代 動、学習活動(「地域ふれあい	きし、学校 生きるカ」 旨し、子ども の人々との	ては、新型コ できなかった ・学校、家庭、 を育むととも 同士、大人同	担携活動の一環としての園ロナウイルス感染症感染抗。、、地域社会が連携・協力しに、地域の教育力の再生・ ]士、子どもと大人、そしては体験活動、学習活動(「地	大防止のため、実施 、子どもの「生きる力」 充実を目指し、子ども 届広い年代の人々との	В		
今	令和3年度					図る。 計地区 町立幼 <sup>5</sup> 行う。	園と保育園を超えた年長児の、 稚園2園と保育園の3園で合「 稚園と私立保育所の交流を図	司保育の実	保交流事業 年長児童が (参加者8園 ・国府地区 施。		の内容を変更し、町内 ト同作品展を実施した の年長で交流会を実	B*
	<ul><li>和3年度</li><li>( 実 績 )</li></ul>		学案が変数である。	る予定の幼稚園 や遊びなどを選 え、家庭、地域社 むとともに、地域 、大人同士、子	の一環として、小学「年生がなる」と保育所の園児を学校に招待 通じての交流を図る。 と会が連携・協力し、子どもの「 成の教育力の再生・充実を目指 どもと大人、そして幅広い年代 動、学習活動(「地域ふれあい	きし、学校 「生きる力」 旨し、子ども の人々との	ては、新型コ できなかった ・学校、家庭、 を育むととも 同士、大人同	連携活動の一環としての園ロナウイルス感染症感染症。、、地域社会が連携・協力しに、地域の教育力の再生・ ]士、子どもと大人、そしては体験活動、学習活動(「地	大防止のため、実施 、子どもの「生きる力」 充実を目指し、子ども 晶広い年代の人々との	В		

<ul> <li>( 実 編 ) 事 生 度 別事 業 目標</li></ul>					7	
# 表別名。	年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
学する予定の始報園・保育所の園児を学校に招待し、学校 教育 学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育かの再生・充実を目指し、子ども で 文流活動や体験活動、学習活動(「地域、北あい学習))を 育	令和4年度	育て支援	流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。	ンスやかけっ ・国府地区 ・国府地区	っこをとおして交流を深めた(参加者8園   67名)。 町立幼稚園と町立保育園の交流会を実施。 町立幼稚園と町立保育園の年長で町立保育園	
→ 1 国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施発症による学級問頭のため 園で参加)。 高原地区 町立幼稚園と町立幼稚園と町立外稚園と町立保育園の交流会を実施。 ・国府地区 町立幼稚園と町立保育園の東流会を実施。 ・国府地区 町立幼稚園と町立保育園の年長で町立保育園の給食を一緒に食べる交流の実施。 ・ 国府地区 町立幼稚園と町立保育園の経験を一様に食べる交流の実施。 ・ 当 が保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入がなどを通して交流を図る。 ・ 学校、家庭 地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との方流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習」)を指述した。	(実績)	校教育	学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校 案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」 を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども 同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との 交流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習」)を	遊びなどを選・学校、家庭を育むととも同士、大人同交流活動や	通して交流することができた。 、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」 に、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども 引士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との 体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習 872	В
・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学校案内や学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案 度、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流を動して、対局は、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習」)を推進。  ・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 ・国府地区町立幼稚園と限育園の3園で合同保育の実施を行う。・大磯地区町立幼稚園と私立保育所の交流を図る。 ・国府地区町立幼稚園と配立保育所の交流を図る。・国府地区町立幼稚園と町立保育園ので流会を実施。大磯地区町立幼稚園と町立保育園ので表会を実施。大磯地区町立幼稚園と町立保育園ので表会を実施、大磯地区町立幼稚園と小工保育園ので流会を実施、大磯地区町立幼稚園・・子ども園との交流会を実施、大磯地区町立幼稚園・・子ども園との交流会を実施。大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施、大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を実施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども園との交流会を支施・大磯地区町立幼稚園・子ども同じなどもに、地域・イン・大崎に入会・	令和5年度	育て支援	流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。	ンスやかけっ 感染症による ・国府地区 ・国府地区	ってをとおして交流を深めた (参加者7園   43名。 る学級閉鎖のため   園不参加)。 町立幼稚園と町立保育園の交流会を実施。 町立幼稚園と町立保育園の年長で町立保育園	В
子 育 で		校教育	学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校 案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」 を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども 同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との 交流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習」)を	遊びなどを選 ・学校、家庭 を育むととも 同士、大人同 交流活動や	通して交流することができた。 、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」 に、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども 引士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との 体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習 653	В
(実稿) ・幼保小の連携活動の一環として、小学   年生が小学校に入・幼保小の連携活動の一環として、園児と児童が学校案内や 学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校 遊びなどを通して交流することができた。	令和6年度	育て支援	流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。	クショップの/ 流を深めた・ ・国府地区・ ・国府地区 の給食を一組 大磯地区	体験を通じてSDGsの基礎を学びながら各園と交 (参加者8園128名)。 町立幼稚園と町立保育園の交流会を実施。 町立幼稚園と町立保育園の年長で町立保育園 緒に食べる交流の実施。 J立幼稚園・私立保育園・子ども園との交流会を	
校 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子どもを育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習 823 大」)を推進した。    大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習 823 大」)を推進した。		校教育	学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校 案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」 を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども 同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との 交流活動や体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習」)を	遊びなどを選 ・学校、家庭 を育むととも 同士、大人同 交流活動や	通して交流することができた。 、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」 に、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども 引士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との 体験活動、学習活動(「地域ふれあい学習 823	В
i i	評価Cの場合	<u>-</u>				

	第	2期オ	機町子と	. も关顔かか	「やきプラン 進捗管	埋シート			8	
事	業	名	幼稚園、	保育所、小	学校のネットワーク語	強化(円滑	な移行)	学校教育課。	/子育て支援課	
基	本 目	標	ı	子どもたち	ちの生きる力を育む	環境づくり				
施	策の方	向	1-3	小学校教	育への円滑な移行					
当	初計	画	1							
事	業 概	要	・小学校教 の教育に	教員が保育参 ついて理解を	見や研修会を開催する 対観をしたり、幼稚園・ を深めます。 小学校教員と幼稚園	保育所等職	銭員が小学:	校の授業を参観した	りすることにより、椎	目互
目	標	値	継続実施	i						
	区分		亲	所規	継続	拡	充	完了	その他	
.4	4t 415	217	~ / 女 甘 潍 . /	· / 吉 ** / + - + - + - + - + - + - + - + - + - +			Y #1    . 0	(事業終了)	± 1±1∆≥1≤0,00€)	
_	捗 状				は継続実施)、B(概ね成界	₹ <i>あり)</i> 、Β <b>*</b> (۶	新型コロナの:		たは検討段階)	T.
F		度	課		F度別事業目標 参観や研修会を開催する	ファレブ 40	・脚号明ブ	実績 は保育参観や研修会を	目促せてつレブ 40	部
<b>&gt;</b>	和 2 年	. 度	学校教育理学校教育理	教育について 学校教員が保 ・小学校の授業 について理解 学校入学前後	理解を深める。 育参観をしたり、幼稚園 きを参観したりすることに	・保育所職 より、相互の	互の教育に ・小学校教 員が小学校 教育につい ・小学校入	:ついて理解を深めた。 員が保育参観をしたり、	幼稚園・保育所職 ることにより、相互の ど幼稚園・保育所職	1
(	実績				て理解を深め、幼稚園が ができるようにする。	いらから小	の開催。 ・大磯地区 ・国府地区	学前後の連絡会の実施 年長児の小学校給食・ 園児向けの小学校紹か レス感染症により小学校 ったため)	本験 个動画の作成(新型	16
	• • •		互が 学校教育 学校教育	教育について 学校教員が保 ・小学校の授業 について理解 学校入学前後	参観や研修会を開催する 理解を深める。 育参観をしたり、幼稚園 きを参観したりすることに を深める。 に、小学校教員と幼稚園 かための連絡会を開催。	・保育所職 より、相互の	ムマネジメン 業研究を通 ・小学校教 員が小学校 ・小学校入	なの授業を参観したりす	講演会や保育・授いて理解を深めた。 幼稚園・保育所職ることにより、相互の と幼稚園・保育所職	)   ,
	和 3 年 実 績		3		いて理解を深め、幼稚園 ができるようにする。		の開催。	学前後の連絡会の実施 、国府地区 年長児の小コナウイルス感染症拡大		

				8	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	学校教育課	・職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深める。 ・小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深める。 ・小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	ムマネジメン 業研究を通 ・小学校教 員が小学校 教育につい ・小学校入	育研究所事業において、接続期のカリキュラント研究会を6回実施し、講演会や保育・授 近で、相互の教育について理解を深めた。 員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職 交の授業を参観したりすることにより、相互のいて理解を深めた。 学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職 な移行のための連絡会を開催。	Α
( 実 績 )	子育て支援課	・相互の教育について理解を深め、幼稚園からから小 学校へ円滑な移行ができるようにする。	員が小学校 教育につい ・小学校入 員が円滑ない ・年長児が	員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職 文の授業を参観したりすることにより、相互の へて理解を深めた。 学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職 よ移行のための連絡会を開催。 よる給食体験の実施。 小学校見学や小学校教員・児童への質問、 )映像視聴により、入学への不安軽減・期待 ・図った。	Α
令和5年度	学校教育課	・職員間では保育参観や研修会を開催することで、相 互の教育について理解を深める。 ・小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職 員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の 教育について理解を深める。 ・小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職 員が円滑な移行のための連絡会を開催。	ラムマネジを 授業研究を ・小学校教 員が小学校教 ・小学校入	育研究所事業において、「接続期のカリキュメント研究会」を5回実施し、講演会や保育・達通じて、相互の教育について理解を深め 員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職をの授業を参観したりすることにより、相互のかて理解を深めた。 学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職な行のための連絡会を開催。	Α
( 実 績 )	子育て支援課	・相互の教育について理解を深め、幼稚園からから小学校へ円滑な移行ができるようにする。	員が小学校 教育につい ・小学校 ・小が円滑ない ・年長児が	員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職での授業を参観したりすることにより、相互のいて理解を深めた。学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職は移行のための連絡会を開催。よる給食体験の実施。小学校見学や小学校教員・児童への質問、つ映像視聴により、入学への不安軽減・期待・図った。	Α
令和6年度	学校教育課	教育について理解を深める。	ラムマネジ 業研究を通 ・小学校教 員が小学校 ・小学校入	育研究所事業において、「接続期のカリキュメント研究会」を実施し、講演会や保育・授 近で、相互の教育について理解を深めた。 員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職 交の授業を参観したりすることにより、相互の いて理解を深めた。 学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職 な移行のための連絡会を開催。	А
令和6年度 ( 実 績 )	子育て支援課	・相互の教育について理解を深め、幼稚園からから小 学校へ円滑な移行ができるようにする。	員が小学校 教育につい ・小学校入 員が円滑ない ・年長児が	員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職 交の授業を参観したりすることにより、相互の へて理解を深めた。 学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職 は移行のための連絡会を開催。 よる給食体験の実施。 小学校見学や小学校教員・児童への質問、 D映像視聴により、入学への不安軽減・期待 と図った。	Α
評価Cの場合					
未着手の理由と今 後 の 対 応 等					

第2期大	、磯町子と	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			9		
事 業 名	親同士の	)コミュニケ	ーション講座			生涯学習課	/子育て支援課		
基本目標	I	子どもたっ	ちの生きる力を育むヨ	環境づくり					
施策の方向	1-4	家庭教育	への支援						
当初計画		-							
事 業 概 要	–		どもをもつ保護者及び を考え家庭教育を実践				て中に学習を行うこ	とに	
目 標 値	継続実施								
区分	亲	新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他		
進捗状況	評価基準:	4(事業達成また	たは継続実施)、B(概ね成果	!あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)		
年 度	課	白	<b>F度別事業目標</b>			実績		評価	
令和2年度	生 ファミ 涯 学 習 課	リー教室を年3	回開催		・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため予定していた講座を中止とした。 ・次年度以降に向けた講座準備				
(実績)		で講座、母親詩 メン講座の開催	護座等を24回以上/年開催 計		・お母さんのためのペアレント・トレーニング8回/年20人 ・母親講座 茶道2期 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 フラワーアレンジメント2回/年 7人 利き脳お片づけ2期1回/年 2人 ・子育て講座「親子で楽しもうリトミック」12回/年121人 ・子育て講座「学べるリトミック」 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・イクメン講座2回/年 4人				
	生    涯	リー教室を年3	回開催		講座のうち口	ウィルス感染症拡大防止。 回を中止としたため、1回 ፩Ⅰ「地域の子どもたちの	のみ開催となった。		
令和3年度	学習課					16人 に向けた講座準備 めのペアレンド・トレーニン		Ь	

				9	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	生涯学習課	ファミリー教室を年3回開催。	「思春期の子 学生体験クッ (参加人数 I	文室を3回開催した。 子どもの行動が示すもの」(参加人数11人)、「中ツキング」(参加人数11人)、「親子版画体験」 1人) よに向けた講座準備	А
(実績)	子育て支援課	・子育て講座、母親講座等を24回以上/年開催。 ・イクメン講座の開催。	・パパ・ママミンフラワーアルフラックス というで フラックス という でいまり フラで でいる 大子 育て	レーニング 8回/年 26人 講座 (母親講座から名称変更) レンジメント 2回/年 6人 ガ 1回/年 18人 付け 1回/年 10人 ハッシュ 1回/年 18人 『、親子で楽しもうリトミック』 5回/年 83人 『「学べるリトミック」 1回/年 40人 ②(イクメン講座から名称変更) 2回/年 20人	В
令和5年度	生涯学習課	ファミリー教室を年3回開催。	「親子体験 <i>み</i> 室」を実施予・次年度以降	7室を1回実施した。 分そ作り」(参加者20人)。「親子で学ぶLINE教 分定であったが、希望者が少なく実施しなかった。 降に向けた講座準備	В
(実績)	子育て支援課	・子育で講座、パパ・ママ講座等を24回以上/年開催。(修正) ・土曜日講座の開催	・タッパ・フラット・マッパ・フラット・マッパ・フラックをである。 アース おりの 大学 でいます でいます できる はい	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Α
令和6年度	生涯学習課		「親子で挑戦	対室を2回実施した。 找!ちょっとむずかしい折り紙」(参加者 I 7人) 食!みそ作り」(参加者25人)	В
(実績)	子育て支援課	・子育て講座、パパ・ママ講座等を24回以上/年開催・土曜日講座の開催	・タッチ・ファイン 保子家親 ベ親学 みマアリカラ 育育族子 ビーでる なでして でい 楽 ベーマット しゃく アット しゃく アット しょう かんしょう はいしょう かんしょう かんしゃ かんしょう かんしん かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	ンンジメント  回/年 7人 話  回/年 6人	Α

25

評価Cの場合 未着手の理由と今 後 の 対 応 等

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かた	げやきプラン	進捗管:	理シート				10	
事	業	名	町内幼稚	園・保育剤	近等における。	相談環境	色の整備			子育で	て支援課	
基	本 目	標	1	子どもた	ちの生きる力	を育む環	環境づくり					
施	策の方	向	1-4	家庭教育	への支援							
当	初計	画				<del>-</del>	SHO. He d	- / / - !!				+- >
事	業 概	要	るなど、社 ・町立園等 ネーターを	会全体で子 に勤務して 養成し、配む	-育てを支える 「いる子育て関 置していきます	環境づくり ]係者を対 <sup>-</sup> 。	リに取り組 象に、母子	みます。			相談できる環境をなどを開催し、コー	
目	標	値	・各子育て	関連施設に	こ  人(コーディ	ィネーター	)配置					
	区分		新	規	継続	Ē	拡	充	完了 (事業終了	了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	こは継続実施)、E	3(概ね成果	あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	)影響による)、C(	(未着手ま	たは検討段階)	
年		度		年月	度別事業目標	票			身	<b></b>		評価
			知識と豊富		において、研修		専門的な	•研修講座	等受講者の各国	園配置状	況	
	和 2 年実 績		進める。 ・町立園等に 健制度など	しつけ等につ に勤務してい	いての相談体制 る子育て関係者 講座などを開催	制、支援体 者を対象に	「家庭から 制づくりを 、母子保	大磯幼稚 たかとり約 国府保育 ・講座等に	園 3人 か稚園 2人 園 1人		ルス感染症感染拡	В

				10	
年	度	年度別事業目標		<u> </u>	評価
	4 年 度 績 )	・町内幼稚園・保育所等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 ・町立園等に勤務している子育で関係者を対象に、母子保健制度などを学ぶ認定講座などを開催し、コーディネーターを養成し、配置していく。	大磯幼稚 たかとり約 国府保育 ・職員による		В
	5 年 度 績 )	・町内幼稚園・保育所等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 ・町立園等に勤務している子育て関係者を対象に、母子保健制度などを学ぶ認定講座などを開催し、コーディネーターを養成し、配置していく。	大磯幼稚 たかとり約 国府保育	加稚園 1人	В
	6 年 度 績 )	・町内幼稚園・保育所等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育で家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 ・町立園等に勤務している子育で関係者を対象に、母子保健制度などを学ぶ認定講座などを開催し、コーディネーターを養成し、配置していく。	大磯幼稚	る土曜日講座「みんな楽しい子ども遊び」の	В
評価C	の場合				
	理由と今 対 応 等				

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	がやきプラン 進捗管	理シート			11	
事	業	名	乳幼児と	のふれあい	`体験			学村	交教育課	
基	本 目	標	1	子どもたっ	ちの生きる力を育む	環境づくり				
施	策の方	向	I <i>-</i> 5	子どもの。	心と体の健康づくり					
当	初計	画								
事	業概	要	て保育実習	家庭科で乳習を行います	幼児の心身の発達に <sup>-</sup>	ついての理	解を深める	5学習を行い、公立幼	稚園、保育所を訪問	問し
目	標	値	継続実施							
	区分		新	·規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	i たは継続実施)、B(概ね成り	<b>!</b> 果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの		または検討段階)	
年		度		年月	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		習を行う。	を行い、町立	児の心身の発達につい <sup>-</sup> :幼稚園、保育所を訪問し	て保育実	解を深める保育所を設	家庭科で乳幼児の心身 学習を行い、実際に中 訪問して保育実習を行-	学生が町立幼稚園、った。	Α
	和 3 年 実 績				児の心身の発達につい <sup>-</sup> 三幼稚園、保育所を訪問し		解を深める しての保育	戻庭科で乳幼児の心身 学習を行った。町立幼 実習は、新型コロナウ∙ ため実施できなかった。	稚園、保育所を訪問 イルス感染症感染拡	B*

				11	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 ( 実		中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を 深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実 習を行う。	解を深める	R庭科で乳幼児の心身の発達についての理 学習を行い、実際に中学生が町立幼稚園、 5問して保育実習を行った。	Α
令和5		中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行う。	解を深める	R庭科で乳幼児の心身の発達についての理 学習を行い、実際に中学生が町立幼稚園、 時間して保育実習を行った。	Α
令和 6 ( 実 :		中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を 深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実 習を行う。	解を深める 保育所を討	R庭科で乳幼児の心身の発達についての理 学習を行い、実際に中学生が町立幼稚園、 時間して、自身で作成したおもちゃや絵本を 児とのかかわりの中で、理解を深める学習	Α
評価Cの	場合				
未着手の理 後 の 対					

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	ヾやきプラン 進捗	管理シート			12	
事	業	名	性に関す	る正しい知	:識の啓発			学校	教育課	
基	本 目	標	I	子どもたっ	ちの生きる力を育む	ご環境づくり				
施	策の方	向	I <i>-</i> 5	子どもの。	ごと体の健康づく!	)				
当	初計	画								
事	業 概	要	・児童生徒		P性感染症について、 皆に即して指導計画∶				ります。	
目	標	値	継続実施							
	区分		新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	- は継続実施)、B (概ね点	成果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの影	響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度		年度	度別事業目標			実績		評価
令 (	和 2 年 実 績		により正しい	、知識の定着 の発達段階に	や性感染症について、値 を図る。 □にて指導計画を作り		導等により正	しい知識の定着を図 発達段階に即して指:		Α
	和 3 年 実 績		定着を図る。	。 の発達段階に	、保健の指導等により		知識の定着を	発達段階に即して指		Α

				12	
年	度	年度別事業目標		 実績	評価
	4 年 度 績 )	・性や性感染症について、保健の指導等により正しい知識の 定着を図る。 ・児童生徒の発達段階に即して指導計画を作成し、性教育 の指導を実施する。	知識の定着 ・児童生徒	染症について、保健の指導等により正しい 情を図った。 の発達段階に即して指導計画を作成し、性 導を実施した。	Α
	5 年 度 績 )	・性や性感染症について、保健の指導等により正しい知識の 定着を図る。 ・児童生徒の発達段階に即して指導計画を作成し、性教育 の指導を実施する。	知識の定着 ・児童生徒	染症について、保健の指導等により正しい 情を図った。 の発達段階に即して指導計画を作成し、性 算を実施した。	Α
	6 年 度 績 )		に保健の指 ・児童生徒	染症について、実態や予防策の内容を中心 音導等により正しい知識の定着を図った。 の発達段階に即して指導計画を作成し、養 つ心に男女の性差の内容を中心に性教育の をした。	Α
評価C	の場合				
	)理由と今 対 応 等				

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	13
事 業 名	喫煙や薬物使用の知識啓発	学校教育課
基本目標	l 子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	I-5 子どもの心と体の健康づくり	
当初計画		
事 業 概 要	小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に	取り組みます。
目 標 値	継続実施	
区分	新規 継続 拡	充 完了 <sub>(事業終了)</sub> その他
進捗状況	  評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(	新型コロナの影響による)、C(未着手または検討段階)
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )	小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。	薬物乱用防止教育に取り組んだ。
	小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。	小、中学校において、保健の指導等により、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組んだ。 A

13

		13			
年 度	年度別事業目標		実績	評価	
令和 4 年 度 ( 実 績 )	小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。		において、保健の指導等により、飲酒・喫煙・ 方止教育に取り組んだ。	А	
令和5年度( 実 績 )	小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。		において、体育及び保健体育を中心とした :り、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組	Α	
令和6年度 ( 実 績 )	小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。		において、体育及び保健体育を中心とした :り、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組	Α	
評価Cの場合	1	-			

第2期大	磯町子ど	も笑顔かか	ヾやきプラン 進捗や	ぎ理シート			14	
事 業 名	犯罪に巻	き込まれな	い対策			学校教育	課/町民課	
基本目標	I	子どもたな	ちの生きる力を育む	環境づくり				
施策の方向	1-5	子どもの。	<b>ごと体の健康づくり</b>					
当 初 計 画		•						
事 業 概 要	校 教 育 ・情報 課 ・「大	交、保護者、均 日ででは、 日でである。 日本でである。 日本では、 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では	を実施し、インターネ 見童・生徒の防犯安?	校を含めた ット被害に巻 全対策推進	学校内外の き込まれた 委員会」を	の安全保持に努めます	の連携を深めます。	o
目 標 値	,校 教 育		童·生徒の防犯安全対 - (町内全中学校開催		員会Ⅰ回/年			
区分	新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗状況	評価基準:A(	(事業達成またに	は継続実施)、B(概ね成果る	あり)、B*(新型	コロナの影響	による)、C(未着手または検	討段階)	
年 度	課	年	F度別事業目標			実績		評価
令和2年度 ( 実 績 )	確保を受 教育課 学校教育課	図る。 、保護者、地域 安全保持に努め モラル教育を対 いようにする。 畿町園児・児重 進し、関係諸機	★講習会を実施し、子ども 成が連携して、登下校を含める。 実施し、インターネット被 査・生徒の防犯安全対策 関との連携を深める。 講座等の実施	含めた学校内	に、各ンテン教・「をす 悪治」を入るをを職でする。 では、本格では、大学では、大学のではないが、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のではないが、大学のではないが、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のではないが、大学のはないが、大学のはないがはないが、大学のはないがはないがはないがはないがはないがはないがはないがはないがはないがはないが	習会を実施し、子どもたで遭遇した際の対応等を学路点検や集団下校を実登用し、校内の安全確保ターネット、スマホの取りの間が、児童・生徒の防犯安産し、関係諸機関との連携保について協議した。の詐欺や犯罪から未然に消費者被害未然防止に配慮した地域づくり	学んだ。 施。また、学校安全ボルに努めた。 扱いについての利用 全対策推進委員会」 馬を深め、通学路に関 で被害を防ぐため、自 講座を実施し(6地	А
令和3年度(実績)	課・確学校教育課を校安報いる開職を校安報いる	図る。 、保護者、地域 安全保持に努め モラル教育を いようにする。 幾町園児・児重 進し、関係諸機	会講習会を実施し、子ども 成が連携して、登下校を含める。 実施し、インターネット被 値・生徒の防犯安全対策 関との連携を深める。 講座等の実施	含めた学校内	に、各次では、一条をです。 本本で、本校ですでで、大学でで、大学で、大学で、大学ので、大学ので、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	構習会を実施し、子どもたこ遭遇した際の対応等を学路点検や集団下校を実登用し、校内の安全確保ターネット、スマホの取り。 1月・児童・生徒の防犯安崔し、関係諸機関との連携保について協議した。 等の詐欺や犯罪から被害象にした消費者被害未然	学んだ。 施。また、学校安全ボ に努めた。 扱いについての利用 全対策推進委員会」 携を深め、通学路に関	A

				14	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	教	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。	に、不審者に ・各校で通い 全ボランティン ・各校でイン 教育を授す ・「大磯町園 を年2回開作	講習会を実施し、子どもたちの安全確保のため に遭遇した際の対応等を学んだ。 学路点検や集団下校等を実施。また、学校安 イアを登用し、校内の安全確保に努めた。 イターネット、スマホの取り扱いなど情報モラル で実施。 国児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」 催し、関係諸機関との連携を深め、通学路に関 保について協議した。	Α
(実績)	町民課	犯罪被害未然防止講座等の実施	自治会等を等と、消商治会等、以上、点の配年年齢のの成年年齢のでいる、しました。 おしき 大磯警察・	等の詐欺や犯罪から被害を未然に防ぐため、対象にした消費者被害未然防止講座(3地区)生活講演会を実施した。また、特殊詐欺や空き去に関する啓発チラシを作成し、税申告会場で戸回覧(広報3月号)を実施した。が18歳に引き下げられることにより懸念されて層の消費者被害について、広報に特集記事をした(広報5月号)。 署により、生徒、教職員等を対象にサーバー防,用防止教室を、国府中学校で5回、大磯中学催した。	
令和5年度	教	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。	・防犯安全部に、各対ラインを表すで、各が一次で、各等でンプで、教育を機可した。 大田 医 一切 を 日本	講習会を実施し、子どもたちの安全確保のため に遭遇した際の対応等を学んだ。 学路点検や集団下校等を実施。また、学校安 パターネット、スマホの取り扱いなど情報モラル で実施。 別と、児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」 催し、関係諸機関との連携を深め、通学路に関 保について協議した。	Α
(実績)	町民課	犯罪被害未然防止講座等の実施	自治会等を 等)と、消検 もした。 ・大磯警察等 犯や薬物乱	等の詐欺や犯罪から被害を未然に防ぐため、対象にした消費者被害未然防止講座(4地区生活セミナーを実施した。また、特殊詐欺や空為法に関する啓発チラシを税申告会場で配布署により、生徒、教職員等を対象にサーバー防、用防止教室を、町内中学校で8回開催した。NEにて、還付金詐欺、点検商法に関する啓発	А
令和6年度	学校教育課	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。	に、不審者は ・各校で護保保に ・各育を検でイン教育を機可して を年2回開作	ターネット、スマホの取り扱いなど情報モラル	Α
(実績)	町民課	犯罪被害未然防止講座等の実施	自治会等を 地区)で実力 関する啓発 ・大磯警察等 罪防止教室 ・町公式LIN	等の詐欺や犯罪から被害を未然に防ぐため、対象にした消費者被害未然防止講座(黒岩施した。また、特殊詐欺や空き巣、点検商法にチラシを税申告会場で配布した。 署により、生徒、教職員等を対象にサイバー犯で、町内中学校で1回開催した。 NEやライフビジョンにて、還付金詐欺、点検商啓発を実施した。	Α
評価Cの場合	<u></u>				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等					

	第	2期大	磯町子と	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			15	
事	業	名	自殺対策	の推進				スポーツ健康	課/学校教育課	
基	本 目	標	I	子どもたっ	ちの生きる力を育むヨ	環境づくり				
施	策の方	向	I <i>-</i> 5	子どもの。	心と体の健康づくり					
当	初計	画								
事	業概	要	学生には、 者の講話・県や学校	助産師の講 と保健師の記 な等と連携し	Eした「大磯町自殺対策 情話や赤ちゃん人形の抗 講義により「中学生のか 、児童・生徒へのSOSの	包っこ体験な べん教育」を	などの「い <i>の</i> と実施しまっ	つちのはなし事業」を、 す。	中学生には、がんり	体縣
目	標	値	各小中学	校  回/年						
	区分		亲	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	たは継続実施)、B(概ね成果	₽あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	課	至	<b>丰度別事業目標</b>			実績		評化
令 (	和 2 年 実 績		スポーツ健康課で抱・がの会・!	産師の講話や こ体験などに。 対校においてが 教育」を実施 のちの寄り添ける。 ゆ学校等と連打	いのちの大切さ」を伝え い、助産師の講話や赤ちゃ よる「いのちのはなし事 がん体験者の講話による し、自らの「いのちの大切 い支えとなる」ことについ 携し、児童・生徒へのSOS う方に関する教育を推進。	ん人形の 」を実生の 「中学周田 て考える機	小学生5年 した。 ・町立中学	校 2校/2校  回/年 F生を対象に「いのちの 校  校/2校  回/年 F生を対象に「がん」に「		A
	和3年		スポーツ健にてが施し、	る「いのちのは 施。 ,体験者の講; 自らの「いの	」を伝える教育として助産 はなし事業」を各小学校( 話による「中学生のがんま ちの大切さ」「周囲のいの とについて考える機会を	高学年) に 教育」を実 かちの寄り	小学生6 <sup>年</sup> した。コロナ	校  校/2校  回/年 F生を対象に「いのちの 感染拡大により、 校は F生であるため)		B*
	実 績		学校教育課				・中学校3 <sup>会</sup> した。	<b>F生を対象に「がん」に</b> 「	関する講演会を実施	А

				15	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	スポーツ健康課	・「いのちの大切さ」を伝える教育として助産師の講話による「 <u>いのちのはなし事業</u> 」を各小学校(高学年) <u>に</u> 工実施。※実施困難時の対応:助産師のメッセージを配布。 ・がん体験者の講話による「中学生のがん教育」を実施し、自らの「いのちの大切さ」「周囲のいのちの寄り添い支えとなる」ことについて考える機会を持つ。	小学生5st した。コロナ	校 2校 2回/年 手生を対象に「いのちのはなし事業」を実施 -感染拡大により、I 校は昨年実施しなかっ めて2学年実施した。	Α
(実績)	学校教育課る		の授業や人	関する講演会は実施できなかったが、道徳 、権教育の中で、命の大切さについて考える っことができた。	B*
令和5年度 (実績)	スポーツ健康課	・「いのちの大切さ」を伝える教育として助産師の講話による「いのちのはなしの事業」を各小学校(高学年)に実施。※実施困難時の対応:助産師のメッセージを配布。 ・がん体験者の講話による「中学生のがん教育」を実施し、自らの「いのちの大切さ」「周囲のいのちの寄り添い支えとなる」ことについて考える機会を持つ。・県や学校等と連携し、児童・生徒へのSOSの出し方やSOSの受け止め方に関する教育を推進。	国府小学 ちのはなし・中学生を	校 2校 2回/年 校5年生、大磯小学校6年生を対象に「いの 事業」を実施した。 対象に「がん」に関する講演会を実施した。	Α
	学校教育課		いて考える・県内の徒に 周知校では できょう はい できまる かられ できまる からない かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	の授業や人権教育の中で、命の大切さにつ機会を持つことができた。 談機関窓口等のポスター及びカードを児配付し、SOSの出し方や相談機関について 年間通じて定期的にアンケートを実施し、児SOSを発信する機会の設定、またそのSOS	А
令和6年度	スポーツ健康課	・「いのちの大切さ」を伝える教育として助産師の講話による「いのちのはなし事業」を各小学校(高学年)にて実施。※実施困難時の対応:助産師のメッセージを配布。 ・がん体験者の講話による「中学生のがん教育」を実施し、自らの「いのちの大切さ」「周囲のいのちの寄り添い支えとなる」ことについて考える機会を持つ。・県や学校等と連携し、児童・生徒へのSOSの出し方	国府小学 児童を対象 ・町立中学 大磯中学	校 2校 分校 1 校 3回/年 校5年生、大磯小学校6年生、生沢分校の さに「いのちのはなし事業」を実施した。 校 2校 2回/年 校2年生、国府中学校全生徒を対象に「ここ を実施した。	Α
(実績)	学校教育課	やSOSの受け止め方に関する教育を推進。	施。国たい、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象に「がん」に関する講演会を2月」に実全校生徒及び教職員の約350名が参加し、 徳の授業や人権教育の中で、命の大切さにる機会を持つことができた。 談機関窓口等のチラシ及びカード等を児 全員配付もしくは配架し、SOSの出し方や相いいて周知した。 年間通じて定期的にアンケートを実施し、児 SOSを発信する機会の設定、またそのSOS あるための面談等を行った。	
評価Cの場合			-		-

	第2	2期大	磯町子ども	も笑顔かか	ヾやきプラン 進捗管	理シート			16	
事	業	名	町内幼稚	園・保育所	f等巡回歯磨き指導				て支援課 ポーツ健康課)	
基	本 目	標	1	子どもたっ	ちの生きる力を育む	環境づくり				
施	策の方	向	I <i>-</i> 5	子どもの。	ごと体の健康づくり					
当	初計	画								
事	業概	要	ブラシ等の を歯科衛生 ・園と連携!	使い方の写 三士が巡回 し、保護者へ	)健康づくり推進条例 ミ習を通して、幼児期か して園児や職員に歯磨 、の歯磨き指導を推進	らの正しい き指導を行	∖歯磨き習り ∫います。			
囯	標	値	町内各園等	手 <b>丨</b> 回/年						
	区分		新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(	(事業達成また	- - は継続実施)、B (概ね成界	見あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	: 影響による)、C(未着手:	または検討段階)	
年		度		年原	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		町内幼稚園	·保育園等於	《回歯磨き指導の実施			園・保育園等 6園/8園 け歯磨き指導 新型コロ )中止		В
	和 3 年 実 績		町内幼稚園	・保育園等⅓	《回歯磨き指導の実施		保護者向け	園・保育園等 6園/8園 け歯磨き指導・小学校2 、防止のため中止		B*

16 年 年度別事業目標 実績 評価 度 町内幼稚園・保育園等巡回歯磨き指導の実施 町内幼稚園·保育園等 7園/8園、計23回 ※ 実施困難児の対応:町内幼稚園・保育園等は歯ブラシや 小学校2校 計7回 チラシを配布、保護者向けは、Zoom開催 保護者向け歯磨き指導 新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止 令和4年度 В\* (実績) 町内幼稚園・保育園等巡回歯磨き指導の実施 町内幼稚園·保育園等 8園/8園、計23回 ※ 実施困難児の対応:町内幼稚園・保育園等は歯ブラシや 小学校2校 計7回 チラシを配布、保護者向けは、Zoom開催 保護者向け歯磨き指導 2回 令和5年度 Α (実績) 町内幼稚園・保育園等巡回歯磨き指導の実施 町内幼稚園·保育園等 8園/8園、計23回 ※ 実施困難児の対応:町内幼稚園・保育園等は歯ブラシや 小学校2校 計7回 チラシを配布、保護者向けは、Zoom開催 保護者向け歯磨き指導 2回 令和6年度 Α (実績) 評価Cの場合

		第2	2期大	:磯町子と	も笑顔かか	べやきプラン 進	捗管理シート			17	
事	詳	ŧ	名	規則正し	い食生活の	D推進			スポーツ健康	課/産業観光課	
基	本	目	標	Ι	子どもたっ	ちの生きる力をす	育む環境づくり				
施	策σ	方	向	1-6	食育の推	進					
当	初	計	画		-						
事	業	概	要	スポーン でで 食育 い 誌「	食に関する言・健康づくり ・健康づくり 磯食だより」	構座や地産地消な に関する情報や+ を発行し、食育の	ご食からの健原 ナービスを集約し 普及・啓発に努	東づくりを打 ハ楽しく効 めます。	「と関係機関が連携し 推進します。 果的に発信することか 関の普及啓発を図りま	<b>ヾできるよう、食育</b> 情	
目	枵	E C	值	ポート	実施						
	区	分		亲	<b></b> f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗	状	況	評価基準:A	(事業達成また	: は継続実施)、B(概	ね成果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年			度	課	年	F度別事業目標			実績		評価
令	年     度       令和2年度	I 7 I	いなでクッキン: 最の発信。	グ教室実施。		大防止のた ・食育情報	クッキング教室は新型コ をめ、中止した。 「おいしく!おかわり!い: 「年間 I 2回		В*		
	実				子農業収穫体 を図る。	験を実施し、食育と	地産地消の普及	·親子農業 参加。	体験(さつまいも掘り)を	を実施。親子2組7名	Α
今	和 3	上	度		ンなでクッキン: 最の発信。	グ教室実施。		大防止のた ・食育情報	クッキング教室は新型コ ため、中止した。 「おいしく!おかわり!い: 「年間   2回		B*
	実				子農業収穫体 を図る。	験を実施し、食育と	地産地消の普及	·親子農業 33名参加。	体験(さつまいも掘り) ã。	主実施。親子12組	Α

١	7

					17		
年	度	課	年度別事業目標		実績	評価	
令和4年度 ( 実 績 )	度	ボーツ健康課	スポーツ健康課	情報の発信。(動画作成し、配信)	ルスに関す した。 ・食育情報 メール配信 ・実際に調 ※ 配信は	クッキング教室は、調理室が、新型コロナウイる事務対応の部屋になり場所がなく、中止「おいしく!おかわり!いきいき!そだつ!」の年間12回理を行い、写真や動画撮影を実施した。令和5年度予定。	В*
		産業観光課	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及 啓発を図る。	·親子農業 名参加。	体験(さつまいも掘り)を実施。親子8組   8	Α	
令和5年)	度	スポーツ健康課	情報の発信。(動画作成し、配信)	ルスに関す した。 ・食育情報 メール配信	7ッキング教室は、調理室が、新型コロナウイる事務対応の部屋になり場所がなく、中止「おいしく!おかわり!いきいき!そだつ!」の「年間   2回 国を作成し町ホームページで公開した。	Α	
(実績	)	産業観光課	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及 啓発を図る。	·親子農業 31名参加。		Α	
令和6年)	度	スポーツ健康課	情報の発信。(動画作成し、配信)	メール配信	「おいしく!おかわり!いきいき!そだつ!」の 年間12回 ⑤を作成し町ホームページで公開した。	Α	
(実績		産業観光課	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及 啓発を図る。		親子農業体験(さつまいも掘り)は、昨年度 いた畑が借りれなくなり、中止となった。	С	

令和7年度は、親子農業体験を実施するための代替地を見つけ、同様の事業を実施

評価Cの場合

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	18
事 業 名	食生活に関する講座の開催	スポーツ健康課
基本目標	l 子どもたちの生きる力を育む環境づくり	·
施策の方向	I-6 食育の推進	
当初計画		
事 業 概 要	・2~3歳児、幼稚園児とその保護者を対象に、「混ぜる」「切め、みんなで食事をするマナーを学ぶ幼児親子クッキング教・小学生の親子を対象に、コミュニケーションを深めながら、1ら健康を考えて食事する力を身につけるための親子クッキン	室を開催します。 食べることの大切さを理解し、基本的な食習慣と自
目 標 値	食育講座8回/年	
区分	新規    継続    拡充	完了 その他 (事業終了)
進捗状況	   評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(新型=	i i
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )	・親子クッキング教室。 教室	プロナウイルス感染拡大防止のため、調理を伴うでは中止した。 B*
令和3年度 (実績)		プロナウイルス感染拡大防止のため、調理を伴うでは中止した。  B*

18 年 年度別事業目標 実績 評価 度 ・幼児親子クッキング教室(5回実施、17組39人) ・幼児親子クッキング教室。 ・親子クッキング教室。 ・親子クッキング教室は、調理室が、新型コロナウイルス ※実施困難時の対応:レシピを配布 に関する事務対応の部屋になり場所がなく、中止した が、「磯食だより」に簡単に作れるレシピを掲載し全戸 配布した。 令和4年度 В\* (実績) ・幼児親子クッキング教室。 ・幼児親子クッキング教室(5回実施、21組48人) ・親子クッキング教室(2回実施、10組23人) ・親子クッキング教室。 ※実施困難時の対応:レシピを配布 令和5年度 Α (実績) ・幼児親子クッキング教室(5回実施、22組49人) ・幼児親子クッキング教室。 ・親子クッキング教室。 ・親子クッキング教室(2回実施、14組28人) ※実施困難時の対応:レシピを配布 令和6年度 Α (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今 後の対応等

	第	2期ノ	大磯町子ど	も笑顔かがやきプラン	進捗管理シート		19	
事	業	名	給食の充	 E実		学校教育課。	/子育て支援課	
基	本 目	標	I	子どもたちの生きる力を	を育む環境づくり			
施	策のカ	<b>万</b> 向	1-6	食育の推進				
当	初計	画		·!				
事	業 概	要	校教育課・公司	学校給食への地場産物(県学校給食の再開を目指しま 学校給食の再開を目指しま 立保育所では、集団で食事 を増やし、仲間と一緒に食々 別のアレルギー対応等、食の	す。 をする給食の時間で べる楽しさを育むよ <sup>へ</sup>	を通じて、食べることへの意欲や うに取り組みます。	食べたいもの、好き	きな
目	標	值	学 小学 校 教育課	校給食の地場産物 (県内産 調整 (県内産 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	崔) の使用割合309			
	区分		新	f規 継続	拡き	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	 (事業達成または継続実施)、B(	 (概ね成果あり)、B*(新	f型コロナの影響による)、C(未着手ま	<u></u>	
年		度	課	年度別事業目	標	実績		評估
	和 2 年実 績		学校教育課・個別	学校給食への地場産物(県内原学校給食の再開を目指す。 学校給食の再開を目指す。 別のアレルギー対応等に努める 食調理作業において衛生管理の	o。 の徹底に努める。 :	・小学校給食への地場産物(県内た。 ・地場産物(県内産)使用割合:22 ・自校方式による中学校給食の再 ・学校給食施設建設準備会を設し ・栄養管理システムで、町職員(栄 を作成。地場産物の供給、個別の を作成。地場産物の供給、個別の を作成。地場産物の供給、個別の を作成。地場産物の供給、個別の を作成。地場産をの を作成。地場産者の を作成。地場産をの を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の を作成。地場産者の をできまた。 ・管理栄養士による園児と保護者 等を実施した。	3.3% 開に向け、大磯町立 置し検討を進めた。 養士)により献立表 アレルギー対応、栄 かた。 月2回、給食調理員 施した。また、食中毒 と、等衛生管理の徹	В
令和35	和 3 年 実 績		校教育課	学校給食への地場産物(県内原学校給食の再開を目指す。	į	·小学校給食への地場産物(県内た。地場産物(県内産)使用割合による中学校給食の再開に向け、オ・・栄養管理システムで、町職員(栄	:34.4%・自校方式 検討を進めた。	В
	天 棋	. )		ま調理作業において衛生管理(	の徹底に努める。	・不食自生ノヘノム (、町 楓貞 (木) を作成。地場産物の供給、個別の元 養バランスのとれた給食提供に努・ ・給食調理員の腸内細菌検査を毎  名のノロウィルス検査を月   回実 を防ぐため「手洗い」「消毒」「加素 底に努めた。	アレルギー対応、栄 めた。 ・月2回、給食調理員 施した。また、食中毒	А

			19	
年 度	課	年度別事業目標	実績評	平価
令和4年度	学校教育課	・小学校給食への地場産物(県内産)の利用の促進。 ・中学校給食の再開を目指す。	・小学校給食への地場産物(県内産)の利用を促進した。 地場産物(県内産)使用割合:27.8% ・自校方式による中学校給食の再開に向け、学校教育施設整備と関連させ検討を進めるとともに、昼食支援として希望注文制弁当の提供を継続した。	В
(実績)	子育て支援課	・個別のアレルギー対応等に努める。 ・給食調理作業において衛生管理の徹底に努める。	・栄養管理システムで、町職員(栄養士)により献立表を作成。地場産物の供給、個別のアレルギー対応、栄養バランスのとれた給食提供に努めた。 ・給食調理員の腸内細菌検査を毎月2回、給食調理員   名のノロウィルス検査を月1回実施した。また、食中毒を防ぐため「手洗い」「消毒」「加熱」等衛生管理の徹底に努めた。	Α
令和5年度	学校教育課	・小学校給食への地場産物(県内産)の利用の促進。 ・中学校給食の再開を目指す。	・小学校給食への地場産物(県内産)の利用を促進した。 地場産物(県内産)使用割合:26% ・自校方式による中学校給食の再開に向け、学校教育施設整備と関連させ検討を進めるとともに、昼食支援として希望注文制弁当の提供を継続した。	В
(実績)	子育て支援課	・個別のアレルギー対応等に努める。 ・給食調理作業において衛生管理の徹底に努める。	・栄養管理システムで、町職員(栄養士)により献立表を作成。地場産物の供給、個別のアレルギー対応、栄養バランスのとれた給食提供に努めた。 ・給食調理員の腸内細菌検査を毎月2回、給食調理員  名のノロウィルス検査を月1回実施した。また、食中毒を防ぐため「手洗い」「消毒」「加熱」等衛生管理の徹底に努めた。	Α
令和6年度	学校教育課	・小学校給食への地場産物(県内産)の利用の促進。 ・中学校給食の再開を目指す。	・小学校給食への地場産物(県内産)の利用に努めた。 地場産物(県内産)使用割合:21.2% ・自校方式による中学校給食の再開に向け、学校教育施設整備と関連させ検討を進めるとともに、昼食支援として希望注文制弁当の提供を継続した。	В
(実績)	子育て支援課	・個別のアレルギー対応等に努める。 ・給食調理作業において衛生管理の徹底に努める。	・栄養管理システムで、町職員(栄養士)により献立表を作成。地場産物の供給、個別のアレルギー対応、栄養バランスのとれた給食提供に努めた。 ・給食調理員の腸内細菌検査を毎月2回、給食調理員  名のノロウィルス検査を月1回実施した。また、食中毒を防ぐため「手洗い」「消毒」「加熱」等衛生管理の徹底に努めた。	Α
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第	2期大	磯町子ども笑顔かん	バやきプラン 進捗管	理シート			20	
事	業	名	学童保育の推進				子育"	て支援課	
基	本 目	標	2 子どもの	心豊かな成長を育む	プ環境づく	Ŋ			
施	策の方	向	2-1 子どもの	居場所づくり					
当	初計	画							
事	業概	要	提供し、児童の健全な	)理由により昼間家庭( :育成を図ります。 :全性を配慮し、おおむ					
目	標	值	継続実施						
	区分		新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(事業達成ま <i>†</i>	・ には継続実施)、B(概ね成り	■ 果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	年月	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年実 績		に対し、放課後や学校休 に代わって保育を実施。 ・子どもの情緒面や安全 ループに有資格者を含む	護者が家庭にいない小会業時の長期休暇中など (小学校6年生までの保性を配慮し、おおむね40 かて2名以上の職員を配	に、保護者 育を実施) O人のグ 置。	・国府学童   つのグル・ 配置できた		て2名以上の職員を	Α
			に対し、放課後や学校休	護者が家庭にいない小き 業時の長期休暇中など (小学校6年生までの保	に、保護者	·国府学童	クラブ 147人 クラブ 104人 -プに有資格者を含め		

			20	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。(小学校6年生までの保育を実施)・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置。・児童数の増加に対する対策を検討する。	・国府学童 Iつのグル 配置できた ・大磯町 ・大磯町学	・ 童保育所の学年スペースの利用拡充につ 小学校と調整を行った。 童保育運営事業者選定委員会を開催し、令  日から運営する事業者の選定を行い、事	Α
令和5年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。(小学校6年生までの保育を実施)・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。・利用児童数の増加に伴い、新たに学童保育実施場所の確保について検討する。	<ul><li>・国府学童 lつのグルー 配置できた</li><li>・大磯町学いて、大磯/</li></ul>	クラブ 177人 クラブ 110人 ープに有資格者を含めて2名以上の職員を :。 童保育所の学年スペースの利用拡充につ 小学校と調整を行い、環境整備を行った。 対して指導監査を実施し、適切な運営に努	Α
令和6年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。(小学校6年生までの保育を実施)・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。・利用児童数の増加に伴い、学童保育実施場所の確保に向けた方向性を決定する。	・国府学童」ののグル配置した。・大て、大きいて、検討を・国府小学	校の利用者数の増が見込まれたので、令和 あらたに体育館2階会議室を保育スペース	А
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かた	がやきプラ	ラン 進捗	管理シー	<u> </u>		21		
事	業	名	放課後子	ども教室の	の推進					子育て支持	爰課	
基	本 目	標	2	子どもの	心豊かな	成長を育	む環境づ	<b>&lt;</b> り				
施	策の方	向	2-1	子どもの	居場所つ	<b>がくり</b>						
当	初 計	画										
事	業概	要							↓子どもの活動打 を流活動等を推		、地域の力やは	) <i>1</i> /9
目	標	値	実施回数の	の増加								
	区分		新	規	Á	継続		拡充	完了 (事業終了)	)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	たは継続実施	施)、B(概ね	成果あり)、B:	k(新型コロナの	)影響による)、C(ま	<b>に着手または</b>	<b>倹討段階)</b>	
年		度		年月	度別事業	目標			実	績		評
	和 2 年 実 績		の教室、校原ポーツ、文化小学校2校	庭、体育館な と活動などの において放言	どを活用し の交流や学で 果後子どもも	、地域の方 がの場を提 数室を実施	供する。町立する。	・国府小学 ※ 校 再 全 を確保 はし	校 6回 参加人教 6回 参加人教 6回 参加人教 1十ウイルス感染症 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	数 195人 定感染拡大P 回数が減少 c め、参加人 施した。	した。また学校 数を制限し <del>安</del>	
	和 3 年 実 績		の教室、校園	庭、体育館な と活動などの	:どを活用し )交流や学で	、地域の方 びの場を提	供する。町立	・国府小学 ※新型コロ	校 12回 参加人 校 12回 参加人 ユナウイルス感染症 或らし、参加人数を だ施した。	数 621人 E感染拡大	予防のため、開	E

			21	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。・夏休み中の子どもの居場所について検討する。	・国府小学 ※新型コロ 加人数を制 ・夏休みの・	校 23回 参加人数 1,241人 校 23回 参加人数 1,268人 けウイルス感染症感染拡大予防のため、 別限し安全を確保しながら事業を実施した 子どもの居場所づくりについて「サマース いそ」を2箇所(3日)実施した。	0
令和5年度 ( 実 績 )	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。・夏休み中の子どもの居場所について実施する。	<ul><li>・国府小学</li><li>・夏休みの- クールおお</li></ul>	校 25回 参加人数 1,088人 校 26回 参加人数 1,546人 子どもの居場所づくりについて「サマース いそ」を2箇所(4日)実施した。 終イベント、スライムづくり体験、学習支援 延べ63名	A
令和6年度 ( 実 績 )	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。・夏休み中の子どもの居場所について実施する。・放課後子ども教室と学童保育の一体的な実施を推進する。	<ul><li>・国府小学</li><li>・夏休みの- クールおお 内容:学習 実験、漢字</li></ul>	校 28回 参加人数 1,171人 校 27回 参加人数 1,475人 子どもの居場所づくりについて「サマース いそ」を2箇所(6日)実施した。 習支援、体験学習(昔遊び、10円玉で科賞 で遊ぼう、手すき紙づくり体験) 延べ106名	
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

		第2	期大	磯町子ど	も笑顔かか	<b>ヾ</b> やきプラ	ン 進捗管	理シート			22			
事	業		名	全ての子	どもの居場	景所づくり(	の推進			子育"	て支援課			
基	本	目	標	2	子どもの。	心豊かなり	成長を育む	び環境づく	IJ					
施	策の	方	向	2-1	子どものり	居場所づく	<b>&lt;</b> り							
当	初	計	画		•									
事	業:	概	要	後児童クラ 検討を進め ・小学校の 設けます。	国が策定した「新・放課後子ども総合プラン」の適切かつ円滑な運営と、本町の実情に応じた効果的な、放児童クラブ及び放課後子ども教室の実施に向けて、「大磯町新・放課後子ども総合プラン推進委員会」に討を進めます。 小学校の始業前に学童保育施設などを利用し子どもたちが安全安心に過ごすことができる「朝の居場所」けます。  「磯町新・放課後子ども総合プラン推進委員会 会議2回/年									
目	標		値	· 大磯町新 ·継続実施	·									
	区分	ò		新	f規	紭	<sup>迷続</sup>	拡	充	完了 (事業終了)	その他			
進	捗	状	況	評価基準:A	(事業達成また	は継続実施	)、B(概ね成り	<u>*</u> 果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手。	<u></u> たは検討段階)			
年			度		年度	<b>E別事業</b> E	目標			実績		評価		
令 (	和 2			円滑な運営 クラブ及びた 放課後子ど ・小学校のな	した「新·放譲 Yと、本町のとと、 な課後合プラン 始業前ですこと はいに過ごすこと	情に応じた 教室の実施 推進委員会 保育施設な	効果的な、が をに向けて、「 会」にて検討 などを利用し	<ul><li>は課後児童</li><li>大磯町新・</li><li>を進める。</li><li>子どもたち</li></ul>	議 I 回(書i ・朝の子ど 大磯小学校 参加人数 国府小学校	もの居場所づくり事業登 交 延べ1,141人 実施E	於録児童数 Ⅰ数164日	А		
	和 実			円滑な運営 クラブ及びた 放課後子ど ・小学校のな	した「新·放調 でと、本町の 放課後合プラ も総前に は に過ごすこと	情に応じた 教室の実施 推進委員会 保育施設な	効果的な、が をに向けて、「 会」にて検討 などを利用し	<ul><li>(課後児童 大磯町新・ を進める。 子どもたち</li></ul>	議2回(うち・朝の子ど・大磯小学校 を加人数 国府小学校	延べ3,044人 実施日	登録児童数 1数204日	Α		

			22	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	・国が策定した「新・放課後子ども総合プラン」の適切かつ 円滑な運営と、本町の実情に応じた効果的な、放課後児童 クラブ及び放課後子ども教室の実施に向けて、「大磯町新・ 放課後子ども総合プラン推進委員会」にて検討を進める。 ・小学校の始業前に学童保育施設などを利用し子どもたち が安全安心に過ごすことができる「朝の居場所」を設ける。 ・児童数増加に対する対策を検討する。	議2回 ・朝の子どだ ・朝の小学材 参府小人学数 ・児童数 ・児童数の	延べ3,601人 実施日数201日	А
令和5年度 ( 実 績 )	・国が策定した「新・放課後子ども総合プラン」の適切かつ 円滑な運営と、本町の実情に応じた効果的な、放課後児童 クラブ及び放課後子ども教室の実施に向けて、「大磯町新・ 放課後子ども総合プラン推進委員会」にて検討を進める。 ・小学校の始業前に学童保育施設などを利用し子どもたち が安全安心に過ごすことができる「朝の居場所」を設ける。 ・児童数増加への対策として、ボランティアの増員を検討す る。	議2回 ・朝の子ど 大磯小学校 参加人数 国府小学校	延べ3,601人 実施日数201日	Α
令和6年度 ( 実 績 )	・国が策定した「放課後児童対策パッケージ」に基づき、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の適切かつ円滑な運営を実施にする。 ・「大磯町新・放課後子ども総合プラン推進委員会」にて放課後子ども教室と学童保育の一体的実施について検討を進める。 ・小学校の始業前に学童保育施設などを利用し子どもたちが安全安心に過ごすことができる「朝の居場所」を設ける。・増加する利用児童に対応するため、ボランティアを増員する。(大磯小学校のみ)	会議 I 回 ・朝磯小子学校 参加小子学 参加・小子教 を課後 こと	延べ5,150人 実施日数198日	А
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第2	2期大	:磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			23					
事	業	名	公園等の	整備				都市	計画課					
基	本 目	標	2	子どもの。	心豊かな成長を育む	び環境づく	1)							
施	策の方	向	2-1	子どものが	居場所づくり									
当	初計	画		•						-				
事	業 概	要	の樹木の頭	剪定や生垣 Lの定期点を	保するために、公園内 の間伐などを実施しま 食を実施し、必要な修糸	す。				]辺				
目	標	値		公園·緑地の樹木剪定の実施 遊具点検及び修繕 I 回/年										
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他					
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	とは継続実施)、B(概ね成!	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)					
年		度		年原	度別事業目標			実績		評価				
	和 2 年 実 績		・前年度の 要な公園遊	公園遊具の安 真の修繕を	定を年間を通して実施す 子全点検の結果に基づき 行う。 て、公園遊具の安全点検	、修繕が必	・37公園、5緑地・緑道の計42箇所の剪定を業務等により行った。 ・5公園の6遊具の修繕を行った。 ・36公園の遊具の安全点検を行い、5公園で修繕を要な7遊具の予算計上を行い、緊急性の高い遊具にいては、直ちに修繕を行った。							
-	和 3 年 実 績		・前年度の 要な公園遊 ・翌年度に	公園遊具の安 見の修繕を	遊具の安全点検を行い、	、修繕が必	委託により ・9公園のI ・36公園の 必要なI3	5緑地及び緑道の計42 行った。 0遊具の修繕を行った。 遊具の安全点検を行い 遊具の予算計上を行い、 、直ちに修繕を行った。	、12公園で修繕が	Α				

				23	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年( 実績		・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度 修繕を要する遊具の調査を行う。	委託により ・12公園の ・37公園の 必要な125	6緑地及び緑道の計46箇所の剪定を業務行った。 行った。 013遊具の修繕を行った。 0遊具の安全点検を行い、10公園で修繕が 遊具の予算計上を行い、緊急性の高い遊具 、直ちに修繕を行った。	Α
令和5年 ( 実 績		・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度修繕を要する遊具の調査を行う。 馬場公園、なかよし公園の遊具等の施設更新を行う。 スケートパークの設置に向けた検討を行う。	務委託によい。 ・8公園園の ・35な10は、この ・5、10は、10 ・5、10は、10 ・5、10は、10 ・5、10は、10 ・5、10は、10 ・5、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は	7遊具の修繕を行った。 9遊具の安全点検を行い、9公園で修繕が必 具の予算計上を行い、緊急性の高い遊具に 直ちに修繕を行った。 、なかよし公園の遊具等の施設更新を行っ	A
令和6年 (実績		・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度修繕を要する遊具の調査を行う。 ・池田公園、大磯運動公園の遊具等の施設更新を行う。 ・大磯町内の公園施設長寿命化計画を策定する。	務委託によい ・10公公の ・37公会の の公公で いかで ・10の ・20の ・20の ・20の ・20の ・20の ・37公 ・20の ・20の ・20の ・20の ・20の ・20の ・20の ・20の	010遊具の修繕を行った。 0遊具の安全点検を行い、10公園で修繕が 遊具の予算計上を行い、緊急性の高い遊具 、直ちに修繕を行った。 、大磯運動公園の遊具等の施設更新を行っ 及び川尻公園の仮設トイレの更新工事を	
評価Cの場	易合				
未着手の理由 後 の 対 応					

		第2	2期大	:磯町子ど	も笑顔かか	<b>ヾやきプラ</b>	ン進	步管理	里シート			24	_
事	当	Ě	名	地域住民	との交流事	事業					子育て支援課/学校教	育課/生涯学習課/福	畐祉誤
基	本	目	標	2	子どもの。	ご豊かな	成長を	育む現	環境づく	IJ			
施	策♂	) 方	向	2-2	世代間交	流の充実	₹						
当	初	計	画		<u>!</u>								
事	業	概	要	育 会を 豊富 校 施しる 子 子 習を	実施します。 な知識や経験 tす。 したちが豊かっ 支援できる人	を有する人 な心と社会 材を確保し	、を指導協 性を育む 、高齢者等	あ力者と ために 等との <sup>-</sup>	し、教育活動 らいて子ども 流活動を推	ち、相互理解を図るた動の一層の充実を図る かたちと様々な世代の人進します。 流し、世代間の交流を図	「地域ふれあい学習」 が交流できるよう、生	を実	
目	桴	<b>西</b>	値	校	成ふれあい学 登録者数100		延べ2,0						
	区	分		亲	f規	糸	迷続		拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗	状	況	評価基準:A	(事業達成または	は継続実施)、	B(概ね成	果あり)	、B <b>*</b> (新型	コロナの影響	による)、C(未着手または杭	(食)	
年			度	課	白	F度別事	業目標				実績		評
令	和 2	2 年	度	育 学 豊富 校 頼し、	ご─3世代交流 な知識や経験 教育活動の- 注実施。	を有する人	を指導協			染拡大防」 豊富な知識 し、教育活動	世代交流会は、新型コロ とのため中止 哉や経験を有する人を指 動の一層の充実を図る (延べ人数672人/年)	旨導協力者として依頼 「地域ふれあい学	B
(	実	績	)	生涯	学習人材登録	₹者数100	人。			生涯学習)	、材登録者数94人。		E
				保育を図る				世代間	の交流	ウイルス感 ・シルバー 学習・植木 るが、新型: ・老り活動等で 症の影響で		t、ボラ菜園・放課後 参加等の実施してい )影響で中止 訪問交流・登下校見 型コロナウイルス感染	
_	_	_		子 育	ピー3世代交流	充会の開催	0				世代交流会は、新型コロ とのため中止	コナウイルス感染症感	В
今	和 3	3 年	度	校 頼し、	な知識や経験 教育活動の- 生実施。					し、教育活動	戦や経験を有する人を指動の一層の充実を図る (延べ人数872人/年)	「地域ふれあい学	Ē
·	実	•		生涯 生涯	学習人材登録	≹者数100	人。			生涯学習)	、材登録者数78人。		E
				保育を図る	所・幼稚園・小 る。	、学校などと	∠交流し、	世代間	の交流	学習・植木 るが、新型: ・老人クラフ は、保育園	人材センター:通常時は 剪定・ふれあいバザー: コロナウイルス感染症の が:登下校見守り活動を 等訪問交流等を実施し 感染症の影響で中止	参加等を実施してい )影響で中止 :実施、また通常時	В

2	٨.
_	4

				24	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
	子育て	時間の交流会開催	中止	催は、新型コロナウイルス感染症の影響で	B*
令和4年度	学校教育	豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。	し、教育活動	戦や経験を有する人を指導協力者として依頼 動の一層の充実を図る「地域ふれあい学 (延べ人数841人/年)。	В
(実績)	生涯	生涯学習人材登録者数100人。	生涯学習人	、材登録者数80人。	В
	福祉課	保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流 を図る。	学習・植木 るが、新型: ・老人クラフ は、保育園:	人材センター:通常時は、ボラ菜園・放課後 剪定・ふれあいバザー参加等を実施してい コロナウイルス感染症の影響で中止 ブ:登下校見守り活動を実施。また、通常時 等訪問交流等を実施しているが、新型コロ 感染症の影響で中止	В*
	子育て	敬老の日にちなんだ親子製作を実施する期間を設ける。	支援センター んか荘に掲え	-に来館した親子を対象に、制作物を作成し、さざ 示した。	В
令和5年度	学 校 教育	豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。		や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教 層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施 (延 人/年)。	В
(実績)	生涯学習	生涯学習人材登録者数100人。	生涯学習人	材登録者数82人。	В
	福祉課	保育所・幼稚園・小学校・中学校などと交流し、世代間 の交流を図る。	め事業廃止。 校から要請な ・老人クラブ	。植木剪定・ふれあいバザー参加等は中学・小学	
	子育て	敬老の日にちなんだ親子製作を実施する期間を設ける。	支援センター んか荘に掲え	−に来館した親子を対象に、制作物を作成し、さざ 示した。	В
令和6年度	学校教育	豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。		や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教 層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施 (延 人/年)。	В
(実績)	生 生 学 習	生涯学習人材登録者数100人。		材登録者数22人。(県の人材登録システム変更  改訂及び登録更新を行ったことにより、登録者数	В
	福祉課	保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流 を図る。	め事業廃止。 校から要請な ・老人クラブ	材センター:ボラ菜園は土地を地主に返還したた。植木剪定・ふれあいバザー参加等は中学・小学が無く中止:登下校見守り活動を実施。また、通常時は、保育流等を実施しているが、保育園から要請が無く中	В
	-	•	•		-

	第2	期大	磯町子ど	も笑顔かか	ヾやきプラン 進捗管	理シート			25	
事	業	名	青少年指	導員活動				生涯	学習課	
基本	目	標	2	子どものが	<b>心豊かな成長を育む</b>	環境づく	1)			
施策(	の方	向	2-2	世代間交	流の充実					
当 初	計	画		!						
事 業	概	要	・自主事業	を企画・実	≧育成を図ります。 施することにより、地域	青少年との	)交流機会	を持ちます。		
目材	票	値	自主事業	8回/年						
×	分		新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗	状	況	評価基準:A	(事業達成また	■ - は継続実施)、B(概ね成り	<u>■</u> 果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの		たは検討段階)	
年		度		年度	度別事業目標			実績		評価
令和 実			自主事業を	年2回実施す	73.		自主事業を	:   回実施。(デイキャン	ブ 19人)	В
令和 実			自主事業を	年3回実施す	<b>さる。</b>		21人、デイ ・中高生向	を2回実施。(ナイトミュ キャンプ 15人) け事業を行っていたが、 事業の一部の開催を中	事業の見直しを図る	В

25 年 年度別事業目標 実績 評価 度 自主事業を2回実施。(ナイトハイク&ミュージアム 23 自主事業を年3回実施する。 人、デイキャンプ 22人) ・中高生向け事業を行っていたが、実施団体である青 少年指導員が事業の見直しを行い、実施回数を2回と 令和4年度 В (実績) 自主事業を年3回実施する。 自主事業を3回実施。(ナイトハイク&ミュージアム 26 人、デイキャンプ① 19人、デイキャンプ② 4人) 令和5年度 Α (実績) 自主事業を年3回実施する。 自主事業を3回実施。(ナイトハイク&ミュージアム 27 人、デイキャンプ① 25人、デイキャンプ② 24人) 令和6年度 Α (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今 後の対応等

		第2	期大	磯町	子ども	多笑顔か	がやき	プラン 進打	步管理·	シート			26										
事	業		名	各幼	稚園	·保育所	等や学	校における	スポー	ツの取	組	学校教育	課/子育て支援課										
基	本	目	標	2	2	子どもの	つ心豊か	かな成長を	育む環	境づく	)												
施	策の	方	向	2-	-3	スポーツ	/活動の	り推進															
当	初	計	画		-								見童体育委員会主催										
事	業	概	要	校教育課 子育て支援	教育 推進を図ります。 :・中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図ります。 ジョウストン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイ																		
目	標		値	校教育課	継続実施																		
	区分	<b>}</b>			新	規		継続		拡	充	完了 (事業終了)	その他										
進	捗:	状	況	評価基	準:A(	事業達成ま	たは継続	態実施)、B(概∤	は果あり	J)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着	手または検討段階)										
年			度	課			年度別	]事業目標				実績		評価									
	和 2			学校教育課	た取組 会や学 など各 ・中学を の充実	l指針」に 空年主催の 園・学校に 校において どを図る。	基づき、6 球技大会 こおいて <i>7</i> 、、地域指	本育委員会主	催のスポ のサッカ の推進り、部	ポーツ大 ロー教室 図る。 B活動	た取組指針 ツ大会や学 教室など各 図った。 ・中学校にた 充実を図っ	├」に基づき、児童体 :年主催の球技大会 ・園・学校においてス おいて、地域指導者 た。	どもの体力向上に向け 育委員会主催のスポー 、ベルマーレのサッカー ポーツ活動の推進を の活用により、部活動の	А									
	夫						実 績 )		実績				子育て支援課	720	连州"仲飞"	v • J v	大力(近いが	女を増入	- <b>y</b> o	じ、戸外ででた。 ・ボランティ施。幼保3 も実施。	のびのび体を動かし アや地域の方の協っ	て遊ぶ機会を多くもっ かを得て、体操教室を実 ・園内マラソン大会など	
A :	€n ⊃				· #	学校教育課	た取組 会や学 など各 ・中学	1指針」に基 年主催の ・園・学校に	基づき、体 球技大会 こおいて	本育委員会主	催のスポ のサッカ の推進を	ペーツ大 ロー教室 図る。	た取組指針マーレのサ 活動の推進・小・中学校	ト」に基づき、スポー <sup>、</sup> ッカー教室など各園 きを図った。	どもの体力向上に向け ソ大会や球技大会、ベル ・学校においてスポーツ 導者 (28名) の活用によ	<i>,</i>							
1 7	鬼 多	•	- 度)		子ども	達が体をい	いっぱい	使って遊ぶ機	会を増く	<b>す。</b>	じ、戸外でのた。 ・積極的に ・ボランティ	のびのび体を動かし 身体を動かす運動遊	力を得て、ボール遊びや	Α									

				26	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年1	学校教育課	など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。 ・中学校において、地域指導者の活用により、部活動 の充実を図る。	た取組指金 ベルマーレ ポーツ活動 ・小・中学材		А
(実績)	子育て支援課		じ、戸外ででた。 ・積極的に ・ボランティ	ドッジボール、縄跳びなど、発達段階に応 のびのび体を動かして遊ぶ機会を多くもっ 身体を動かす運動遊びを取り入れた。 アや地域の方の協力を得て、ボール遊びや 生実施。園内マラソン大会なども実施。	Α
令 和 5 年 //	学校教育課	など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。	た取組指金 いてスポー ・小・中学校		
(実績)	X 子育て支援課	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす。	じ、戸外ででた。 ・積極的に ・ボランティ	トッジボール、縄跳びなど、発達段階に応 のびのび体を動かして遊ぶ機会を多くもっ 身体を動かす運動遊びを取り入れた。 アや地域の方の協力を得て、ボール遊びや を実施。園内マラソン大会なども実施。	Α
令和6年度	学校教育課	・「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。・中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図る。	た取組指針 いてスポー ・中学校に の教員(26	†」に基づき、スポーツ大会等各園・学校にお	A
(実績)	子育て支援課	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす。	じ、戸外ででた。 ・積極的に ・ボランティ	Pドッジボール、縄跳びなど、発達段階に応 のびのび体を動かして遊ぶ機会を多くもっ 身体を動かす運動遊びを取り入れた。 アや地域の方の協力を得て、ボール遊びや を実施。園内マラソン大会なども実施。	Α
評価Cの場合					
未着手の理由と今 後 の 対 応 等					

	第	2期大	磯町子ども笑顔か	がやきプラン 進捗管	理シート			27	
事	業	名	スポーツ少年団活	動やスポーツ推進委	員の活動す	支援	スポー	ツ健康課	
基	本 目	標	2 子どもの	)心豊かな成長を育む	環境づくり	)			
施	策の方	向	2-3 スポーツ	'活動の推進					
当	初計	画	-						· ·
事	業 概	要	活動を推進します。	団や大磯町スポーツ推	進委員協諄	<b>表会の活動を</b> 支	を接することにより	、子どもたちのスポ	ーツ
目	標	值	継続実施						
	区分		新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	    評価基準:A(事業達成ま	 たは継続実施)、B (概ね成界	果あり)、B*(ラ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	年	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		大磯町スポーツ少年団対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協	象とするスポーツの推進を (柔道・サッカー・ミニバス 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	()の活動に した自主事	・スポーツ推進	団3団体 交付額76 委員協議会主催事 防止のため中止し	業は、新型コロナウ	B*

				27	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 ( 実		・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため 大磯町スポーツ少年団(柔道・サッカー・ミニバス)の活動に 対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事 業「親子ボール運動教室」「スノーケリング&着衣浴」に対 し、交付金を交付し活動を支援。 ※実施困難時の対応:各種教室の資料を配布。	・スポーツ <del>!</del> 教室」、「ス	少年団3団体 交付額70,000円 推進委員協議会主催事業「親子ボール運動 ノーケリング&着衣泳」、「ウォーキング大 -カール大会」を実施した。交付額40,000	Α
令和 5 ( 実		・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため 大磯町スポーツ少年団 (柔道・サッカー・ミニバス)の活動に 対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事 業「親子ボール運動教室」「スノーケリング&着衣浴」に対 し、交付金を交付し活動を支援。 ※実施困難時の対応:各種教室の資料を配布。	・スポーツ <del>!</del> 教室」、「ス	少年団3団体 交付額70,000円 推進委員協議会主催事業「親子ボール運動 ノーケリング&着衣泳」、「ウォーキング大 カール大会」を実施した。交付額40,000	Α
令和 6 ( 実		・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため 大磯町スポーツ少年団(柔道・サッカー・ミニバス)の活動に 対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事 業「親子ボール運動教室」「スノーケリング&着衣浴」に対 し、交付金を交付し活動を支援。 ※実施困難時の対応:各種教室の資料を配布。	・スポーツ <del>!</del> 教室」、「ス	少年団3団体 交付額70,000円 作進委員協議会主催事業「親子ボール運動 ノーケリング&着衣泳」、「ウォーキング大 -カール大会」を実施した。交付額40,000	Α
評価Co	D場合				
未着手の5 後 の 対					

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かた	がやきプラン 進捗	管理シート			28	
事	業	名	スポーツ	大会や教室	室の開催			スポ	ーツ健康課	
基本	1 目	標	2	子どもの	心豊かな成長を育	む環境づく	()			
施策	の方	向	2-3	スポーツ	活動の推進					
当剂	刀計	画								
事業	<b>業</b> 概	要	中学生を		合型地域スポーツクラ 舌動の場を提供します		ぺーツクラブ <sup>∙</sup>	等と連携してスポー	-ツ教室等を開催	し、小・
目	標	値	継続実施							
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	2
進力	步状	況	評価基準:A	(事業達成また	・は継続実施)、B(概ね成	<u> </u>	新型コロナの影		- ! Fまたは検討段階)	
年		度		年原	度別事業目標			実績		評価
	12年		・子ども水泳 ・キッズテニ ・リズムDE』 ・かけっこ教	-ス教室 スポーツ教室	ː		新型コロナウ	7イルス感染症拡大	防止のため中止した	B*
	13年		・子ども水ジ・リズムDE だかけっこ数 ・キッズバド・スポーツ第	スポーツ教室			新型コロナウ	7イルス感染症拡大	防止のため中止した	B*

				28	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和4 <sup>4</sup> ( 実 約		各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・かけっこ教室 ・キッズバドミントン教室 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・ウォーキングサッカー教室 ※実施困難時の対応:各種教室の資料を配布。	ミントン教室 ・かけっこ者	泳教室、リズムDEスポーツ教室、キッズバド室、ウォーキングサッカー教室を実施した。 対室、スポーツ鬼ごっこ教室は新型コロナウ 技拡大防止のため中止した。	
令和 5 <sup>3</sup> ( 実 約		各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・かけっこ教室 ・キッズバドミントン教室 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・ウォーキングサッカー教室 ※実施困難時の対応:各種教室の資料を配布。	ミントン教室 カー教室を わず未開催	泳教室、リズムDEスポーツ教室、キッズバ  室、スポーツ鬼ごっこ教室、ウォーキングサッド実施した。かけっこ教室はスケジュールが 単となったが、チャレンジフェスタで走り方を はて実施した。	合
令和6 <sup>5</sup> ( 実 <i>新</i>		各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・かけっこ教室 ・キッズバドミントン教室 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・ウォーキングサッカー教室 ※実施困難時の対応:各種教室の資料を配布。	ミントン教会	泳教室、リズムDEスポーツ教室、キッズバ 室、スポーツ鬼ごっこ教室、ウォーキングサッ ・実施した。かけっこ教室は、走り方を知るも 施した。	,

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かね	がやきプラン 進捗管	理シート			29	
事	業	名	地域の伝	承文化に	親しむ郷土愛の育成	; ,		生涯	<b>基学習課</b>	
基	本目	標	2	子どもの	心豊かな成長を育む	環境づく	IJ			
施	策の方	向	2-4	文化・芸	術活動の推進					
当	初計	画			/		( h): 55			, M
事	業 概	要	料館職員	が学習指導			5、目然に関	9 る子智指导の依然	<b>惧かめつに場合、</b> 郷コ	L貨
目	標	值	「児童生徒   	きを対象とし	ルた学習指導」15回/年	Ξ.				
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成ま		<b>具あり)、B*(</b>	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度		年)	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		然に関する。 が学習指導 ・「児童生徒	学習指導の を行う。 きを対象とし	校、中学校から地域の歴 依頼があった場合、郷土〕 た学習指導」 5回/年	資料館職員	見学及び郷 幼稚園・保 ・学校員派遣 小学生8回	注資料を通しての学: 育園5回、小学生4回 打内各所においての学 による学習指導) 1、中学生2回 合計21回	習指導) 人中学生2回 全習指導(郷土資料館	A
令			然に関する が学習指導	学習指導の を行う。	校、中学校から地域の歴 依頼があった場合、郷土〕 た学習指導」15回/年		見学及び博 幼稚園・保 ・学校及び の職員派遣	物館資料を通しての: 育園4回、小学生4回	学習指導)	

			29	
年 度	年度別事業目標			評価
令和 4 年 度 ( 実 績 )	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。 ・「児童生徒を対象とした学習指導」I5回/年	見学及び性 幼稚園・伊 ・学校及び の職員派遣	館においての学習指導(郷土資料館の展示 専物館資料を通しての学習指導) 保育園4回、小学生4回、中学生2回 町内各所においての学習指導(郷土資料館 造による学習指導) 回、中学生3回 合計17回	
令和5年度 ( 実 績 )	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。 ・「児童生徒を対象とした学習指導」 5回/年	見学及び性 幼稚園・供 ・学校及び の職員派遣	館においての学習指導 (郷土資料館の展示 専物館資料を通しての学習指導) 保育園6回、小学生4回、中学生2回 町内各所においての学習指導 (郷土資料館 豊による学習指導) 回、中学生1回 合計14回	
令和6年度(実績)	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。 ・「児童生徒を対象とした学習指導」I5回/年	見学及び性 幼稚園・伊 ・学校及び の職員派遣	館においての学習指導(郷土資料館の展示 専物館資料を通しての学習指導) 保育園6回、小学生4回、中学生3回 町内各所においての学習指導(郷土資料館 遣による学習指導) 回、中学生1回 合計15回	
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第2	2期大	:磯町子と	ごも笑顔かた	がやきプ	ラン 進捗	管理シー	•			30		
事	業	名	文化・芸	術体験の格	幾会の提	:供			生	涯学習言	果/学校	<b>交教育課</b>	
基	本 目	標	2	子どもの	心豊かな	な成長を育	『む環境づ	くり					
施	策の方	向	2-4	文化・芸	術活動の	D推進							
当	初計	画		-									:
事	業概	要	選 学 各	才登録制度を 学校で音楽会	会や合唱:							て化・芸術に	対す
			教育課	か年おもしる		回/年							
目	標 	値		売実施									
	区分		į	新規		継続		<b></b>		E了 <sup>美終了)</sup>		その他	
進	捗 状	況	評価基準:	A (事業達成ま/	たは継続実	施)、B(概ね)	成果あり)、B*	:(新型コロナの	影響による)	、C(未着手	または検討	対段階)	
年		度	課	ŝ	年度別事	<b>革業目標</b>				実績			評価
今	和2年	度	生涯学習課	少年おもしろ言	<b>講座」を年</b>	3回開催。			もしろ講座: ルロケットチ				В
(	実績		⊸ 会σ	☆校で音楽会→ 少実施などによ ふを高める。				る 学校で音楽		した。また芸	術鑑賞会	ながら、各小 ミを実施する  心を高め	Α
令	和3年	度	生涯学習課	少年おもしろ言	<b>講座」を年</b>	3回開催。		(デジタル) 10人)	おもしろ講座 絵画体験2: ナウィルス感	3人、カード	ゲームで		B*
	実績		会σ	・校で音楽会・ )実施などによ シを高める。				る 小学校でも		催した。また	:芸術鑑賞		Α

			30
年 度	課	年度別事業目標	実績評価
令和4年度	生涯学習課	「青少年おもしろ講座」を年3回開催。	・「青少年おもしろ講座」を年5回開催。 (かながわリレー科学教室22 人、旧吉田茂邸体験学習9人、デジタル絵画体験20人、ソーラークッカーをつくってみよう! I4人、オンラインプラネタリウム7人)
(実績)	) 学校教育課	各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。	新型コロナ感染症感染拡大防止に配慮しながら、各小学校で音楽会、中学校で合唱祭を開催した。芸術鑑賞会については、各校の行事の精選に伴い、実施しなかった。
令和5年度	生涯学習課	「青少年おもしろ講座」を年3回開催。	・「青少年おもしろ講座」を年3回開催。 (ソーラースカイツリーを作ろう13人、デジタル絵画体 験12人、体験!不思議樹木17人)
(実績)	学校教育課	学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。	各園·各校で音楽会や合唱祭、芸術鑑賞会等を実施 し、文化・芸術について関心を高めた。 A
令和6年度		「青少年おもしろ講座」を年3回開催。	・「青少年おもしろ講座」を年3回開催。 (さがせ!ちりめんモンスター13人、ソーラーオルゴールをつくろう20人、デジタル絵画体験22人)
(実績)	学校教育課	学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。	学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会、 文化祭の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対 する関心を高めた。 A

木石	1于	の埋	田と	- ラ
後	の	対	応	等

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	べやきつ	プラン 泊	<b>進捗管</b>	理シート					3	l		
事	業	名	読書活動	の推進							生	涯学習	国課/	学校	教育課	
基	本 目	標	2	子どもの。	心豊か	な成長	を育む	環境づ	くり							
施	策の方	向	2-4	文化・芸術	析活動	の推進										
当	初計	画		•												
事	業概	要	新人生生涯学習課・「ブッ	貸出の活用やします。ごも読書活動指見とその保護者でい、本やブックに協力するボデックスタート・フォーニーの推進の	。 詳進計画」 すべてを リスト、図 ランティア ナローアッ	」に基づき、 対象に、「 ]書館の利 を養成しま プ事業」と	、「おはな 赤ちゃんと 用案内等 きす。 こしてO歳!	し会」「読む と絵本を開 が入った「 見向き及び	書案内」等を く時間の大り ブックスター 「児童関係図	行い、記でいる	読書活動 :どのメッ・ :ク」を手え ご実を図り	を推進し セージを 度します。 ます。	,ます。 直接伝; 。			
目	標	值	<sup>注</sup> 学 ・	注書の団体貸 なし会参加 I クスタート乳リ 図書館の整備	,500名 見向き貸	/年(R6 出用図書	年度) 手の購入	数100冊					0冊/年	F (R6	年度)	
	区分		新	規		継続		į	広充		完(事業	了 終了)			その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	は継続す	実施)、B(	概ね成果	あり)、B*	(新型コロナ	の影響	響による)	、C(未着	手また	は検討	段階)	
年		度	課	白	F度別	事業目	標					実績	į			評価
	和 2 年 実 績		生涯学習課・読書	注書の団体貸 等は用児童がなし会の参加 クスタート乳リ 活動の推進・ 実を図る。	書の購 <i>)</i> □人数 I , 見向き貸	入冊数30 ,500人/ 出用図書	)冊/年。 年。 書の購入		・おはない ・ブックス /年 ・読書学で ・授館司	出会の事動図の書を通	見童書の表 動力 動力 見 かり ののま ののま ののま ののま ので ののま ので ののま ので ののま ののま	購入95/295/2007 (第月本の) では、	数23ff 人/図 図実援 書を を 変変 変変 変変 変変 変変 変変 変数 の で 支 整 が や が や が や が や が や が や が や が や が や が	冊/年 の 魔をたった図 をからのでである。 のでである。 のでである。 でいるのでである。 でいるのでである。	冊数33冊 着し、4名配 に、学校図 言館との連 を推進した。	В
	和3年		生涯学習課	i書の団体貸 貸出用児童 なし会の参加 クスタート乳リ	書の購 <i>)</i> □人数 I , 見向き貸	入冊数30 ,500人/ 出用図書	)冊/年。 年。 <sub>影の購入</sub>		・団体貸 ・おはなり ・ブックス /年。	出用り し会の くタート		購入冊 対526/ き貸出月	数27 <del>1</del> 人/年。 用図書○	冊/年。 の購入	冊数32冊	В
(	実 績	)		活動の推進 実を図る。	のため、	学校図書	館の整化	帯とさらな	置の学校 ・授業で 書館司言	交図書 の学校 書を通	館司書の 交図書館 じて関連	D環境3 活用を 図書の	記実を図 支援す 整備や	図った。 るため <sup>•</sup> 町図書	構し、4名配 に、学校図 膏館との連 ҈推進した。	Α

2	1
. 🤝	1

				31		
年 度	課	年度別事業目標		実績		
令和4年度	生涯学習課	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数60冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数80冊 /年。	<ul><li>・団体貸出</li><li>・おはなし会</li></ul>	団体貸出冊数2755冊/年。 用児童書の購入冊数17冊/年。 会の参加人数591人/年。 '一ト乳児向き貸出用図書の購入冊数58冊	В	
(実績)	学校教育課	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実を図る。	名の学校図 ・授業での 書館司書を	の推進のため、学校図書館を整備し、各校   図書館司書の配置を継続した。 学校図書館活用を支援するために、学校図 E通じて関連図書の整備や町図書館との連 子どもたちへの図書資料の提供を推進した。	Α	
令和5年度	生涯学習課	・児童書の団体貸出冊数2,000冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年。 ・おはなし会の参加人数650人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数60冊 /年。	<ul><li>・団体貸出</li><li>・おはなし会</li></ul>	団体貸出冊数3,153冊/年。 用児童書の購入冊数13冊/年。 会の参加人数898人/年。 '一ト乳児向き貸出用図書の購入冊数44冊	В	
(実績)	学校教育課	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実 を図る。	学校図書館 ・授業での学 書を通じて関	D推進のため、学校図書館を整備し、各校   名の司書の配置を継続した。 司書の配置を継続した。 単校図書館活用を支援するために、学校図書館司 引連図書の整備や町図書館との連携を図り、子ど図書資料の提供を推進した。	Α	
	生涯学習課	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数100冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数100冊/年。	・団体貸出用・おはなし会	日体貸出冊数2972冊/年。 月児童書の購入冊数36冊/年。 の参加人数695人/年。 -ト乳児向き貸出用図書の購入冊数18冊/年。	В	
令和6年度 ( 実 績 )	学校教育課	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実 を図る。	学校図書館 ・授業での学 書を通じて関	り推進のため、学校図書館を整備し、各校   名の司書の配置を継続した。 学校図書館活用を支援するために、学校図書館司 引連図書の整備や町図書館との連携を図り、子ど 図書資料の提供を推進した。	Α	

	第	2期メ	、磯町子ど	も笑顔かが	「やきプラン 並	32							
事	業	名	環境学習	習の推進				環境課					
基	本 目	標	2	2 子どもの心豊かな成長を育む環境づくり									
施	策の方	向	2-5	2-5 子どもの健全育成									
当	初計	画											
事	業概	要	リサイクルセンターの施設見学コースや環境学習施設を活用し、環境学習を推進します。										
目	標	値		交の施設見学 け体験学習の	:  回/年 実施  回/年								
	区分		親	<b></b> f規	継続		拡	充	完了 (事業終了)	その他			
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	は継続実施)、B(ホ	概ね成果	!あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	)影響による)、C(未着手	または検討段階)			
年		度		年度	別事業目標			実績評			評価		
	和 2 年 実 績		設を活用しむ。	、ごみの減量化		5環境学	習に取り組	ナー、「し、たの・「し、大の・「境を外」と、「し、大の・「境を外」を入り、大の・「境を外」に図学止が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	の施設見学は新型コロナ のため中止した。	ギーに関するコーナー 合わせ25人が来場し イクル工作」を実施 一を募集し、12作品 皆に掲示した。 ナイコロなどを掲示し、 に関するコーナーの充 ウイルス感染症感染	Α		
•	和 3 年 実 績				置した見学者コー や資源化に対する		習に取り組	ナー、1 階のした。 リサイクル体験を町での が できる いりがった が できる できる いっぱい はい	センター3階のごみの減量の環境や再生可能エネルにはセンターの施設見学とセンターを活用し、オンラに、7組14名の参加があみの分別・4R推進ポスタの作品の応募があり、リサ校は4年生、国府小学校にした。	ギーに関するコーナー合わせ427人が来場インで施設見学・職場った。 一を募集し、デジタル・イクルセンター3階に	Α		
-	和 4 年 実 績				置した見学者コーや資源化に対する		習に取り組	の環境や強力を表現である。 の環境を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ー環として夏休み親子環境 みよう」を実施し、7組13人	ーナーに、リサイクルセン、85人、子ども247人) E生の施設見学を実施し をセンターを活用して、「オ 5組13人の参加があっ を募集し、デジタル部門 シター3階に掲示した。 れ、親子向けのイベントと う!!」を実施し、50人 いった。 量化・資源化ブースを作 ワークショップ「大磯の	А		

3	2

年 度	年度別事業目標	実績	評価
令和5年度(実績)	・リサイクルセンター内に設置した見学者コースや環境学習施設を活用し、ごみの減量化や資源化、再生可能エネルギー及び省エネルギーなどの環境学習に取組む。	・リサイクルセンター3階のごみの減量化や資源化コーナー、「階の環境や再生可能エネルギーに関するコーナーに、リサイクルセンターの施設見学と合わせ286人(※大人66人、子ども220人)が来場した。 ・大磯小学校は4年生、国府小学校は4年生の施設見学を実施した。 ・聖ステパノ学園の4年生(II人)を対象に、ごみの減量化・資源化に関する出前授業を実施した。 ・平成30年(令和元年)度以降、4年ぶりに、大磯町リサイクルセンターと平塚市環境事業センターの施設見学(バスツアー)を実施し、計21人の参加があった。・一宮町ウッドチップセンター(剪定枝の処理)や生ごみ処理容器によるごみの減量化・資源化についての内容で、「オンライン施設見学」を実施し、5組II人の参加があった。・「大磯町ごみの分別・4R推進ポスター」を募集し、デジタル部門含め32作品の応募があり、リサイクルセンター3階に掲示した。・美化センターフェアにおいて、令和5年度から町が実施(参加)した「使用済みペンリサイクルプログラム」の関係事業者と連携して、子ども向けのイベントとして「アプサイクルを体験!自分だけの定規を作ろう!」を実施し、54人の参加があった。・美化センターフェアにおいて、ごみの減量化・資源化ブースを作成し、周知啓発を図った。・美化センターフェアにおいて、関係団体と連携して、親子向けのイベントとして「海洋プラスチックでキーホルダーを作ろう!」を実施し、42人の参加があった。・美化センターフェアと併せて、「おうちの断熱やらなきゃ損!DIYで手軽にできる断熱!」をテーマに「エネルギー講演会」を実施し、43人の参加があった。・環境学習の一環として夏休み親子環境ワークショップ「大磯の川を観察してみよう」を実施し、8組17人の参加があり、リサイクルセンター「階に掲示した。	Α
令和6年度(実績)	・リサイクルセンター内に設置した見学者コースや環境学習施設を活用し、ごみの減量化や資源化、再生可能エネルギー及び省エネルギーなどの環境学習に取組む。	・リサイクルセンター3階のごみの減量化や資源化コーナー、1階の環境や再生可能エネルギーに関するコーナーに、リサイクルセンターの施設見学と合わせ300人(※大人56人、子ども244人)が来場した。・大磯小学校は4年生、国府小学校は4年生の施設見学を実施した。・大磯町リサイクルセンターと平塚市環境事業センターの施設見学(バスツアー)を実施し、計23人の参加があった。・「古紙のリサイクル」や「可燃ごみの減量」をテーマに、オンライン施設見学を実施し、3組5人の参加があった。・「大磯町ごみの分別・4R推進ポスター」を募集し、一般の部・中学生以下の部合わせて17作品の応募があり、環境フェアにおいて表彰を行い、ごみの減量化・資源化に係る啓発等に活用した。・「プラスチックごみの削減」や「海岸美化」に対する意識の醸成・高揚を図るべく、海岸で回収されたマイクロプラスチックを活用したワークショップ・パネル展を実施し、105人の参加があった。・「ごみの減量化・資源化」や「食品ロスの削減」の啓発を目的として町主催のイベントへ参加したり、本庁舎でのパネル展を行うなど、町民向けの啓発を実施した。・資源循環、食品ロス、エネルギー、自然環境等について、子ども向けに「見て、感じて、体験する」イベントとして環境フェア「宝の山祭」を開催し637人の来場があった。	
評価Cの場合		1	
未着手の理由と今			

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	33
事 業 名	人権教育	学校教育課
基本目標	2 子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	)
施策の方向	2-5 子どもの健全育成	
当初計画		
事 業 概 要	小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教ます。	<b>牧室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努め</b>
目 標 値	継続実施	
区分	新規継続拡	充 完了 その他 (事業終了)
進捗状況	・ 評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(新	新型コロナの影響による)、C(未着手または検討段階)
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )	や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。	小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権 教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努め た。
令和3年度 ( 実 績 )	や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。	小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権 教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努め た。  A

			33	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 年 度 ( 実 績 )	小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。		において人権教育研究事業を実施し、人権 資会を開催するなど、人権教育の充実に努め	Α
令和5年度 ( 実 績 )	小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。		において人権教育研究事業を実施し、人権 資会を開催するなど、人権教育の充実に努め	Α
令和6年度 (実績)	小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。	め防止に関 る授業の実	において人権教育研究事業を実施し、いじ 引する研修会を実施、人権や命について考え 施、がん患者の人権を学ぶ講演会など、各 対育の充実に努めた。	Α
評価Cの場合				-
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

第2期力	大磯町子ども	笑顔かか	べやきプラン 進捗管	理シート	Ī		34	
事 業 名	平和学習					総	務課	
基本目標	2	子どもの。	心豊かな成長を育む	環境づく	)			
施策の方向	2-5	子どものは	建全育成					
当初計画								
事 業 概 要		生に、原爆	体験談などの講話を写	<b>ミ施すること</b>	で平和に	関する意識の高揚を	図ります。	
目 標 値	継続実施							
区分	新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗状況	評価基準:A(	事業達成また	- は継続実施)、B(概ね成果	見あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年 度		年度	度別事業目標			実績		評価
令和2年度 ( 実 績 )			爆体験談などの講話を実		講師と実施中止とした。		こついて調整したが	B*
令和3年度 ( 実 績 )	小学校6年生	Εを対象に、/	原爆体験談などの講話を		講師と実施	ウイルス感染症感染拡 に向けて、これまでの対 した方法へと実施方法 。	す面による講話から、	B*

				34	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年( 実績		小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。	実施なし		С
令和5年( 実 績			を聞き、命の め、平和講話 より小学実施 よる講話 よる講話 ないなる また、町に	話を実施した。 は、これまでの被爆経験者による講話から、 でも親しみやすい実施方法とするため、平和 むているナガサキ・ユース代表団の大学生 話へと変更した。 内の被爆経験者による体験等を後世に引き アーカイブ化に向けて、令和6年度の予算	Α
令和6年(実績		・小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。 ・町内の被爆経験者による体験等を後世に引き継ぐためのアーカイブ化を実施する。	実績なし		С

## 評価Cの場合

未着手の理由と今 後 の 対 応 等 平和講話及び被爆体験記録のアーカイブ化は実施方法の調整がつかず未実施となった。戦後長い年月が経過する中、児童が戦争や原 爆について知り、平和の尊さを考えるきっかけとなる機会等、今後の事業展開について検討する。

				機町子ど				官埋シー	٢		35	
事	業		名		意見を反り					Į į	改策課 ————————————————————————————————————	
基	本	目	標	2	子どもの	心豊かな	:成長を育	む環境で	<b>ぶくり</b>			
色	策の	方	向	2-6	社会参加	ロへの支持	<b>爱</b>					
当	初	計	画	7) ×4 0 mm	· ·	4 · · · · · ·	\ \\ \ T + T - 1	フの在口が			+ 7 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
事	業	概	要							テう施策や事業に反映す 足すため、中学校生徒会		
3	標		値	継続実施								
	区分	<b></b>		新	 f規	j j	継続		拡充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗:	状	況	評価基準:A	(事業達成ま	たは継続実施	も)、B(概ね)	<del></del> 成果あり)、E	<b>*</b> (新型コロナの	<del>・</del> の影響による)、C(未着手	または検討段階)	
F			 度		年	度別事業	目標			実績		部
	和 2 実			の「意見交	快会」を開作	崔。			中止した。			E
	和 3 実				に対する要: 換会」を開作		どを聴取す	る機会 <u>とし<sup>-</sup></u>	【開催日】 大磯府中止 「参加者】 【テーなからも	E徒会と町長の意見交送	(火) ス感染症の影響により 国府中学校 0名 と思うところ」、「町の ころ」、「こうすれば町	

- 2	ᄃ
ು	J

	4. 1	1.44	
年 度	年度別事業目標	実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会としての「意見交換会」を開催。	「中学校生徒会と町長の意見交換会」を開催 【開催日】 大磯中学校:新型コロナウイルス感染症の影響により 中止 国府中学校:令和5年3月9日(木) 【参加者】:大磯中学校 0名 国府中学校 7名 【テーマ】:フリートーキング 「学校・地域生活において感じていること」など	В*
令和5年度 ( 実 績 )	子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会としての「意見交換会」を開催。	「大磯高校1年生への出前授業」を実施 【開催日】令和5年10月30日(月)・12月22日(金) 【参加者】大磯高校1年生 270名 【会 場】大磯高校体育館 【内 容】 10月:大磯町の人口減少対策とその課題、財源対策について講演 12月:10月の講演を踏まえ、学生が地域探訪(町内を実際に歩く)により練り上げた、大磯町の活性化策についてクラス別発表会 ※令和5年10月30日付け「こどもまんなか応援サポーター」就任に伴い、「こどもたちからの意見聴取の機会創出」の取組みとして、令和5年度は新たに高校生との意見交換等を実施した。	1 /
令和6年度(実績)	子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会としての「意見交換会」を開催。また、大磯町第五次総合計画後期基本計画策定にあたり、子どもアンケート調査を実施。		Α

評価Cの場合

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	36
事 業 名	母子の健康保持、増進(新生児・未熟児訪問)	子育て支援課 (~R5 スポーツ健康課)
基本目標	3 子育て家庭にとって安全で安心なまちて	ゔくり
施策の方向	3-  妊娠、出産から子育てまで切れ目ないま	ī援
当初計画		
事 業 概 要	妊娠期から出産、子育で期までの子育で支援の充実を 問し、乳児の発育・発達状況、母親の健康管理や育児に	
目 標 値	対象児の全数把握、全数訪問	
区分	新規維続拡	充 完了 その他 (事業終了)
進捗状況	評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(約	新型コロナの影響による)、C (未着手または検討段階)
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )	新生児(第1子)訪問・未熟児訪問	訪問 全数訪問(67件)
令和3年度 ( 実 績 )	新生児(第1子)訪問・未熟児訪問	訪問 全数訪問(54件)

36 年 年度別事業目標 評価 度 実績 新生児(第1子)訪問·未熟児訪問 訪問 訪問済47件(対象53件) ※訪問未実施については、辞退1件、転出1件、令和5 年度に訪問4件 令和4年度 В (実績) 新生児(第1子)訪問·未熟児訪問 訪問 訪問済78件(対象80件) ※ 訪問未実施対象については、転出1件、第2子以降 未熟児(経過問題なし) | 件 令和5年度 В (実績) 新生児(第1子)訪問·未熟児訪問 保健師·助産師対応 訪問54件(対象36件) ※ うち令和5年出生児の訪問2件、訪問未実施対象に ついては、里帰り出産1件、施設入所1件 令和6年度 Α (実績)

評価Cの場合 未着手の理由と今 後 の 対 応 等

	第	52期ナ	、磯町子ど	も笑顔かがやきプ	ラン 進捗管理	皇シート			37	
事	業	名	出産育児不安の解消(情報提供・訪問・子育て講座等)						育て支援課 ′健康課/子育て支援課〕	)
基	本 目	標	3	子育て家庭にとっ	て安全で安心	づくり				
施	策のス	方向	3-1	妊娠、出産から子	育てまで切れ	目ないま	支援			
当	初計	- 画		-						
事	業概	<b>要</b>	ポーツデ育でも見く	と夫、その家族が安か 提供することを目的に んにちは赤ちゃん事業 不安などを聞き、必要 ここにこ子育て応援国 見の育児参加を推進	こ各種講座・教室 巻」として、民生き 要に応じて保健自 日」を実施します。	室を開催( 委員・児重 歩等が訪 。	します。 童委員や主 問指導しま	任児童委員が第2 :す。そのフォローとし	子以降の方を訪問	し、育
目	標	値	ポーツ ・こん 子育て ・子育て	ニティスクール I 0回/ ルにちは赤ちゃん事業 団」訪問率 I 00% 育て講座 「ベビーマッ 東に関する講座5回/	(乳児全戸訪問 サージ」4回/年	事業)訪			問事業「にこにこ子	-育て
	区分		亲	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成または継続実施	施)、B(概ね成果あ	り)、B <b>*</b> (៖	新型コロナの	影響による)、C(未着手	Fまたは検討段階)	
年		度	課	年度別事	業目標			実績		評個
令	和 2 年	丰度	スポーツ健康課	ニティスクールの実施				<b>固別Ⅰ7回 計22回/<sup>₫</sup></b>		А
(	令和2年度 ( 実 績 )		子 率10	にちは赤ちゃん事業・2 90%。 最や乳幼児の保護者を対 講座の開催 10回以」	対象とした子育で		・2歳児全戸・子育で講り ・建康に関	:赤ちゃん事業 訪問等 三訪問事業 訪問率9 座「ベビーマッサージ する講座2回/年 座 2回/年	1.4%	В
令	和3年	 丰度	マタ- ス ポ ー ツ	ニティスクールの実施			教室9回⋅個	固別2Ⅰ回 計30回/ <sup>£</sup>	Ŧ	A
	実		率 I ( 子 <u>妊</u> 婦	にちは赤ちゃん事業・2 10%。 や乳幼児の保護者を対 講座の開催 IO回以」	象とした子育て請	<b>捧座やイ</b>	訪問事業 サージ」31 講座 2回/	訪問率 92.2%・子育 回/年・健康に関する詞	講座 2回/年・イクメン ス感染症拡大防止の	

				37	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	スポーツ健康課	マタニティスクールの実施	教室10回	·個別8回 計18回/年	Α
(実績)	子育て支援課	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育で講座やイクメン講座の開催 10回以上/年。	・2歳児全戸・子育て講り ・建康に関・	t赤ちゃん事業 訪問率83.3% 5訪問事業 訪問事業89.3% 座「ベビーマッサージ」 3回/年 する講座 6回/年 座(イクメン講座から名称変更) 2回/年	В
令和5年度	スポーツ健康課	マタニティスクールの実施	教室10回	個別6回 計16回/年	А
(実績)	子育て支援課	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育で講座や 土曜日講座の開催 10回以上/年。	・2歳児全戸・子育て講り ・建康に関	は赤ちゃん事業 訪問率86.4% 三訪問事業 訪問事業92.5% 座「ベビーマッサージ」 2回/年 する講座 7回/年 座 2回/年	В
令和6年度 ( 実 績 )	子育て支援課	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育で講座や土曜日に開催する講座 10回以上/年・マタニティスクールの実施	教室9回・個・こんにちに・2歳児全戸・子育で講り ・2個/年 日・健康に関	固別8回 計17回/年 は赤ちゃん事業 訪問率86.5% ∍訪問事業 訪問率96.5% 座「ベビーマッサージ&赤ちゃん体操」	В

未	<b></b> 手	の理	曲と	(今
後	の	対	応	等

評価Cの場合

第2	期大	磯町子ども笑	顔かがやきて	プラン 進捗管	理シート			38	
事 業	名	不妊等への支	援					で支援課 ポーツ健康課)	
基本目	標	3 子育	育て家庭にと	って安全で安	心なまちつ	づくり			
施策の方	向	3-1 妊娠	辰、出産から-	子育てまで切っ	れ目ないま	泛援			
当 初 計	画								
事 業 概	要	報提供、相談体			必要とする ラ	<b>ド婦が安</b> 心し	て治療を受けられ	るよう、治療費助成	だや情 
目 標	値	継続実施							
区分		新規		継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗状	況	評価基準:A(事業	達成または継続写	実施)、B(概ね成界	Ŗあり)、B <b>*</b> (	新型コロナの影響	響による)、C(未着手	または検討段階)	
年	度		年度別事	業目標			実績		評価
令和2年, (実績		·特定不妊治療費 ·不育症治療費則	め成の実施。			・不育症治療∫			Α
令和3年 ( 実 績		·特定不妊治療費 ·不育症治療費與				·特定不妊治療。 ·不育症治療。	療費助成 23件 費助成 Ⅰ件		Α

年度         年度別事業目標         実績         評価           ・特定不妊治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の失施・不育症治療費助成の体         ・特定不妊治療費助成の存性(機利用条件をに悩む方への特定不妊治療費助成事業が終了したため)・不育症治療費助成の体         ・不育症治療費助成の体           ・本育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の体         ・不育症治療費助成の体         B			38	
・不育症治療費助成の実施。 ・特定不妊治療費助成の実施・特定不妊治療費助成の件 ・不育症治療費助成の実施・不育症治療費助成の実施。 ・不育症治療費助成の実施。 ・不育症治療費助成の実施。 ・不育症治療費助成の実施。 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の体 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の失施。 ・不育症治療費助成の失施。	年 度			評価
・不育症治療費助成の実施。 (神奈川県不妊に悩む方への特定不妊治療費助成事業が終了したため) ・不育症治療費助成 O件 B				А
令和6年度			(神奈川県不妊に悩む方への特定不妊治療費助成業が終了したため)	
		・不育症治療費助成の実施。	·不育症治療費助成 〇件	В
評価Cの場合	評価Cの場合			

	第	2期ノ	、磯町子ど	も笑顔かか 	バやきプラン 進捗	管理シート				9	
事	業	名	乳幼児侯	建診、予防接	接種の推進				子育て (~R5 スポ·	支援課 ーツ健康課)	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で	安心なまちつ	づくり				
施	策のス	方向	3-1	妊娠、出病	産から子育てまでも	刃れ目ないる	支援				
当	初計	画		•							
事	業概	要	健康に生 ロー教会 れた場合 ・身近なを 防接種の 保すること	活することを やこども発達 には、精密検 医療機関でう 意義や接種 こで感染症の	を確認するとともに、 目指して、乳幼児を 相談を勧奨します。 資査受診券を発行し 予防接種についての 時期等、正しい予防 発生及びまん延を	対象とした各 各種健康診査 受診結果を把 相談や接種が 接種の知識を	種健康診査 蚤の結果、疫 握していき できるよう	き、健康相談 ミ病や障がい ます。 に医療機関	<ul><li>を実施し、</li><li>いが疑われ</li><li>、教育機関</li></ul>	健診結果により 精密検査が必要 引等と連携を図り	フォ 要とさ 、予
目	標	值		≹診受診率Ⅰ 重率Ⅰ00%	00%						
	区分		亲	<b></b> f規	継続	拡	充	完(事業終		その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	<u>』</u> こは継続実施)、B (概ねら	 以果あり)、B*(	新型コロナの	,,,,,,	,	こは検討段階)	
年		度		年周	度別事業目標				実績		評価
	和 2 年 実 編		・予防接種				・1歳6か月 ・2歳児歯科 ・3歳児健診 ・麻しん風し	月児健診   4 児健診   17  健診   18  と 22 ん予防接 2	74人 97.89 6人 83.89 64人 90.79 (第2期) 13人 92.6	% % % %	В
	和 3 年 実 積		·乳幼児健 ·予防接種	康診査の実施の実施	在		・1歳6か月 ・2歳児歯科 ・3歳児健診	月児健診 12 児健診 13  健診 16  ・ 20 ん予防接種	88人 99.39 3人 91.69 6人 88.49	% % % %	В

			34	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	・予防接種の実施 ・予防接種の実施	·8~10か ·1歳6か月 ·2歳児歯和 ·3歳児健康	建診 150人 100% 月児健診 142人 94.0% 月児健診 164人 99.4% 科健診 157人 88.2% 診 190人 99.0% しん予防接種(第2期) 205人 85.8%	В
令和5年度(実績)	・乳幼児健康診査の実施 ・予防接種の実施	·8~10か ·1歳6か月 ·2歳児歯和 ·3歳児健康	建診 129人 100.0% 月児健診 133人 93.7% 引児健診 170人 98.3% 科健診 157人 96.3% 診 177人 100.0% しん予防接種(第2期) 215人 91.5%	В
令和6年度(実績)	・乳幼児健康診査の実施 ・予防接種の実施	·8~10か ·1歳6か月 ·2歳児歯和 ·3歳児健調	建診 103人 98.1% 月児健診 131人 92.9% 引児健診 132人 97.8% 科健診 161人 95.8% 診 174人 96.7% しん予防接種(第2期) 207人 88.1%	В

評価Cの場合

	第2	2期大	磯町子ども	笑顔かがやきる	プラン 進捗管	理シート	40		
事	業	名	母子の健康	保持、増進(産	産後ケア事業)		子育です (~R5 スポー		
基	本 目	標	3 =	子育て家庭にと	って安全で安	<b>心なまちづくり</b>			
施	策の方	向	3-1 好	壬娠、出産から <sup>.</sup>	子育てまで切れ	1目ない支援			
当	初計	画	<u>'</u>						
事	業概	要		育児不 <del>安</del> や育児 育児方法などの			Fによる母子への産後ケア₹	<b>事業を進めていま</b>	きす。
目	標	値	・アウトリーチ	ス型実施施設数 ·型 対象家庭へ i施設数Iか所		6			
	区分		新規	1	継続	拡充	完了	その他	
谁		況	] 評価基準:A(事	 ↓業達成または継続;	 実施)、B(概ね成果	 あり)、B*(新型コロ	(事業終了) (事業終了) (事業終了) (事業終了) (事業終了) (事業終了) (事業手また) (事業手また) (事業手また) (事業手また) (事業手また) (事業手また) (事業手また) (事業経済) (事業終了) (事業終史) (事業終史) (事業終了) (事業終史)	は検討段階)	
年	15 -1/	度		年度別事		(4)	実績		評値
	和 2 年 実 績		産後ケア事業デイサービスサービスサイン・リーチンの実施を変われる。	型の実施の実施の実施		デイサアウト!宿泊型	ア事業 - ビス型実施施設数 I か所   一チ型訪問数/年 26件(I 実施施設数 Oか所	00%)	A
	和 3 年 実 績		産後ケア事業 デイサービス型 アウトリーチ型 宿泊型の実施	型の実施 の実施		デイサ アウト! <u>10家</u> 修正	ア事業 ービス型実施施設数 Iか所 リーチ型訪問数/年 延べ20 <u>ミ中8家庭訪問済) ※令和4<sup>3</sup></u> 実施施設数 Iか所		A

40		

	/		1.75	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	産後ケア事業 デイサービス型の実施 アウトリーチ型の実施 宿泊型の実施	アウトリーチ	ス型実施施設数 Iか所 -型訪問数/年 延べ34件(80 %)(申請 3家庭訪問済)	В
令和5年度 ( 実 績 )	産後ケア事業 デイサービス型の実施 アウトリーチ型の実施 宿泊型の実施	アウトリーチ	ス型実施施設数 I か所 ·型訪問数/年 延べ45件(40 %)(申請 5家庭訪問済)	В
令和6年度 ( 実 績 )	産後ケア事業 デイサービス型の実施 アウトリーチ型の実施 宿泊型の実施	アウトリーチ	ス型実施施設数 3か所 ·型訪問数/年 延べ35件(56%)(申請 O家庭訪問済)	В

評価Cの場合

	第	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	べやきプラン 進捗管	理シート		41	
事	業	名	利用者支	援事業(長	母子保健型)			育て支援課 スポーツ健康課)	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	心なまちづく	<i>(</i> )		
施	策の方	向	3-1	妊娠、出産	産から子育てまで切れ	れ目ない支援	2		
当	初計	画		1					
事	業 概	要	母子保健 産婦健診 細かく支持	コーディネー や産前産後 爰するとともし	ターを配置し、母子健 の電話等での状況確言	康手帳の交付 忍により、妊産 たついては支	る相談や妊娠中からの切れ時の保健指導やマイプラン婦や子育て家庭の個別ニー援プランを策定し、必要に)	√(利用計画)の作成 −ズを把握した上で	、妊 、きめ
目	標	値	・子育て世	)全数把握 ∵代包括支援 ₹診査受診ጃ	<b>€センター  か所</b> ≊100%				
	区分		新	f規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	』』 ≿は継続実施)、B(概ね成果	! とあり)、B*(新型		 -または検討段階)	
年		度			度別事業目標		実績		評価
	和 2 年 実 績		母子健康手	≦帳の交付	ンターの設置	• 好	子健康手帳の交付数 153件 育て世代包括支援センター I 特健康診査 135件 (97.89	か所 %)	В
	和 3 年実 績		子育 <b>て世代</b> 母子健康手		ンターの設置	·子	:子健康手帳の交付数 1444 育て世代包括支援センター   :婦健康診査 139件 (96.59	か所	В

		41	
年 度	年度別事業目標	実績	評価
令和4年度(実績)	子育て世代包括支援センターの設置母子健康手帳の交付	・母子健康手帳の交付数   29件 全数把握 ・子育て世代包括支援センター  か所 ・妊婦健康診査   22件(94.5%)	В
令和5年度(実績)	子育て世代包括支援センターの設置母子健康手帳の交付	・母子健康手帳の交付数 106件 全数把握・子育て世代包括支援センター1か所・妊婦健康診査 162件(100.0%)	В
令和6年度(実績)	子育て世代包括支援センターの設置母子健康手帳の交付	・母子健康手帳の交付数     3件 全数把握 ・妊婦健康診査     04件 (99.0%) ・こども家庭センター  か所	В

評価Cの場合

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	ヾやきプラン 進捗	管理シート			42	
事	業	名	救急医療	の確保				スポ-	ーツ健康課	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	安心なまちつ	づくり			
施	策の方	向	3-2	医療体制	の充実					
当	初計	画		•						
事	業 概	要		の急患、診	療体制を確保してい	きます。				
目	標	值	継続実施							
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	:は継続実施)、B(概ね成	え果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの影	影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度			度別事業目標			実績		評価
<b>令</b> (	和 2 年 実 績		休日、夜間	の急患、診療	体制を確保		に委託し、休期救急体制 ・東海大学プ ら22時)の・ ・平塚市、二	日昼間 (9時~12時 を確保。		A
	和 3 年 実 績		休日、夜間	の急患、診	療体制を確保		師会に委言 17時)のネ ・東海大学 時から228 ・平塚市、ニ	Eし、休日昼間 (9時 刃期救急体制を確保 大磯病院に交付金 寺) の一次救急医療	呆。 ∶を支出し夜間(17 寮を確保。 日及び土曜昼夜と	Α

			42	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度(実績)	休日、夜間の急患、診療体制を確保	師会に委託 17時)の記 ・東海大学 月)及出しる を確保。 ・平塚市、	共同して、在宅当番医制事業を中郡医託し、休日昼間 (9時~12時、14時~初期救急体制を確保。 之大磯病院 (令和4年4月~令和5年2間南大磯病院 (令和5年3月) に交付金を間(17時から23時)の一次救急医療二宮町と共同で、休日及び土曜昼夜との二次救急医療を確保。	А
令和5年度 (予定)	休日、夜間の急患、診療体制を確保	師会に委託 17時)の ・湘南大磯 ら23時)の ・平塚市、	共同して、在宅当番医制事業を中郡医託し、休日昼間(9時~12時、14時~初期救急体制を確保。 該病院に交付金を支出し夜間(17時かか一次救急医療を確保。 二宮町と共同で、休日及び土曜昼夜との二次救急医療を確保。	Α
令和6年度 (実績)	休日、夜間の急患、診療体制を確保	師会に委託 17時)の社 ・湘南大磯 ら23時)の ・平塚市、	共同して、在宅当番医制事業を中郡医託し、休日昼間(9時~12時、14時~初期救急体制を確保。 機病院に交付金を支出し夜間(17時かの一次救急医療を確保。 二宮町と共同で、休日及び土曜昼夜との二次救急医療を確保。	Α
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第	2期大	:磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			43	
事	業	名	妊婦健康	診査					て支援課 ポーツ健康課)	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	心なまちつ	づくり			
施	策の力	<b>万</b> 向	3-2	医療体制	の充実					
当	初計	画		•						
事	業概	要	めます。ま; す。	た、産科医療	をのため、妊娠中に受け 条機関との連携窓口と で					
目	標	値	受診率10	0%						
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	こは継続実施)、B(概ね成界	₹あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手a	たは検討段階)	
年		度			度別事業目標			実績		評価
	和 2 年実 績		受診率10				·妊婦健康 ·受診率9			В
	和 3 年実 績		受診率10	0%。				表交付数(4~3月)   A E診査   39人 6.5%	44件	В

年度       年度別事業目標       実績       評価         受診率100%。       ・母子手帳交付数 (4~3月) 129件・ ・妊婦健康診 122人・ ・受診率94.5%       B         令和4年度 (実績)       一母子手帳交付数 (4~3月) 106件・ ・妊婦健康診査 103人・ ・受診率98.1%       B         令和5年度 (実績)       一母子帳の交付数 113件 全数把服・ ・妊婦健康診査 104件 (97.0%)・ことも家庭センター1か所・ ・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・ことも家庭センター1か所・・・こともなどのよりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによります。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					43	
・妊婦健康診査   122人 ・受診率   100%。   ・母子手帳交付数 (4~3月)   106件 ・妊婦健康診査   103人 ・受診率   100%。   ・母子健康手帳の交付数   13件 全数把握 ・妊婦健康診査   104件 (99.0%) ・こども家庭センター1か所	年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和5年度 (実績)       一母子健康手帳の交付数 113件 全数把握 ・妊婦健康診査 104件(99.0%) ・こども家庭センター1か所         令和6年度 (実績)       B			受診率100%。	·妊婦健康	表診査Ⅰ22人	В
・妊婦健康診査 104件(99.0%) ・こども家庭センター1か所 令和6年度 (実績)			受診率100%。	·妊婦健康	表診査103人	В
デ価Cの場合			受診率100%。	・妊婦健身	康診査 Ⅰ04件(99.0%)	В
	評価Cσ	)場合				

	第2	2期大	磯町子どる	も笑顔かか	べやきプラン 進捗管	理シート		•	44	
事	業	名	周産期・小	、児医療σ	確保			スポー	ツ健康課	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	心なまちつ	づくり			
施策	きの 方	向	3-2	医療体制	の充実					
当	初計	画								
事;	業概	要	療体制の研		木止となっている東海; ます。	大字医字部	付属大磯海	<b>病院の産科の再開を</b> 行	<b>宮め、周産期・小児</b>	の医
目	標	値	継続実施							
	区分		新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進力	涉 状	況	評価基準:A(	事業達成また	たは継続実施)、B(概ね成	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度			度別事業目標			実績		評価
	口 2 年			産科の再開	Eとなっている東海大学  を含め、周産期・小児の			含め、病院長・事務部長	長等と連絡調整を続	В
	口 3 年実 績			産科の再開	Eとなっている東海大学「 を含め、周産期・小児の					В

44 年 年度別事業目標 実績 評価 度 東海大学医学部付属大磯病院の業務終了(令和5年2月 産科、周産期・小児の医療体制の確保に向けて調整を 末)の報告を受けたことを踏まえ、別途、新たに令和5年3月 |続けた。事業継承する湘南大磯病院では小児科が開 から事業継承する湘南大磯病院も含め、産科、周産期・小児設されている。 の医療体制の確保に努める。 令和4年度 В (実績) 東海大学医学部付属大磯病院の業務終了(令和5年2月 産科、周産期の医療体制の確保に向けて調整を続け 末)の報告を受けたことを踏まえ、別途、新たに令和5年3月 から事業継承する湘南大磯病院も含め、産科、周産期の医 療体制の確保に努める。 令和5年度 В (実績) 東海大学医学部付属大磯病院の業務終了(令和5年2月 産科、周産期の医療体制の確保に向けて調整を続け 末)の報告を受けたことを踏まえ、別途、新たに令和5年3月 た。 から事業継承する湘南大磯病院も含め、産科、周産期の医 療体制の確保に努める。 令和6年度 В (実績) 評価Cの場合

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	べやきプラン 進捗管	理シート			45	
事	業	名	新生児聴	覚検査					て支援課 ペーツ健康課)	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	心なまちつ	づくり			
施	策の方	向	3-2	医療体制	の充実					
当	初計	画								
事	業概	要	し、その影響	響を最小限	を促すことで、言語なとに抑えるための新生児					<b>発見</b>
目	標	值	受診率10	0%						
	区分		新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	■	!あり)、B*(	新型コロナの		たは検討段階)	
年		度		年度	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		受診率100				·新生児聴 ※10月事 ·受診率66	5.7%	<del>‡</del>	В
	和 3 年 実 績		受診率100	9%				1~3月)∣39件 覚検査(4~3月)∣23ſ 3.4%	<b>‡</b>	В

45 年 年度別事業目標 評価 度 実績 受診率100% ·出生数(4~3月) I 24件 ·新生児聴覚検査(4~3月)103件 ·受診率83.0% 令和4年度 В (実績) 受診率100% ·出生数(4~3月)135件 ·新生児聴覚検査(4~3月) I I 3件 ·受診率83.7% 令和5年度 В (実績) 受診率100% ·出生数(4~3月)98件 ·新生児聴覚検査(4~3月) 82件 ·受診率83.7% 令和6年度 В (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今

後の対応等

	第2	期大	磯町子ど	も笑顔かた	がやきプラン 進捗管	き理シート			46		
事	業	名	産婦健康	 ŧ診査					育て支援課 スポーツ健康	:課)	_
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	で心なまちつ	づくり	<b>,</b>			
施	策の方	向	3-2	医療体制	]の充実						
当	初 計	画		-1							_
事	業 概	要	健康診査(からフォロ	の費用補助 一が必要と	の産婦の心と体の健身 を行い、確実な受診を される場合には、速や	動めていき	ます。また、産を				
目	標	値	受診率10	00%							
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)		その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	 .(事業達成ま <i>†</i>	『 たは継続実施)、B (概ね成	<u>*</u> 果あり)、B*(	新型コロナの影響		<u></u> 手または検討	段階)	
年		度		年原	度別事業目標			実績		評	· 任
<b>令</b> (	和 2 年 実 績	度)	受診率100	0%			·出生数(10~ ·産婦健康診 ※10月事業 ·受診率 66.6	酝(10~3月)54 <sup>∞</sup> 開始	<del>'</del>	E	В
	和 3 年 実 績		受診率100	<del>)</del> %			·出生数(4~3 ·産婦健康診查 ·受診率 79.1	₹(4~3月)।।0	<del>'</del>	E	В

46 年 年度別事業目標 評価 度 実績 受診率100% ·出生数(4~3月) I 24件 ·産婦健康診査(4~3月)91件 ·受診率 73.4% 令和4年度 В (実績) 受診率100% ·出生数(4~3月)135件 · 産婦健康診査(4~3月) I 22件 ·受診率 90.3% 令和5年度 В (実績) 受診率100% ·出生数(3~2月)94件\*\* ·産婦健康診査(4~3月)88件 ·受診率 93.6% ※ 産婦健診は、産後1か月ごろに受診するため、令和 6年度から出生数を前年度の3月から対象年度の2月 までに変更 令和6年度 В (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今 後の対応等

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	47
事 業 名	歯と口腔の健康づくり	子育て支援課 (~R5 スポーツ健康課)
基本目標	3 子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	·
施策の方向	3-2 医療体制の充実	
当 初 計 画		
ナ	・妊娠中に発症しやすい歯科疾患及び規則的な歯磨き習慣にの健康を保ち、生まれてくる子どもの健康な歯づくりや妊婦の料で行います。また、産後 I 年以内の産婦に対しても産婦歯科・2歳児歯科健診では、う蝕の有無及びう蝕の多発が予測され相談等のほか、希望者には新たに子どものむし歯予防に有效と口腔の健康保持に努めます。	口腔衛生向上を図るために、妊婦歯科健診を無  健診を無料で行います。 れる背景の確認や歯磨き指導、食事やおやつの
目 標 値	・継続実施・2歳児歯科健診受診率100%	
区分	新規継続拡充	完了 (事業終了) その他
進捗状況	評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(新型コロ	ーー・ コナの影響による)、C(未着手または検討段階)
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )		人、受診率83.8% B
令和3年度(実績)	2歳児歯科健診の実施 163人	、受診率91.6% B

47 年 年度別事業目標 実績 評価 度 2歳児歯科健診の実施 157人、受診率88.2% 令和4年度 В (実績) 2歳児歯科健診の実施 157人、受診率96.3% 令和5年度 В (実績) 2歳児歯科健診の実施 161人、受診率95.8% 令和6年度 В (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今 後 の 対 応 等

	第	2期大	磯町子ども笑	額かがやきプラ	ン 進捗管理	シート			48	
事	業	名	児童手当の支	給				子育	て支援課	
基	本 目	標	3 子育	すて家庭にとって	安全で安心	なまちつ	づくり			
施	策の方	「向	3-3 経済	幹的な支援						
当	初計	画								
事	業概	要	法により、中学校	6ける生活の安定と 交3年生以下の児					上を図るため、児童	手当
目	標	値	継続実施							
	区分		新規	継	続	拡	充	完了(事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(事業)	達成または継続実施)	)、B(概ね成果あり	J)、B <b>*</b> (∮	新型コロナの影	響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度		年度別事業目	1標			実績		評価
令 (	和 2 年実 績		育成、資質の向上当を支給する。	その安定と次代の社:を目的として、児童	を養育している	人に手	・支給額:415	5,975,000円		А
	和 3 年実 績			5の安定と次代の社:を目的として、児童				童数: 39,795人 5,400,000円		A

				48	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 年 ( 実 績		家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。	·支給額:3	児童数:37,316人 188,555,000円 正により令和4年6月分から所得の上限限 こあり	А
令和5年(実績		家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。		児童数:35,409人 871,460,000円	Α
令和6年(実績		家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。 ・制度改正に対応するため、システム改修及び新規対象者への周知を徹底する。	・支給額:4 令和6年10 して、各種原	児童数: 37,308人 (うち高校生2,761人) -23,145,000円 0月の制度改正により、高校生までを対象と 届出の処理等を行った。また、第3子認定児 )処理等を行った。	Α
評価Cの場					
後の対応					

		第2	2期大	磯町子ども笑顔か	いがやきプラン 進捗管	理シート		49	
事	当	ŧ	名	こども医療費の助	ı成(~R5 小児医療]	貴の助成)	子育·	て支援課	
基	本	目	標	3 子育で	家庭にとって安全で安	心なまちづくり	•		
施	策の	方	向	3-3 経済的	な支援				
当	初	計	画						
事	業	概	要		の入院及び通院に係るB 、児童の保健及び福祉		の児童の入院に係る医療責 図ります。	責を助成し、病気の <u>∙</u>	早期
目	桴	<b>声</b>	値	継続実施					
	区	分		新規	継続	拡充	完了	その他	
進	捗	状	況	    評価基準:A(事業達成:	 または継続実施)、B(概ね成	果あり)、B*(新型コ	(事業終了) コロナの影響による)、C(未着手	<u></u> または検討段階)	
年			度	年	- 度別事業目標		実績		評価
	和 2			あったものを中学生卒制限を撤廃し、医療費早期発見と治療を促動向上と増進を図る。	他院の助成対象を小学校卒業まで引上げ、さらに1歳の一部助成対象者の拡充 まの一部助成対象者の拡充 ますることで、児童の保健及	以上の所得 支給 し、病気の なび福祉の 令和 上げ	児童数:3,627人額:60,714,817円 2年10月から所得制限を撤りることで医療費助成の充実を		Α
	和実				入院及び通院に係る医療 療を促進し、児童の保健及	び福祉の向 支給 拡充			A

			49	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	中学生までの児童の入院及び通院に係る医療費を助成し、 病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向 上と増進を図る。	支給額:79 令和5年度		Α
令和5年度(実績)	高校生までの児童の入院及び通院に係る医療費を助成し、 病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向 上と増進を図る。	支給額:		Α
令和6年度 ( 実 績 )	高校生までの児童の入院及び通院に係る医療費を助成し、 病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向 上と増進を図る。			Α
評価Cの場合 未着手の理由と今 後の対応等				

	第	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	<b>ヾやきプ</b> ラ	ラン 進捗管	理シート			50	
事	業	名	養育医療	Ē					子育	て支援課	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとっ	て安全で安	心なまちつ	づくり			
施	策の方	向	3-3	経済的な	支援						
当	初計	画	<u> </u>	<del>!</del>							
事	業概	要	医師が養						2000g以下の乳児、 医療を助成します。	または指定医療機	機関の
目	標	値	継続実施								
	区分		新	f規	Ŕ	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	: は継続実が	も)、B(概ね成	<u>*</u> 果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度		年度	度別事業	目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		体重2000	g以下の乳児	、または指	と必要とする材 定医療機関の し、その養育に	の医師が養		: 5人 ,086,268円		А
	和 3 年 実 績		体重2000	g以下の乳児	、または指	と必要とする材 定医療機関の し、その養育に	の医師が養	·対象者数:5	: 2人 76,470円		А

50 年 年度別事業目標 実績 度 評価 病院または診療所に入院することを必要とする未熟児(出生・対象者数: 体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養 ·支給額:394,138円 育医療の対象と認めた乳児)に対し、その養育に必要な医 療を助成。 令和4年度 Α (実績) 病院または診療所に入院することを必要とする未熟児(出生・対象者数: 体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養 ·支給額:1,479,394円 育医療の対象と認めた乳児)に対し、その養育に必要な医 療を助成。 令和5年度 Α (実績) 病院または診療所に入院することを必要とする未熟児(出生・対象者数: 体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養 ·支給額:1,304,400円 育医療の対象と認めた乳児)に対し、その養育に必要な医 療を助成。 令和6年度 Α (実績)

評価Cの場合

		第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かス	がやきこ	プラン 進	<b>捗管理</b>	シート					51		
事	Ž	¥	名	就学援助									学村	交教育	<b>育課</b>	
基	本	目	標	3	子育て家	なにと	って安全	で安心な	<b>ょまち</b> -	づくり						
施	策(	の方	向	3-3	経済的な	支援										
当	初	計	画													
事	業	概	要	補助金を多											満たした者に	こ対し、
目	Ħ.	票	値	継続実施												
	区	分		新	規		継続		拡	充		完了(事業終			その他	
進	捗	状	況	評価基準:A	(事業達成ま	たは継続	実施)、B(概	 Hね成果あり	),B*(	新型コロナの				または	検討段階)	
年			度		年	度別事:	業目標						実績			評価
	和名			は、就学の 金を交付。 ・経済的事 費用の一部		で諸条件	を満たしたな家庭に対	さけ、学用品	補助		<b>力費を支</b>	給(小学	·校95/	人、中学	Ź校67人)	A
令	和〔	3 年	度	は、就学の糸 金を交付。	青により就学	で諸条件	を満たした	:者に対し、	補助	·私立高杉 ·就学援助					、)。 ₽校64人)	

			51	
年	度	年度別事業目標	 実績	評価
令和 4 年 ( 実 績		・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。	就学支援補助金を支給(2人)。 費を支給(小学校87人、中学校70人)	A
令和5年 ( 実 績		・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。	就学支援補助金を支給(2人)。 費を支給(小学校91人、中学校81人)	A
令和6年 ( 実 績		・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。	就学支援補助金を支給( 人)。 費を支給(小学校  3人、中学校86人)	A
評価Cの均	易合			
未着手の理由 後 の 対 応				

	第	2期大	:磯町子ども	笑顔かた	がやきプラン 進捗管	理シート			52			
事	業	名	ひとり親へ	の援助				子育~	て支援課			
基	本 目	標	3	子育て家	<b>産にとって安全で安</b>	心なまちつ	づくり					
施	策の方	向	3-3	経済的な	支援							
当	初計	画	<u> </u>									
事	業 概	要	・ひとり親家 の児童を ・母子に支 ・4月日入 ・ひとり親家	庭の18歳 護している 家庭の母 う健康保 在、町に6 したひとり	活の安定と自立を促進	加の3月31 は父に代わ になった E けで助成しる 基本台帳に 要件に該当	日まで(中 って児童を  以降の最 ます。 こ登録され する児童)	度以上の障がいがあき 養育している人に手 初の3月31日までの ている方で、その年の を養育している方に助	当を支給します。 児童)が病院などの 4月に小学校・中学	の受学校・		
目	標	値	継続実施									
	区分		新規	見	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他			
進	捗 状	況	評価基準:A(	事業達成ま7	』 たは継続実施)、B(概ね成界	!あり)、B*(	新型コロナの		たは検討段階)			
年		度		年月	度別事業目標			実績		評価		
	和 2 年 実 績		ひとり親家庭等己負担分を助		で定と自立を支援するため、E 増進を図る。		ひとり親医療 ・対象世帯:164世帯(405人)、負担額:12,609,466円 ひとり親助成金 ・対象世帯:22世帯(24人)、支給額:720,000円 児童扶養手当 ・対象受給者数:190人 ・新規認定数:19人 ・転入認定数: 10人 ・父子認定数:2人 ひとり親家庭特別給付金【町独自・新型コロナウイルス感染症対策】 ・対象世帯:143世帯(204人)、支給額:4,290,000円					
	和 3 年 実 績		ひとり親家庭等己負担分を助力		₹定と自立を支援するため、E 増進を図る。	医療費の自	ひとり親助成 ・対象世帯: 児童扶養手 ・対象受給者	53世帯(369人)、負担額 ₹金   8世帯( 8人)、支給額:	540,000円 数:18人	Α		

			52	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度(実績)	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。	ひとり親助成 ・対象世帯: 児童扶養手 ・対象受給者	149世帯(358人)、負担額:12,572,266円 成金 11世帯(12人)、支給額:360,000円	Α
令和5年度(実績)	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。	ひとり親助成 ・対象世帯: 児童扶養手 ・対象受給者	44世帯(348人)、負担額: 3,334,849円 成金  23世帯(26人)、支給額:780,000円	А
令和6年度(実績)	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。	児童扶養手 ・対象受給者 ・転入認定数 ひとり親助成	58世帯(373人)、負担額:  ,466,886円	Α
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

第2期	大磯町子ど	も笑顔かが	ヾやきプラン 進捗管	理シート			53	
事 業 名	障がいの	ある子ども	への援助			子育~	て支援課	
基本目標	3	子育で家原	庭にとって安全で安	心なまちつ	づくり			
施策の方向	3-3	経済的な	支援					
当初計画		-						
事業概要	を図ります	•	満の児童を扶養してい	る人に手≜	当を支給し、障が	がい児家庭の生活	5の安定と福祉の5	曽進
目 標 値	継続実施							
区分	新	<b>f規</b>	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗状況	評価基準:A	(事業達成また	- は継続実施)、B(概ね成身	- 具あり)、B*(	新型コロナの影響	による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年 度		年度	<b>E別事業目標</b>			実績		評価
令和2年度( 実績)	支給し、障	がい児家庭の	の児童を扶養している人 生活の安定と福祉の増	進を図る。	·受給資格者数: ·新規認定数:	10件		Α
令和3年度( 実績)			の児童を扶養している人 生活の安定と福祉の増		·受給資格者数: ·転入認定数:	12件		A

		T	55	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 年 度 ( 実 績 )	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を 支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。	・受給認認・転入認定を		A
令和5年度 ( 実 績 )	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を 支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。		者数:65件 数: 13件 数: 0件	А
令和6年度 ( 実 績 )	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を 支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。	·受給資格 ·新規認定		A

評価Cの場合

第2期大	磯町子ども笑顔な	かがやきプラン 進捗管	管理シート		54	
事 業 名	保育料以外の実	費負担への費用助成		子育 <sup>·</sup>	て支援課	
基本目標	3 子育で	「家庭にとって安全で安	安心なまちづ	<b>1</b> <1)		
施策の方向	3-3 経済的	的な支援				
当初計画						
事 業 概 要		[負担の部分について、化	太所得者等の	負担軽減を図るための補助を	実施します。	
目 標 値	継続実施	_				
区分	新規	継続	拡充	完 完了 (事業終了)	その他	
進 捗 状 況	評価基準:A(事業達成	はまたは継続実施)、B(概ね成	(果あり)、B*(新	f型コロナの影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年 度	٤	年度別事業目標		実績		評価
令和2年度 ( 実 績 )	う。	Eに対する副食費の免除や <sup>注</sup>		氐所得や多子の家庭に対する副€ €行った(84人)	き費の免除や補助等	А
令和3年度 ( 実 績 )	低所得や多子の家庭う。	<b>Eに対する副食費の免除や</b>		氐所得や多子の家庭に対する副€ €行った (89人)	き費の免除や補助等	А

			54	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度(実績)	低所得や多子の家庭に対する副食費の免除や補助等を行う。	・低所得や等を行った	多子の家庭に対する副食費の免除や補助 (125人)	A
令和5年度(実績)	低所得や多子の家庭に対する副食費の免除や補助等を行う。	・低所得や等を行った	多子の家庭に対する副食費の免除や補助 (101人)	A
令和6年度(実績)	低所得や多子の家庭に対する副食費の免除や補助等を行う。	・低所得や等を行った	多子の家庭に対する副食費の免除や補助 (120人)	A

未着手の理由と今 後 の 対 応 等

評価Cの場合

	第2	期大	磯町子と	ぎも笑顔かた	がやきプラン 進捗管	理シート			55				
事	業	名	公園や道	道路等の環	境整備、バリアフリー				都市計画課 :/都市計画課)				
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	心なまちつ	づくり						
施	策の方	向	3-4	生活環境	の整備								
当	初計	画											
事	業概	要	建設課が市計が対し	こ努めます。 県道における 発備に取り組ん 共施設、公共	町道等への歩道の整係 5通学時等の危険な場 んでいきます。 株機関のバリアフリー化 環境づくりを目指します	所の改善を	要望し、国	・県・町それぞれの道	路管理者が一体と	とな			
目	標	値	課	町内歩道整備延長L=943m(国府本郷西小磯   号線、幹線28号線) 町内全ての公園で点検・修繕、公園検査を実施									
			都 市 計 計 画	・町内全ての公園で点検・修繕、公園検査を実施									
	区分		亲	新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他				
進	捗 状	況	評価基準:/	A(事業達成ま#	には継続実施)、B(概ね成り	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)				
年		度	課	£	丰度別事業目標			実績		言			
今		度		県道における	道等への歩道の整備を達 通学路等の危険な場所の		・県道の危	に必要な用地の交渉を 険な箇所を改修するため、 、改修できる道筋を立て	か、県及び関係者と				
(	実績		る。翌	翌日に清掃検 門業者による3	園・緑地で毎月2回の清 査を実施。 遊具の安全点検を実施し 、修繕を実施した。		掃を実施し ・遊具の設 繕料の翌年	3月曜日に町内50箇戸、翌日に検査を行った。 置してある36公園で安 度の予算の確保を行い は、直ちに修繕を行った	全点検を実施し、修 、、緊急性の高い遊				
<u> </u>	▶和3年度		, ,	県道における	道等への歩道の整備を達 通学路等の危険な場所 <i>の</i>		線28号線) ・県道の危	(国府本郷西小磯   号紀   のため総合計画に位置 険個所改修のため、次年 るよう県及び用地関係:	置付けた。 F度より用地買収等				
	実績		都・専門	翌日に清掃検: 門業者による3	園・緑地で毎月2回の清 査を実施。 遊具の安全点検を実施し 、修繕を実施した。		掃を実施し ・遊具の設 繕料の翌年	3月曜日に町内50箇戸、翌日に検査を行った。 置してある36公園で安 度の予算の確保を行い は、直ちに修繕を行った	全点検を実施し、修 、、緊急性の高い遊				

				55	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	建設課	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。	歩道整備 <i>0</i> ・県道の危 を行った。	の歩道整備(国府本郷西小磯 I 号線)及び )ための用地買収(幹線28号線)を行った。 険個所改修のため、県と協働で用地買収等	А
(実績)	都市計画課	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。	掃を実施し ・遊具の設 繕料の翌年	3月曜日に町内50箇所の公園・緑地の清、翌日に検査を行った。 、翌日に検査を行った。 置してある37公園で安全点検を実施し、修 E度の予算の確保を行い、緊急性の高い遊は、直ちに修繕を行った。	Α
令和5年度	建設課	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。	及び幹線2 ・県におい <sup>*</sup>	歩道整備 (国府本郷西小磯   号線約287m 8号線約   8m) を行った。 て、前年度、町と協働で用地買収等を実施し を備箇所について、歩道整備工事を行った。	Α
(実績)	都市計画課	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。	掃を実施し ・遊具の設 繕料の翌年	3月曜日に町内50箇所の公園・緑地の清、翌日に検査を行った。。 置してある35公園で安全点検を実施し、修 E度の予算の確保を行い、緊急性の高い遊は、直ちに修繕を行った。	Α
令和6年度	道路課	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。	実施し、国府 部の用地買・3市3町広	・線において、歩道整備に必要な測量調査を 存本郷西小磯   号線については、歩道整備 買収を行った。 「域行政推進協議会を通して、県道相模原 「対をはじめとした交通安全施設の早期整 た。	Α
(実績)	都市計画課	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。	掃を実施し ・遊具の設 繕料の翌年	3月曜日に町内50箇所の公園・緑地の清、翌日に検査を行った。。 置してある37公園で安全点検を実施し、修 E度の予算の確保を行い、緊急性の高い遊は、直ちに修繕を行った。	Α
評価Cの場合					
未着手の理由と今 後 の 対 応 等					

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			56	
事	業	名	公共施設	とでの子育	て支援 (授乳室やべ	ビーベット	等)	子育"	て支援課	
基	本 目	標	3	子育て家	庭にとって安全で安	心なまちつ	づくり			
施	策の方	向	3-4	生活環境	の整備					
当	初計	画		-						
事	業 概	要	スの確保で	を推進します	、共施設を利用しやすい。 。 加しやすいように移動ま					<b>くぺー</b>
目	標	値	赤ちゃんの	)駅の貸出	2回以上/年					
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	。 cは継続実施)、B(概ね成界	見あり)、B*(	新型コロナの		たは検討段階)	
年		度		年度	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績			駅の貸出   2			新型コロナ等が中止に	D駅の貸出0回/年ウイルス感染拡大防止になり需要がなかった。	の影響からイベント	В*
	和 3 年 実 績		赤ちゃんの	駅の貸出   2	回以上/年		新型コロナ	D駅の貸出0回/年ウイルス感染拡大防止なり需要がなかった。	の影響からイベント	В*

56 年 年度別事業目標 実績 評価 度 赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年 ・赤ちゃんの駅の貸出3回/年 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響からイベント 等が中止になり需要がなかった。 令和4年度 В\* (実績) 赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年。 ・赤ちゃんの駅の貸出1回/年 令和5年度 В (実績) 赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年 ・赤ちゃんの駅の貸出1回/年 令和6年度 В (実績) 評価Cの場合

		第2	期大	:磯町子ど 	も笑顔かか	<b>でやき</b>	プラン	進捗管 ——	を理シー 	- <b> </b>					57			_
事	業		名	通学路や	公園などの	つ安全	確保					町目	民課/	都市計	画課	/学校教	女育:	課
基	本!	3	標	3	子育て家	庭にと	って安	全で安	そ心なま	きちつ	づくり	•						
包	策の	方	向	3-4	生活環境	の整体	<b>苗</b>											
á	初言	計	画		*													
				足	事故危険箇所 灯を整備します		、ストップ	マークや	啓発看板	の設	置を進めま	す。						
ļ.	業材	既	要	市の間代	市 の間伐などを実施します。 ・公園遊具の定期点検を実施し、必要な修繕を行うとともに、安全な遊具への更新を進めます。													
				校 ト各小	学校において、 改善の必要な							ため、危険	箇所の点	、検調査 <sup>7</sup>	などを行	います。点材	(調査	σ
				課	防犯灯の維持	管理												
3	標		値	市計・公園	計画学						'年							
				***														
	区分	<b>)</b>		亲	f規		継続			拡	充		完了			その他	3	
隹	捗丬	犬	況	評価基準:A	(事業達成また	は継続	実施)、B	(概ね成:	果あり)、	B <b>*</b> (	新型コロナ	の影響に	よる)、C(	(未着手)	または検	討段階)		
F			度	課	车	F度別	事業目	標					9	<b></b>			i	言
					ップマークや? 2灯の整備。	交通安全	全啓発看	板の設	置。		・交通事故 全啓発看 ・防犯灯の	板を設置	置した。			ークや交通 0件)	·安	,
	和 2 実 <i>第</i>			都年間	』・緑地の敷地を通して行う。 を通して行う。 よの安全点検 う。						·36公園	の遊具の な遊具の	安全点 )予算の	検を行り	い、6公	Eを実施。 園7遊具の る性の高		
				学校教育の	、学校におい の安全確保の 点検調査の約 是出された通 し改善に努め	ため、危 吉果、改 学路改	危険箇所 善の必要	の点検 要な箇所	調査など fは、各学	ごを 4校	た通学路 て、町の関	改善要望 【係各課	星を元に 及び警察	協議を	行った。	校から出さ 必要に応し 関と共に改	,	
					ップマークや? 2灯の整備。	交通安全	全啓発看	板の設	置。		·交通事故 全啓発看 ·防犯灯0	板を設置	置した。			ークや交通 3件)	安	
		-		都 年間	1・緑地の敷り を通して行う。 よの安全点検 う。						の修繕を	の保守委 行った。 る	託検査組 また36公	結果に基 ・園の遊	基づき、 <b>基</b> 具の安	Eを実施。 9公園 I O遠 そ全点検を ・算計上を行	亍	••••
		口3年度 実績)		学 学 校 行う。 からi	、学校におい の安全確保の 点検調査の約 是出された通 し改善に努め	ため、危 吉果、改 学路改	危険箇所 善の必要	の点検 要な箇所	調査など fは、各学	ごを 2校	た通学路 て、町の関	改善要望 関係各課	星をもとに 及び警察	こ協議を	そ行った	校から出さ。必要に応 』と共に改	じ	

			57	
年 度	課	年度別事業目標	実績	評価
	町民課	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。	・交通事故危険箇所において、ストップマークや交通安全啓発看板を設置した。 ・防犯灯の新設、移設、撤去を行った。(16件)	Α
令和4年度	都市計画	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、 年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕 を行う。	・町内46箇所の公園・緑地の樹木の剪定を実施。 ・昨年度の保守委託検査結果に基づき、12公園13遊 具の修繕を行った。また37公園の遊具の安全点検を 行い、10公園で修繕が必要な12遊具の予算計上を 行った。	Α
(実績)	学校教育	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようにするための講習を実施。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。	た通学路改善要望をもとに協議を行った。必要に応じ	Α
	町民課	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。	・交通事故危険箇所において、ストップマークや交通安全啓発看板を設置した。 ・防犯灯の新設、移設、修繕、撤去を行った。(28件)	Α
令和5年度 ( 実 績 )		・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、 年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕 を行う。	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、 年間を通して行った。 ・遊具の安全点検を年 I 回実施し、必要な遊具の修繕 を行った。	Α
	学校教育	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通 学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを 行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校 から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と 連携し改善に努める。		Α
	町民課	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。	・交通事故危険箇所において、ストップマークや交通安全啓発看板を設置した。 ・防犯灯の新設、移設、修繕、撤去を行った。(22件)	Α
令和6年度(実績)		・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、 年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕 を行う。	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、 年間を通して行った。 ・37公園で遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊 具の修繕を行った。	А
	学 校 教 育	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通 学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを 行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校 から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と 連携し改善に努める。	・防犯安全対策推進委員会を開催し、各校から出された通学路改善要望をもとに協議を行った。必要に応じて、町の関係各課及び警察等の関係機関と共に改善に向けて連携した。	Α
評価Cの場合				- <del></del>

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かがや	きプラン 進捗管	理シート			58	
事	業	名	交通安全、防犯対策					町民課/学校教	育課/生涯学習	課
基	本 目	標	3	子育て家庭に	ことって安全で安	心なまちつ	づくり			
施	策の方	向	3-4	生活環境の整	<b></b> と備					
当	初計	画		•						
事	業 概	要	『	事故・犯罪の未然 安全・防犯対策の もを犯罪等の被 護者、地域、関係団 もが交通事故やが 、保護者、地域が 本主催による登下を	の情報を広報や町ホーミから守るため、関係 目体に情報提供します 他罪の被害に遭わな 連携して、登下校をを	校・地域・関 ームページ等 機関・団体 -。 いようにする 含めた学校!	関係団体と協 等により学校 との情報交 なための講習 内外の安全	らかして子どもの見守り ・地域・関係団体に情: ・・地域・関係団体に情: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	報を提供します。 ページや電子メール等	
目	標	值	町 <sub>民</sub> 継続: <sup>学</sup> 継続: 生 子ど:		Ŧ修仝丨回/任					
	— "		准		·	1.1		完了	7 - 11	
	区分		<b>計</b>	f規 ————————————————————————————————————	継続	拡	允	(事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成または継続	き実施)、B(概ね成果あり	J)、B <b>米</b> (新型	コロナの影響	による)、C(未着手または村	(食)	
年		度	課		別事業目標			実績		評価
				安全、防犯出前講座 ・地域・関係団体と†	⊠の実施。 劦カし子どもの見守り浴	舌動の実施。	·新入学児童	テ頭見守りの実施(秋   回 セ、子どもの健康診査受診 関係団体へ啓発物品の値	者及び保護者へ啓発	А
<b>令</b> (	和 2 年 実 績	度 )	学校教育・学校	る交換を充実し、不智 ニール等により保護者 もが交通事故や犯罪 関を実施。	、ら守るために、関係機 番者情報等を町のホール 着や地域、関係団体に作 間の被害に遭わないよう 携して、登下校を含めた	ムページや 情報提供。 うにするため	長会や民生 供した。 ・各校におい 施した。 ・各校で通学	終協議会から情報提供: 委員等の関係団体、保護: て、交通安全教室や不審 な路点検や地域フォーラムについて情報交換を行った	者や地域住民に情報提 者侵入防止訓練等を実 等を実施し、学校内外	
			涯		修会を年   回開催する。			ウイルス感染症感染拡大		B*
令	和3年		·学校		区の実施。 協力し子どもの見守り治 罪発生状況などの情報		末2回)を実 広報、ホーム 発を実施した ・学校や地域	「頭見守り(春秋2回)、街施した。また、各季の交通 施した。また、各季の交通ページ、のぼり旗の設置等 た。 などからの不審者情報を 域、警察、防犯関係団体と	安全運動期間中に、町 等により交通安全の啓 ・町内の関係団体に情	А
	実績		学校教育調学である。	る交換を充実し、不審 ニール等により保護者 もが交通事故や犯罪 習を実施。	、ら守るために、関係機 とというでは、関係団体に対している。 というでは、関係団体に対している。 でが書に遭わないようが、 は、登下校を含めた。	ムページや 情報提供。 うにするため	長会や民生 供した。 ・各校におい 施した。 ・各校で通学	原格協議会から情報提供: 委員等の関係団体、保護: で、交通安全教室や不審 のないではなフォーラムについて情報交換を行った	者や地域住民に情報提 者侵入防止訓練等を実 等を実施し、学校内外	
			生 ・子ど 涯	もSOS事業推進研修	修会を年Ⅰ回開催する。		・新型コロナ	ウイルス感染症感染拡大	防止の観点から中止。	В*

				58	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	町民課	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供	回)を実施し 報、ホームペ 実施した。 ・防犯対策の	所頭見守り(春秋2回)、街頭キャンペーン(各季6.た。また、各季の交通安全運動期間中に、町広ージ、のぼり旗の設置等により交通安全の啓発を0出前講座を2回実施し、偶数月の年金支給日による街頭広報(5回)や街頭キャンペーン(4回)を	А
(実績)	学校教育課	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようにするための講習を実施。・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。	長会や民生 供した。 ・各校におい 施した。	E絡協議会から情報提供された不審者情報を、区委員等の関係団体、保護者や地域住民に情報提って、交通安全教室や不審者侵入防止訓練等を実 と路点検等を実施し、学校内外の安全保持につい を行った。	Α
	生 涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。		事業推進研修会を1回開催し、子どもたちの安 4う防犯活動について検討した。	Α
令和5年度	町民課	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供	回)、交通安 運動期間中 り交通安全の ・防犯対策の	所頭見守り(春秋2回)、街頭キャンペーン(各季6全教室(5回)を実施した。また、各季の交通安全に、町広報、ホームページ、のぼり旗の設置等によの啓発を実施した。 り出前講座を2回実施し、偶数月の年金支給日による街頭広報(6回)や街頭キャンペーン(4回)を	А
(実績)	学校教育課	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようにするための講習を実施。・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。	施した。	で、交通安全教室や不審者侵入防止訓練等を実 を路点検等を実施し、学校内外の安全保持につい を行った。	В
	生 涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。		事業の実施について協議し、子どもたちの安全・ 5犯活動について検討した。	В
令和6年度	町民課	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供	(各季5回) 季の交通安 のぼり旗の ・防犯対策 給日には広	街頭見守り(春秋2回)、街頭キャンペーン)、交通安全教室(5回)を実施した。また、各子全運動期間中に、町広報、ホームページ、設置等により交通安全の啓発を実施した。の出前講座を1回実施し、偶数月の年金支、報車による街頭広報(2回)や街頭キャン回)を実施した。	А
(実績)	学校教育課	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようにするための講習を実施。・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。	等を実施し ・各校で通	いて、交通安全教室や不審者侵入防止訓練 た。 学路点検等を実施し、学校内外の安全保持 報交換を行った。	В
	生 涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。		S事業の実施について協議し、子どもたちの に伴う防犯活動について検討した。	В
評価Cの場合					

	第2	2期大	磯町子と	も笑顔かか	がやきプラン 進捗な	管理シート			59	
事	業	名	気軽に相	談できる母	環境の整備				て支援課 康課/子育て支援課)	
基	本 目	標	4	地域が支	える子育て環境づ	くり				
施	策の方	向	4-1	子育て相	談体制の充実					
当	初計	画								
事	業 概	要	パポーツ 子 子 子 子 子	より保健指導 て情報など	導を行います。 の問い合わせなどを	インターネッ	〜等で気軽	師・管理栄養士が随い に行えるような体制で も発達相談員による「	ぶくりを進めます。ま	た、
目	標	値	ポーツ	実施						alumanan
	区分		亲	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	たは継続実施)、B(概ね成	.果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	課	至	年度別事業目標			実績		評価
	和 2 年		スポーツ健康課	等による保健		1 <u>1111111111111111111111111111</u>	·未熟児	3件、産婦 I 56件 5件、乳児53件	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	A
(	実 績	)	子・つと	`いの広場「保 `いの広場「子	開催(めばえ・すくすく) R健師の育児相談」12 Pども発達相談員の育り	回/年	167回 3, ・つどいのが え6回 12, ・つどいのが	広場(めばえ・すくすく) 4 481人、すくすく167回 広場「保健師の育児相言 人、すくすく7回 12人) 広場「子ども発達相談員 え7回 5人、すくすく6回	2,336人) 淡」13回/年(めば 鼠の育児相談」13回	_
<b>令</b>	和3年	度	スポーツ健康課	等による保健	指導。			4件、産婦139件 件、乳児49件		А
	実績		子・つと	`いの広場「保 `いの広場「子	開催(めばえ・すくすく) R健師の育児相談」12 Pども発達相談員の育り	回/年	259回 4,5 ・つどいのが え10回 1 ・つどいのが	な場 (めばえ・すくすく) 4 852人、すくすく261回 な場「保健師の育児相言  人、すくすく11回 11/ な場「子ども発達相談員 え11回 13人、すくすく	2,758人) 炎」21回/年(めば 人) 鼠の育児相談」21回	А

				59	
年 度	課	年度別事業目標	実績		
令和4年度	スポーツ健康課	面接等による保健指導。	・未熟児	3件、産婦 I 40件 6件、乳児327件	Α
(実績)	育	・つどいの広場の開催(めばえ・すくすく)各6日/週・つどいの広場「保健師の育児相談」12回/年・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年	293回 5, ・つどいの』 (めばえし ・つどいの』	広場(めばえ・すくすく)各6日/週(めばえ842人、すくすく293回 4,766人) 広場「保健師の育児相談」24回/年 2回/年 23人、すくすく12回/年 24人) 広場「子ども発達相談員の育児相談」24回 え12回/年 17人、すくすく12回/年 13	Α
令和5年度	スポーツ健康課	面接等による保健指導。		8件、産婦 I 55件 6件、乳児399件	А
(実績)	育て	・つどいの広場の開催(めばえ・すくすく)各6日/週・つどいの広場「保健師の育児相談」12回/年・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談等)の実施	ばえ293回・つどいのがえ12回・す・つどいのが えりでいるがいのが /年(めばえいはくくみサ	広場の開催(めばえ・すくすく)各6日/週(め 16,113人 すくすく293回 5,888人) 広場「保健師の育児相談」24回/年(めばくすく12回) 広場「子ども発達相談員の育児相談」24回 に12回・すくすく12回) ロン(子育てコンシェルジュによる育児相談 (13回 96人)	А
令和6年度 ( 実 績 )	支	・面接等による保健指導。 ・つどいの広場の開催(めばえ・すくすく)各6日/週・つどいの広場「保健師の育児相談」24回/年(修正)・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」24回/年・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談等)の実施(21回)	妊婦413 乳児517 ・つどいのが ばえ293回 ・つどいのが え12回・す ・つどいのが /年(めばえ)・はぐくみサ	よる保健指導件、産婦286件件、幼児678件 広場の開催(めばえ・すくすく)各6日/週(め16,168人 すくすく293回4,959人) 広場「保健師の育児相談」24回/年(めばくすく12回) 広場「子ども発達相談員の育児相談」24回 に12回・すくすく12回) ロン(子育てコンシェルジュによる育児相談 (21回 92人)	А
評価Cの場合					

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗	管理シート			50	
事	業	名	子どもの	病気や発育	育の相談体制				(支援課 康課/子育て支援課)	)
基。	本 目	標	4	地域が支	える子育て環境で	づくり				
施策	の方	向	4-1	子育て相	談体制の充実					
当礼	切 計	画								
事業	業 概	要	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	が随時電話	そや面接などにより( センターに専門の木	<b>保健指導を行</b>	います。	発育発達の確認を行う により、子育て中で生じ		
目	標	値	継続リッチ育で支援	実施						
	区分		新	f規	継続	抓	充	完了 (事業終了)	その他	
進力	步状	況	評価基準:A	(事業達成また	こは継続実施)、B(概ね	成果あり)、B*	(新型コロナの	)影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	課	车	丰度別事業目標			実績		評估
	12年		スポーツ健康課	等による保健	指導		・未熟児	3件、産婦156件 15件、乳児53件		A
(  実	<b>尾</b>	)	子育て支援課	6発達相談			子ども発達	<b>達相談 62件/年</b>		A
令和	」3 年	度	るポーツ健康 課	等による保健	指導			4件、産婦139件 8件、乳児49件		A
	<b>美</b>			も発達相談			子ども発達	<b>桂相談 44件/年</b>		A

			T	60	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	スポーツ健康課	面接等による保健指導		3件、産婦 I 40件 6件、乳児327件	А
(実績)	子育て支援課	子ども発達相談	子ども発達	相談 47件/年	Α
令和5年度	スポーツ健康課	面接等による保健指導		8件、産婦155件 6件、乳児399件	А
(実績)	子育て支援課	子ども発達相談	子ども発達	相談(5歳児健診フォロー 29件/年)	Α
令和6年度(実績)	子育て支援課	・面接等による保健指導子ども発達相談(5歳児健診フォロー)	妊婦413 乳児517	よる保健指導 件、産婦286件 件、幼児678件 達相談(5歳児健診フォロー)26件/年	А

評価Cの場合 未着手の理由と今 後 の 対 応 等

	第	2期大	:磯町子ど	も笑顔かた	がやきプラン 進捗	管理シート			61	
事	業	名	町内幼稚	[園・保育月	所等における育児村	目談		子育~	て支援課	
基	本目	標	4	地域が支	える子育て環境づ	くり				
施	策の方	向	4-1	子育て相	談体制の充実					
当	初計	画	£ +0 - 10 -	.w	+ + + +	. L . U . W E	10 <del>+-</del> th	TT 45 55 17		. Hb
事	業 概	要	富な経験	を持つ職員	等をコーディネーター			において、研修等で得 庭を支援する体制づ		豆
目	標	値	各園   人で	「つ配置 (コ	!ーディネーター)					
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	・ たは継続実施)、B(概ね反	戈果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度		年月	度別事業目標			実績		評価
			識と豊富な	経験を持つ耳	こおいて、研修等で得た 戦員等を中心に、子育 <sup>-</sup>		·研修講座等 大磯幼稚[	等受講者の各園配置が 園 3人	況	
	和 2 年実 績		พ้อ อ	プロ寺に ブい	、ての相談体制、支援体	制づくりを進	たかとり幼 国府保育[ ・講座等に <sup>-</sup>		ルス感染症感染拡	В*

61 年 年度別事業目標 実績 評価 度 ・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な ・研修講座等受講者の各園配置状況 知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭から 大磯幼稚園 4人 の子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを たかとり幼稚園 1人 進める。 国府保育園 1人 ・職員による「土曜日講座(イクメン講座から名称変 更)」の実施 令和4年度 В (実績) ・研修講座等受講者の各園配置状況 ・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な 知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭から 大磯幼稚園 3人 の子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを たかとり幼稚園 1人 進める。 国府保育園 1人 ・職員による「土曜日講座」の実施 2回/年 24人 令和5年度 В (実績)

	知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。	大磯幼稚園 4人 ・職員による土曜日講座「みんな楽しい子ども遊び」の 実施 1回/年 9人		
令和6年度			В	
(実績)				

・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な・研修講座等受講者の各園配置状況

## 評価Cの場合

	第2	期大	磯町子ど	も笑顔かか	<b>ヾやきプ</b> ー	ラン 進捗	*管理シー	- ト					62		
事	業	名	妊婦、乳幼児訪問						(~R5 ス		で支援記 建康課/-	果 子育て支援課)			
基	本 目	標	4	地域が支	える子育	で環境で	づくり								
施	策の方	向	4-1	子育で相	談体制の	の充実									
当	初計	画													
事	業概	要	ポーツ 子育て支 <sup>12</sup> そうで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、とで、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場や未熟児の また、家庭等の 見方法などのれ しにちは赤ちゃ 要に応じて保 児のいる不安 育児のの不安や っていきます。	)支援が受 相談を行い ん事業」と 健師等が記 を民生委員	けられず育り ます (産後ク して、民生委 5問指導しま i・児童委員	見不安や育 「ア事業)。 ・員・児童委 す。 や主任児童	児疲れ 員や: 委員	1などがあ 主任児童委 が訪問 (2点	る産婦( を員が第 歳児全)	には助産 52子以降 戸訪問事	師による 降の方を 「業「にこ	。母体ケブ 訪問し、i にこ子育	アや児のケア、 育児の不安な 育て応援団」)	授乳 どを聞 するこ
目	標	値	スポー・産後 リッ 子 ・こん	児 (未熟児) ( ケア事業 (アウリ にちは赤ちゃん 児全戸訪問事	トリーチ型)対 。事業(乳リ	象家庭への 見全戸訪問!	訪問率100 事業)訪問 <sup>2</sup>	)%   					:		
	区分		新	f規	ź	継続		拡充	充		完了 (事業終			その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	<u></u> は継続実が	も)、B (概ね)	<del>■</del> 成果あり)、E	3*(新	新型コロナの	影響に	:よる)、C	(未着手	または検	討段階)	
年		度	課	年	F度別事	業目標					5	実績			評価
令	和2年	度	_	と児・未熟児記 分ケア事業 (アウ					·訪問 全数 ·産後ケア				00% (6	家庭、26回)	А
(	実績	)	子育て支援課子育て支援課	んにちは赤ち。 主任児童母 安などを聞いる家は があること機 」)で関係関する 支援に関する。	が第2子! 、必要に応 を民生委 見全見ある 、育児の不 と連携し、	以降の方を じて保健師 員児業「公子」 現事で悩みを 地域社会と	訪問し、育選等が訪問が 等が訪問が 過や主任児 にこ子育で にこ子育で	児旨 童 応要	・こんにちに ・2歳児全)						В
令	和3年	度		・児・未熟児記 ケア事業 (アウ					・訪問 全数 ・産後ケア 家庭訪問?	(アウトリ-	-チ型)訪		)%(申詞	請5家庭中4	А
(	実績	)	子育て支援課子育て支援課	んにちは赤ち。 主任児を 見のいる家族! が訪すること機 がして関係に関する。 支援に関する。	が第2子 、必要に応 を民生委 見全見の不 と連携し、	以降の じて保 見 見 り り り り り り り り り り り り り り り り り	訪問し、育 等が訪問打 員や主任児 にこ子育で よお聞きし必	児旨 童 応要	・こんにちに ・2歳児全					)	В

				62	
年 度	課	年度別事業目標	実績		評価
令和4年度	スポーツ健康課	・新生児・未熟児訪問の実施。 ・産後ケア事業 (アウトリーチ型) の実施。	・産後ケア( 10家庭訪問	引済47件(対象53件) (アウトリーチ型)訪問率84%(申請Ⅰ2家庭中 問済。延べ34回)	В
(実績)	子育て支援課	・こんにちは赤ちゃん事業の実施。・2歳児全戸訪問事 業の実施。		は赤ちゃん事業 訪問率83.3% 三訪問事業 訪問率89.3%	В
令和5年度	スポーツ健康課	・新生児・未熟児訪問の実施。 ・産後ケア事業 (アウトリーチ型) の実施。	・産後ケア	引71件(対象73件) (アウトリーチ型)訪問率40%(申請15家庭中6 斉。延べ45回)	В
( 実績 )	子育て支援課	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導。 ・2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問(2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」)することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行う。		は赤ちゃん事業 訪問率86.4% 三訪問事業 訪問事業92.5%	В
令和6年度 ( 実 績 )			<ul><li>※ うち令和 ついては、§</li><li>・産後ケア( 10家庭訪問)</li><li>・こんにちば</li></ul>	産師対応 訪問54件(対象36件) □5年出生児の訪問2件、訪問未実施対象に 里帰り出産1件、施設入所1件 (アウトリーチ型)訪問率56%(申請18家庭中 問済。延べ35回) は赤ちゃん事業 訪問率86.5% □訪問事業 訪問率96.5%	В

	_	
1	2	1

評価Cの場合

	第	2期大	磯町子ども笑顔か	がやきプラン 進捗管	理シート			63	
事	業	名	不登校やいじめの	相談			学校	教育課	
基	本 目	標	4 地域が	支える子育て環境づく	IJ				
施	策のス	方向	4-1 子育で木	目談体制の充実					
当	初計	画							
事	業概	要	め「教育支援室」をき ・「大磯町いじめ防」	題を抱えて学校に登校で 運営します。 L基本方針」に基づき、賞					た
目	標	值	継続実施						
	区分		新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(事業達成	。 たは継続実施)、B(概ね成界	見あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	'
年		度	年	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		徒及びその保護者に対 援室」を運営する。	を抱えて学校に登校できな 対する支援や指導を行うたる 基本方針」に基づき、学校や 淡を実施。	め「教育支	童・生徒及め「教育支校できるよ・「大磯町い ンケートや同	びその保護者に対する。 援室」を運営し、子ども	支援や指導を行うた 達が再び学校に登 基づき、学校ではア	Α
	和 3 年 実 4		徒及びその保護者に対 援室」を運営する。	を抱えて学校に登校できな 対する支援や指導を行うたる 基本方針」に基づき、学校や 炎を実施。	め「教育支	童・生徒及め教育支援・「大磯町いンケートや同	情緒的問題を抱えて学校びその保護者に対する。 設室を運営した。 心じめ防止基本方針」に 面談、教育研究所では、 る相談を実施した。	支援や指導を行うた 基づき、学校ではア	Α

				63	
年	度	年度別事業目標			評価
	4 年 度 績 )	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「教育支援室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。	童・生徒及め教育支持・「大磯町いンケートや」	情緒的問題を抱えて学校に登校できない児びその保護者に対する支援や指導を行うた爰室を運営した。いじめ防止基本方針」に基づき、学校ではア面談、教育研究所では、教育相談と関連してる相談を実施した。	
令和5 ( 実	5 年 度 績 )	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「教育支援室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。	童・生徒及め教育支持・「大磯町いンケートや」	情緒的問題を抱えて学校に登校できない児びその保護者に対する支援や指導を行うた爰室を運営した。いじめ防止基本方針」に基づき、学校ではア面談、教育研究所では、教育相談と関連してる相談を実施した。	Α
	5 年 度 績 )	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「教育支援室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。	童・生徒及め教育支援令和6年度・「大磯町い	情緒的問題を抱えて学校に登校できない児びその保護者に対する支援や指導を行うた爰室を運営した。 の通室人数:10名(体験含む)いじめ防止基本方針」に基づき、学校ではア面談、教育研究所では、教育相談と関連してる相談を実施した。	А
評価C	の場合				
	理由と今 対 応 等				

	第	2期大	:磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			64	
事	業	名	つどいの	広場事業				子'	育て支援課	
基	本 目	標	4	地域が支	える子育て環境づく	IJ				
施	策の方	向	4-2	子育て支	援の充実					
当	初計	画	j	•						
事	業 概	要	ができる「	っどいの広	規子が気軽に集まって 場」を設置します。また					ること
目	標	値	利用者数	15,000人/	/年					
	区分		新	<b></b> f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	・は継続実施)、B(概ね成り	<u></u>	新型コロナの	<u> </u>	手または検討段階)	
年		度		年度	度別事業目標			実績		評価
<b>令</b> (	和 2 年実 績	度)	利用者数	15,000人/4	<b>#</b>			5,817人/年 ,481人/年、すくすく	:2,336人/年)	В
	和 3 年実 績		利用者数	15,000人/4	<b>F</b>			7,610人/年 .,852人/年、すくすく	:2,758人/年)	В

64 年 年度別事業目標 実績 評価 度 利用者数 15,000人/年 ·利用者数 10,608人/年 (めばえ:5,842人/年、すくすく:4,766人/年) 令和4年度 В (実績) ·利用者数 | 2,00|人/年 利用者数 15,000人/年 (めばえ:6,113人/年、すくすく:5,888人/年) 令和5年度 В ( 実 績 ) 利用者数 15,000人/年 ·利用者数 | 1,127/年 (めばえ:6,168人/年、すくすく:4,959人/年) 令和6年度 В (実績)

評価Cの場合 未着手の理由と今 後 の 対 応 等

	第2	2期大	:磯町子ど	も笑顔かた	がやきプラン 進捗管	理シート			65	
事	業	名	保育所開	放保育、组	力稚園施設開放			子育-	て支援課	
基	本 目	標	4	地域が支	える子育て環境づく	ŋ				
施	策の方	向	4-2	子育て支	援の充実					
当	初計	画		-						
事	業 概	要			設機能や保育士及び5 取り組みを推進します。		的人材を	店用し、地域の親子を	対象とした遊び場	の徒
目	標	値	体験入園	月   回実施						
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成ま7	たは継続実施)、B(概ね成界	具あり)、B*(	新型コロナの	)影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度		年月	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		開放を実施 ・町立幼稚	i.	保育園、私立保育所等に 幼稚園・認定こども園にお 布。		園府お新部・体町園を ないない 型分験 立り でいる しょう はいかい かいかい かいかい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい	(大磯幼稚園・たかとりら 連携型認定こども園あまいそ幼稚園、認可保育所で曜日と時間を定め実施 ウイルス感染症感染拡 そ施に留まった。	らばと・サンキッズ国 所サンキッズ大磯に 施体制を整えたが、 大防止の観点から は月   回、こいそ幼稚 できるよう実施体制 ・染症感染拡大防止	А
	和 3 年 実 績		開放を実施 ・町立幼稚	i.	保育園、私立保育所等に 幼稚園・認定こども園にお も。		町別のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いそ幼稚園、認可保育月で曜日と時間を定め実だ ウイルス感染症感染拡 そ施に留まった。	らばと・サンキッズ国 デサンキッズ大磯に 施体制を整えたが、 大防止の観点から は月 I 回、こいそ幼稚 できるよう実施体制 染症感染拡大防止 た。	B*

				65	
年	度	年度別事業目標		· 実績	評価
令和 4 ( 実		・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。	園)、幼保証の かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	(大磯幼稚園・たかとり幼稚園・国府保育 連携型認定こども園あおばと・サンキッズ国 いそ幼稚園、認可保育所サンキッズ大磯に で曜日と時間を定め実施体制を整えた。	В
令和 5 ( 実		・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。	園)、幼保証所がいるでは、   の	(大磯幼稚園・たかとり幼稚園・国府保育 連携型認定こども園あおばと・サンキッズ国 いそ幼稚園、認可保育所サンキッズ大磯に で曜日と時間を定め実施体制を整えた。	В
令和 6 ( 実		・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。	町園府おい様町・野京 がは、私で、人がない、人がない、人がないでは、人がないでは、人がないたが、大がない。	いそ幼稚園、認可保育所サンキッズ大磯に で曜日と時間を定め実施体制を整えた。	В
評価Ca	の場合				
未着手の3 後 の 対					

		第2	<b>∠期</b> 大	(磯町子ど	も実顔かた	バやきプラン 進捗管	7理シート			66	
事	業	:	名	一時預か	りの促進				子育	て支援課	
基	本	目	標	4	地域が支	える子育て環境づく	IJ				
也	策の	方	向	4-2	子育て支	援の充実					
í	初	計	画		-						
ī.	業	概	要	困難となっ	た場合に、	、研修など、あるいは、 私立保育所等においる 者の希望に応じて、預か	て一時的に位	保育を行い	ます。	学児の保育が一時的	的に
3	標	į	値	継続実施							
	区分	分新規継続				拡	充	完了 (事業終了)	その他	その他	
É	捗	状	況	評価基準:A	(事業達成ま/	・ には継続実施)、B(概ね成身	果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)	
<u> </u>			度		年月	度別事業目標			実績		評
	和 2 実	-		いて実施。 ・公立幼稚園 預かり保育: ・病後児保育	を私立保育所 園、私立幼稚園 を実施。 育を幼保連携	・認定こども園・小規模保園、幼保連携型認定こども 型認定こども園において身	園において、	·延長保育事業			
	和 3 実	-		時預かり事 ・延長保育をいて実施。 ・公立幼稚園 預かり保育	業を実施。 そ私立保育所 園、私立幼稚園 を実施。	幼保連携型認定こども園・ ・認定こども園・小規模保 園、幼保連携型認定こども 型認定こども園において身	育施設にお	サントン・サンシー・サンシー・サント・サントのでは、カラックでは、カラでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラックでは、カラではなりでは、カラックでは、カラではなりではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	大磯 年間延べ867 国府 年間延べ867 事業 年間延べ4,00 園あおばと年間延べ4,00 年間延べ1,60 とのこ立幼稚園2園においそ幼稚園及び認定こ園 年間延べ2,99 園あおばと年間延べ7,83 国府 年間延べ9,83	人が利用 28人が利用 26人が利用 73人が利用 98人が利用 いて、休業中を除く週 ども園において週5回 に24人が利用 16人が利用 43人が利用	

		66	
年 度	年度別事業目標	実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	・私立保育所及び新設の幼保連携型認定こども園において、一時預かり事業を実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園、幼保連携型認定こども園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を幼保連携型認定こども園において実施。	・一時保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ566人が利用 サンキッズ大磯 年間延べ787人が利用 ・延長保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ5,107人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ330人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,870人が利用 もあなこびとのこや 年間延べ 34人が利用 ・預かり保育を町立幼稚園2園、私立こいそ幼稚園及び認定こども園において週5回実施した。 町立幼稚園2園 年間延べ4,804人が利用 こいそ幼稚園 年間延べ3,619人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ746人が利用 サンキッズ国府 年間延べ877人が利用 ・病後児保育 認定こども園あおばと 年間延べ43人が利用	A
令和5年度 ( 実 績 )	・私立保育所及び新設の幼保連携型認定こども園において、一時預かり事業を実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園、幼保連携型認定こども園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を幼保連携型認定こども園において実施。	・一時保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ945人が利用 サンキッズ国府 年間延べ824人が利用 ・延長保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ4,191人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ352人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,906人が利用 もあなこびとのこや 年間延べ104人が利用 ・預かり保育を町立幼稚園2園、私立こいそ幼稚園及び認定こども園において週5回実施した。 町立幼稚園2園 年間延べ5,713人が利用 こいそ幼稚園 年間延べ2,079人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ1,379人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,175人が利用 ・病後児保育 認定こども園あおばと 年間延べ60人が利用	Α
令和6年度(実績)	・私立保育所及び新設の幼保連携型認定こども園において、一時預かり事業を実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園、幼保連携型認定こども園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を幼保連携型認定こども園において実施。	・一時保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ805人が利用 サンキッズ国府 年間延べ763人が利用 ・延長保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ3,899人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ356人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,704人が利用 もあなこびとのこや 年間延べ248人が利用 ・預かり保育を町立幼稚園2園、私立こいそ幼稚園及び認定こども園において週5回実施した。 町立幼稚園2園 年間延べ9,706人が利用 こいそ幼稚園 年間延べ2,667人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ2,070人が利用 サンキッズ国府 年間延べ760人が利用 ・病後児保育 認定こども園あおばと 年間延べ53人が利用 ・病後児保育	Α
評価Cの場合			
未着手の理由と今 後 の 対 応 等			

第2算	第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シー							67				
事 業 /	名 子	育て短其	月支援事業	業の充実	€			子育	て支援課			
基本目标	票	4	地域が支	える子育	育て環境づ	くり						
施策の方向	<b>á</b> 4	4-2	子育て支持	援の充気	Ę							
当初計画		-										
事業概§	整し	ていきま		- 場合など	<b>公に一時的</b> (	こ児童 を短其	月間(ソ日間	程度) 預かる「ショー	-ト人ナイ」の)施設を	詩		
目 標 値	直	<b>讨継続</b>										
区分		新規	規	;	継続	拡	充	完了(事業終了)	その他			
進捗状況	兄 評価	i基準∶A(↓	事業達成また	は継続実力	施)、B(概ね成	果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)			
年 月	度		年度	[別事業	目標			実績		評価		
令和2年原( 実 績	丧	で短期支	を援事業の ぽ	実施に向1	ナた環境整備	を検討。	検討継続			С		
令和3年原( 実績	嵌	で短期支	技援事業の意	実施に向い	ナた環境整備	を検討。	検討継続			С		

		67	
年 度	年度別事業目標	実績	評価
令和 4 年 度 ( 実 績 )	子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。	検討継続	С
令和5年度(実績)	子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。	検討継続	С
令和6年度(実績)	子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。	子育て短期支援事業の実施を検討されている施設との協議を行い、事業の実施に向けた具体的な課題を共有した。	C

事業の実施に向け、施設側との調整を進めていく。

評価Cの場合 <sup>未着手の理由と今</sup>

後の対応等

第2期大	:磯町子ども	笑顔かか	<b>べ</b> やきプラン	進捗管	理シート				68	•	
事 業 名	主任児童	 委員、民生	三委員・児童	委員の記	5動				福祉	課	
基本目標	4	地域が支	える子育で		ı)						
施策の方向	4-2	子育て支	援の充実								
当初計画	<u> </u>										
事 業 概 要	生活の困っ・「こんにち て保健師等 て中の親子	たことなど は赤ちゃん が訪問指導	の相談支援を 事業」として、 導します。その	を行います . 児童委員	。 〔が第2子〕	以降の方を	お問し	、育児のス	下 <del>安</del> など	談相手」として *を聞き、必要り 恋援団」により、	こ応じ
目標値	継続実施										
区分	新	規	継続	岂	拡	充	(1	完了		その他	
進捗状況	評価基準:A(	事業達成また	は継続実施)、「	 B(概ね成果	.あり)、B*(	新型コロナの	<u> </u>		着手またに	は検討段階)	
年 度		年度	度別事業目	票				実績	E Į		評価
令和2年度 ( 実 績 )	生まれた家庭 ・「にこにこ子 庭を訪問。	庭を訪問。 子育て応援団	業」として、第2日」として、2歳りのでは、10日で、2歳りのでは、20日で、2歳りのでは、20日では、20	見の子ども		は赤ちゃん 童委員のi 続して実施 ・児童、生徒	事業」「(	にこにこ子 職員が行い る見守りは	育て応援 ハ、乳幼! 登下校田	点から「こんにち 受団」における児 見の見守りは継 時のみならず、地 叶りも実施した。	
			業」として、第2								<u>l</u> 1

				68	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
	4年度 績)	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。	は赤ちゃん 童委員の記 して実施し ・児童、生徒	ナウィルス感染拡大防止の点から「こんにち事業」「にこにこ子育て応援団」における児 事業」「にこにこ子育て応援団」における児 時間は町職員が行い、乳幼児の把握を継続 た。 まに対する見守りは登下校時のみならず、地 はバス停留所での学童見守りも実施した。	В*
	5 年 度 績 )	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。	における児 もに可能な の見える関 ・教育委員 おける登下	は赤ちゃん事業」「にこにこ子育て応援団」 童委員の訪問は、子育てコンシェルジュとと 限り実施し、乳幼児の把握を行うとともに顔 係づくりを行った。 会からの情報提供による重点見守り期間に 校時や国府橋工事による近隣見守り、また てはバス停留所での学童見守りを実施し	
	6年度 績)	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。	における児 もに可能な の見える関 ・教育委員 おける登下	は赤ちゃん事業」「にこにこ子育て応援団」 童委員の訪問は、子育てコンシェルジュとと 限り実施し、乳幼児の把握を行うとともに顔 係づくりを行った。 会からの情報提供による重点見守り期間に 校時や国府橋工事による近隣見守り、また てはバス停留所での学童見守りを実施し	
評価C	の場合				
	の理由と今 対 応 等				

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			69	
事	業	名	ネット等に	こよる情報発				子育	て支援課	
基	本 目	標	4	地域が支	える子育て環境づく	ŋ				
施	策の方	向	4-3	子育で情報	報の発信					
当	初計	画		•						
事	業 概	要	・大磯町行		·ビスについての町ホー ·ル配信サービスを利用					
目	標	値	継続実施							
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	cは継続実施)、B(概ね成界	見あり)、B*(	新型コロナの影	と響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度		年度	<b>き別事業目標</b>			実績		評価
<b>令</b> (	和 2 年 実 績		年		育て関連の情報発信 24の子育て関連の情報発信の子育で関連の情報発信	•	年	ージでの子育て関連サービスでの子育で	の情報発信 17件/ 関連の情報発信 7件	В
	和3年実績		年		育て関連の情報発信 24の子育て関連の情報発信	,	年	ージでの子育て関連 サービスでの子育で	の情報発信  3件/	В

				69	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
	4 年 度 績 )	・町ホームページでの子育で関連の情報発信 24件以上/年 ・メール配信サービスでの子育で関連の情報発信 36件以上/年	年 (子育て ・メール配付 件/年 (Ea:	ページでの子育て関連の情報発信 12件/ 支援センター) 言サービスでの子育て関連の情報発信 43 syPocket27,twitter3,母子モ12) くすくの情報をtwitterで配信していく。	В
令和 <sup>5</sup> ( 実		・町ホームページでの子育で関連の情報発信 24件以上/年・メール配信サービスでの子育で関連の情報発信 36件以上/年	·Xでの情幸 ·町ホーム⁄	ページでの子育て関連の情報発信 24件 暇発信 55件/年 ページのトップページに「子育てするなら大 し、重点的取り組みについて情報発信した。	Α
	5 年 度 績 )	・町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件以上/年・メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 36件以上/年	·Xでの情報 ·母子モで ·児童虐待	ページでの子育て関連の情報発信 24件 服発信 48件/年 の情報発信12件/年 防止月間(11月)にEasyPocket、LINE、 ジで児童虐待防止の啓発活動を行った。	А
評価C	の場合				
	理由と今 対 応 等			-	,

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			70	
事	業	名	子育て情	報誌(ガイ	ドブック) の発行			子育"	て支援課	
基	本目	標	4	地域が支	える子育て環境づく	(1)				
施	策の方	向	4-3	子育て情	報の発信					
当	初計	画								
事	業概	要	育て支援や		記載内容のさらなる方		八子育て中	の母親だけてなく、ク	く親や祖父 <i>母世代が</i>	か子
目	標	値	継続実施							
	区分		新	ř規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	. 捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	とは継続実施)、B(概ね成	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手る	たは検討段階)	
年		度		年原	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		「子育てガ	<b>イドブック」の</b>	刷新。		(配布場所:	ドブック3,000部発行:本庁舎、子育て支援総: :本庁舎、子育て支援総 保育園、図書館等)		А
	和 3 年 実 績		「子育てガー	イドブック」記	載内容の見直し			新に向けて「子育てガ 及び情報収集を行った		А

70 年 年度別事業目標 評価 度 実績 「子育てガイドブック」の刷新 子育てガイドブック2,500部発行。 (配布場所:本庁舎、子育て支援総合センター、国府支 所、幼稚園、保育園、図書館等) 令和4年度 Α (実績) 「子育てガイドブック」記載内容の見直し 子育てガイドブック(電子版)の修正及び、正誤表の差 し込みによる訂正を行った。 次年度の刷新に向けて「子育てガイドブック」の記載内 容の見直し及び情報収集を行った。 ·所管事務及び組織の見直しにより、発行時期をR6.7 とした。 令和5年度 Α (実績) 「子育てガイドブック」の刷新 子育てガイドブック(2024-2026) を、株式会社サイ ネックス協力のもと、2,500部発行(R6.7)した。 令和6年度 Α (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今 後の対応等

		2期大	、磯町子ど 	も笑顔かね	がやきプー	ラン 進捗管	理シート			71	
事	業	名	保育ボラ	ンティアの	活動支援	爰			子育	て支援課	
基	本 目	標	4	地域が支	える子育	育て環境づく	(1)				
施	策のス	方向	4-4	子育て世	代の社会	会参加への	支援				
当	初計	画	51 / 11 / 2	n <del>+</del> + - /n:	\# <del> </del>	A () L = (0)	<i>,,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			* * / / /	<u> </u>
事	業概	要	子育て中の	の親を対象	とした事業		場合に乳幼			竟づくりに取り組みま て支援のボランティ	
目	標	值	継続実施								
	区分		新	f規	ş	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成ま	たは継続実力	施)、B(概ね成	<u>*</u> 果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手	<del>・</del> または検討段階)	
年		度		年	度別事業	目標			実績		評価
	和 2 至		とで、孤立し 親を対象と 育等を行う	ンない子育て した事業を写	環境づくり 実施した場っ ボランティア	s加の促進をき に取り組む。子 合に、乳幼児の っを奨励すると	~育て中の D見守り保	保育ボラン	て 6回 ティア活動人数 延べ かり児童数 延べ8		
	実 績										В

			71	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度(実績)		保育ボラン	女 50回 ティア活動人数 延べ 94人 かり児童数 延べ153人	Α
令和5年度(実績)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。	(年間依頼 保育ボラン	数 88回) ティア活動人数 延べ174人	Α
令和6年度(実績)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。	(年間依頼 保育ボラン	数 61回) ティア活動人数 延べ106人	Α
評価Cの場合	<u> </u>			<u>                                       </u>
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第2	2期大	磯町子ども笑顔かか	べやきプラン 進捗管	理シート			72	
事	業	名	ファミリー・サポート・	センター事業の促進	<u>E</u>		子育~	て支援課	
基	本 目	標	4 地域が支	える子育て環境づく	IJ				
施	策の方	向	4-4 子育て世	代の社会参加へのう	支援				
当	初計	画							
事	業 概	要	子どもを預けたい人とト・センターの充実に努		を構成し、会	会員相互に	よる育児援助活動を	行うファミリー・サポ	<u></u>
目	標	値	会員数の拡充						
	区分		新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進		況	    評価基準:A(事業達成また	は継続実施)、B(概ね成界	<b>■</b> 果あり)、B*(	新型コロナの		たは検討段階)	
年		度	年度	<b>医别事業目標</b>			実績		評価
	和 2 年 実 績		子どもを預けたい人と預相互による育児援助活重 ターの充実に努める。			・援助会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	II67.5時間 数 25人 数 I25人 2人		В
			子どもを預けたい人と預相互による育児援助活動 ターの充実に努める。			·活動回数 ·活動時間 ·援助会員	1578.5時間		

				72	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 ( 実		子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	·援助会員	I,I35時間 数 27人 数 I24人	В
令和 5 ( 実		子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	·援助会員	1527.5時間 数   17人 数   153人	В
令和 6 ( 実		子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	·援助会員	1022.5時間 数   9人 数   155人	В
評価C♂	り場合				
未着手の理 後 の 対					

	第2 ———	期大	磯町子ども第	笑顔かがやきプラン 進捗管	理シート	73	
事	業	名	待機児童解消	(保育所・認定こども園・小規模保	育事業所等の充実)	子育て支援課	
基	本 目	標	5 子	育てと仕事の両立支援			
施	策の方	向	5-1 多	・ 様な保育サービスの提供			
当	初計	画	<u> </u>				
事	業 概	要	・幼稚園等に			護者に対する子育て支援も図ります	0
目	標	值	待機児童数C	)人			
	区分		新規	, 継続	拡充	完了その代	<u>ե</u>
<b>*</b>	₩ ₩	<b>3</b> D	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	業済式またけ継続宝拡) D (無わば用	ない) ロッ ( 新刊 コロナケ	(事業終了)	
	捗 状		評価基準·A(事		Eめり)、B* (新型コロテの	影響による)、C(未着手または検討段階)	≥± /-
年		度	,小担槆促育車	年度別事業目標	- 小相模保	実績	評伯 tı
	和 2 年 実 績		・既存の保育施・公立幼稚園の ・預かり保育事	函設の定員拡充 ○あり方についての検討。 一業の充実の検討。	補助保証の ・令携対 ・令携対公と立施 ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では	受付し、定員を8名から12名に拡充した。 型認定こども園サンキッズ国府の2歳児 こついて事業者と協議を行い、定員を12 に拡充した。 度の開園を目指して町立幼稚園1園を始 ことも園へ移行する計画について検討 設を大磯幼稚園とすること、手法を民営 携幼保連携型認定こども園への移行と 業の方向性を具体化した。 園の預かり保育を拡充し、長期休業期間。 手機児童数 8人	の名の保存にるの名の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の
	和 3 年 実 績		・認定こども園	運営法人の公募及び選定の準備。 業の充実。	幼稚園保証 への理解を 考とした。ま 行った。 ・公立幼稚 実施日及で	も園移行については、アンケート調査、大達者への説明会・意見交換等を実施し、基本のるとともに意見聴取を行い、事業のまた、設置運営事業者の募集・選定準備園の預かり保育については、長期休業中が実施時間の拡充を行った。 持機児童数 9人	事業 )参 を

			73	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度( 実績)		公私連携終 を選定した 定こども園 (参加者3・公立幼稚 を行った()	も園設置運営事業者選定委員会を開催し、 効保連携型認定こども園の設置運営事業者 ま。その後、町長の方針転換に基づき、町立認 整備に向けての準備及び、保護者説明会 2名)を行った。 園の預かり保育については、実施日の拡充 週3日→週5日)。 寺機児童数 18人	
令和5年度(実績)		化あるいは 除せずにせ の早期規型 を決定し、 業者を設置	園の開園及び待機児童対策について、町立 は民間の力を借りるか、いずれの可能性も排 でロベースで再検討した結果、認定こども園園の実現に寄与できる民営化(公私連携幼 認定こども園)で園舎を新設(新築)すること 令和4年度に選定委員会により選定した事 置運営事業者として再選定した。 持機児童数 12人	
令和6年度(実績)		し、新園舎 進めた。	その開園をめざして、設置運営事業者と連携の基本設計や国交付金の申請手続き等を の基本設計や国交付金の申請手続き等を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	В
評価Cの場合				
未着手の理由と会 後 の 対 応 等				

	第2期	大磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗管	理シート			74	
事	業名	保育所·註	忍定こども園	・小規模保育事業所等	等の事業実施	の支援	子育	て支援課	
基	本目標	5	子育てと	仕事の両立支援					
施	策の方向	5-1	多様な保	育サービスの提供					
当	初計画			)	++ >> /1 </th <th></th> <th></th> <th>1 = 51/ \\ 7 = 71/\ \</th> <th></th>			1 = 51/ \\ 7 = 71/\ \	
事	業 概 要	び小規模	保育事業所	J算定した公定価格に 等に対する「地域型保				する' 施設型給付_	」
目	標 値	継続実施							
	区分	亲	<b>f規</b>	継続	拡充	Ē	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状 況	; 評価基準:A	A(事業達成ま <i>た</i>	・ には継続実施)、B(概ね成り	<del>-</del> 果あり)、B <b>*</b> (新	型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年	度		年月	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 度	出。		型給付費、地域型 <b>保育給</b>	の育に出・長雪へ	の公立保育に公立 立託「地域」 子認の子記のは、子認のよりでは、子認のようでは、子記のは、子では、子では、子では、子では、子では、子では、子では、子では、子では、子で	要とする児童のうち、私3 所に児童の保育を委託 (23園、延べ1,867人) 或型保育給付費」(2園、 で支援新制度に移行し び認定こども園(1・2・3 委託する際に「施設型紀 、)を支出した。	在する際に「児童保 、小規模保育施設 延べ120人)を支 した私立幼稚園(1 3号)に在籍する児 給付費」(10園、延	A
令		児童保育 出。	委託料、施設型	D給付費、地域型保育給 1	の 章 は	D公立保育 育委託料」	要とする児童のうち、私」 所に児童の保育を委言 (20園、延べ1,726人) 或型保育給付費」(3園、	fする際に「児童保 、小規模保育施設	

			74	
年 度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度(実績)		の 育 女 は 出 い 子 認 保 保 計 し た い と で も こ と で も こ と で ま の 保 育 ぞ	要とする児童のうち、私立保育所及び管外育所に児童の保育を委託する際に「児童保」(21園、延べ1,805人)、小規模保育施設域型保育給付費」(2園、延べ155人)を支育て支援新制度に移行した私立幼稚園(1なび認定こども園(1・2・3号)に在籍する児を委託する際に「施設型給付費」(11園、延人)を支出した。	А
令和5年度(実績)		の 育 女 は 出 い 子 認 保 保 計 し た い と で も こ と で も こ と で ま の 保 育 ぞ	要とする児童のうち、私立保育所及び管外育所に児童の保育を委託する際に「児童保」(27園、延べ1,866人)、小規模保育施設域型保育給付費」(3園、延べ168人)を支育て支援新制度に移行した私立幼稚園(1なび認定こども園(1・2・3号)に在籍する児を委託する際に「施設型給付費」(11園、延人)を支出した。	A
令和6年度(実績)		の公立保育 の公主に対して に対して。 ・子認には ・子認に保育 の保育を	要とする児童のうち、私立保育所及び管外育所に児童の保育を委託する際に「児童保」(25園、延べ1,773人)、小規模保育施設域型保育給付費」(3園、延べ321人)を支育て支援新制度に移行した私立幼稚園(1なび認定こども園(1・2・3号)に在籍する児を委託する際に「施設型給付費」(10園、延人)を支出した。	A
評価Cの場合				
未着手の理由と 後 の 対 応 <sup>4</sup>				

	第2	2期メ	磯町子ど	も笑顔か	がやきプラン 進	<b>捗管理シー</b>	٢		75	
事	業	名	認定こど	も園の活	用			子育	て支援課	
基	本 目	標	5	子育てと	(仕事の両立支援	<u> </u>				
包	策の方	向	5-I	多様な傷	呆育サービスの提	<del></del> :供				
当	初計	画		-						
事	業 概	要	<b>衲</b> 復兄休	<b>育・一時</b> 体	育など、子育て支持	ξ <b>η - C</b> <i>C</i> (())	心夫を凶りより	9 o		
目	標	値	継続実施							
	区分		新	f規	継続		拡充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成ま	たは継続実施)、B(概	ね成果あり)、B:	* (新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度		年	度別事業目標			実績		部
	和 2 年実 績		保育、預か	り保育、病後	園において、一時預念		サントでは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	国府 年間延べ77 事業 園あおばと 年間延べ, 同局 年間延べ, 同園あおばと 年間延べる 国府 年間延べ34 育 園あおばと 年間延べ	2 人が利用  69人が利用  85 人が利用  9人が利用	
令	和 3 年				園において、一時預々 後児保育を実施。	かり事業、延長	サンキッズ ・延長保育 認定こども サンキッズ ・預かり保育	`国府 年間延べ69 事業 」園あおばと 年間延べ 「国府 年間延べ」。 「 」 」 「 」 「 」 「 」 「 国 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	126人が利用 673人が利用 743人が利用	

				75	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和4年(実績		幼保連携型認定こども園において、一時預かり事業、延長 保育、預かり保育、病後児保育を実施。	サンキッス ・預かり保証 認定こども サンキッス ・病後児保	「国府 年間延べ787人が利用 事業 も園あおばと 年間延べ330人が利用 「国府 年間延べ1,870人が利用 育 も園あおばと 年間延べ746人が利用 「国府 年間延べ877人が利用	А
令和5年 ( 実 績		幼保連携型認定こども園において、一時預かり事業、延長 保育、預かり保育、病後児保育を実施。	サンキッス ・預かり保証 認定こども サンキッス ・病後児保	「国府 年間延べ824人が利用 事業 も園あおばと 年間延べ352人が利用 で国府 年間延べ1,906人が利用 育 も園あおばと 年間延べ1,379人が利用 で国府 年間延べ1,175人が利用	A
令和6年 ( 実 績		幼保連携型認定こども園において、一時預かり事業、延長 保育、預かり保育、病後児保育を実施。	サンキッス ・預かり保証 認定こども サンキッス ・病後児保	「国府 年間延べ763人が利用 事業 も園あおばと 年間延べ356人が利用 「国府 年間延べ1,704人が利用 育 も園あおばと 年間延べ2,070人が利用 「国府 年間延べ760人が利用	A
評価Cのは	場合				
未着手の理由 後 の 対 が					

第2期大	磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート	76
事 業 名	育休、産休明け保育の充実	子育て支援課
基本目標	5 子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1 多様な保育サービスの提供	
当初計画		
事 業 概 要	・育児・介護休業法改正に基づき、最長2歳まで取得できるよ育の利用を確保するよう努めます。 ・保育施設等の情報提供や保護者の相談に対応する子育でなけていきます。	
目 標 値	子育でコンシェルジュ3か所配置	
区分	新規継続拡充	完了 その他 (事業終了)
進 捗 状 況	評価基準:A(事業達成または継続実施)、B(概ね成果あり)、B*(新型コロ	コナの影響による)、C(未着手または検討段階)
年 度	年度別事業目標	実績評価
令和2年度 ( 実 績 )		【コンシェルジュ3か所配置
令和3年度 ( 実 績 )	子育でコンシェルジュ3か所配置	(コンシェルジュ3か所配置) A

76 年 年度別事業目標 度 実績 評価 子育てコンシェルジュ3か所配置 子育てコンシェルジュ3か所配置 令和5年度から開始するはぐくみサロンの準備を行っ 令和4年度 Α (実績) ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談等) ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談 の実施 等)の実施(13回 96人) 令和5年度 Α (実績) ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談等) ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談 等)の実施(21回 92人) の実施 令和6年度 Α (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今 後の対応等

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔か	がやきプラン 進	渉管理シー	`		77	
事	業	名	延長、一日	時、休日、	夜間保育			子育'	て支援課	
基	本 目	標	5	子育てと	(仕事の両立支援					
施	策の方	向	5-I	多様な例	呆育サービスの提	供				
当	初計	画		•						
事	業 概	要	業所におい ニーズにが	いて延長保 忘えるため、		私立保育所及 3保育事業を	び私立認定 性進します。			
目	標	值	継続実施							
	区分		新	f規	継続	1	広充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成ま		ー ね成果あり)、B×	:(新型コロナの	の影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度		年	度別事業目標			実績		部
	和 2 年実 績				休日保育の実施。		認定こど サンキッグ・サンキッグ	「園 年間延べ」 ズ大磯 年間延べ びとのこや 年間延べ も園あおばと 年間延 でも園がまで 年間延 で事業 で大磯 年間延 で大磯 年間延 で大磯 年間延 で大磯 年間延 で大磯 年間延 で大磯 年間延	,581人が利用 4,715人が利用 、31人が利用 ベ1,169人が利用 ベ1,169人が利用 ベ1,082人が利用 延べ70人が利用) で 775人が利用	,
	和 3 年 実 績		延長保育、	一時保育、化	休日保育の実施。		サンキックもあなこ	「園 年間延べ」 ズ大磯 年間延べ びとのこや 年間延へ も園あおばと 年間延 ズ国府 年間延 野事業 ズ大磯 年間延 (うち休日保育 年間	<ul><li>198人が利用</li><li>ベート26人が利用</li><li>ベート673人が利用</li><li>ベースのでは、</li><li>ベースのでは、</li><li>ベースのでは、</li><li>ベースのでは、</li><li>ベースのでは、</li><li>ベースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li>バースのでは、</li><li< td=""><td>,</td></li<></ul>	,

		77	
年 度	年度別事業目標	実績	評価
令和4年度 ( 実 績 )	延長保育、一時保育、休日保育の実施。	・延長保育 国府保育園 年間延べ1,929人が利用 サンキッズ大磯 年間延べ34人が利用 もあなこびとのこや 年間延べ330人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ330人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,870人が利用 ・一時保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ566人が利用 (うち休日保育 年間延べ76人が利用) サンキッズ国府 年間延べ787人が利用  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A
令和5年度 ( 実 績 )	延長保育、一時保育、休日保育の実施。	・延長保育 国府保育園 年間延べ2,013人が利用 サンキッズ大磯 年間延べ4,191人が利用 もあなこびとのこや 年間延べ 104人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ 352人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,906人が利用 ・一時保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ945人が利用 (うち休日保育 年間延べ59人が利用) サンキッズ国府 年間延べ824人が利用	A
令和6年度 ( 実 績 )	延長保育、一時保育、休日保育の実施。	・延長保育 国府保育園 年間延べ1,163人が利用 サンキッズ大磯 年間延べ3,899人が利用 もあなこびとのこや 年間延べ 248人が利用 認定こども園あおばと 年間延べ 356人が利用 サンキッズ国府 年間延べ1,704人が利用 ・一時保育事業 サンキッズ大磯 年間延べ805人が利用 (うち休日保育 年間延べ54人が利用) サンキッズ国府 年間延べ763人が利用  ・一時にでする人が利用 ・一時にでする人が利用 ・一時にでする人が利用 ・一時にでする人が利用 ・一時にでする人が利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A
評価Cの場合			
未着手の理由と今 後 の 対 応 等			

	第	2期大	磯町子ど	も笑顔かな	がやきプラン 進捗管	理シート			78	
事	業	名	病児、病	後児保育				子育	て支援課	
基	本 目	標	5	子育てと	仕事の両立支援					
施	策の力	7 向	5-I	多様な保	育サービスの提供					
当	初計	画		•						
事	業 概	要	きます。		(	団保育等か₽	<b></b> 国難な期間に	こ一時的に預かる病後	児保育の活用を図っ	
目	標	值	利用児童	≬牛削5∪人↓	以上(延へ入致)					
	区分		亲	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成ま	たは継続実施)、B(概ね成り	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度			度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績			<b>育事業を継続</b>			び二宮町両施。 ・登録児童教・利用児童教	認定こども園あおばと i町の児童に対する病が 数47名(大磯町:35名 数20名(大磯町:11名	後児保育事業を実 、二宮町:12名) 、二宮町:9名)	В
	和 3 年 実 編		病後児保育	<b>育事業を継続</b>	io		び二宮町両施。 ・登録児童教	認定こども園あおばと )町の児童に対する病 数66名(大磯町:56名 数41名(大磯町:32名	後児保育事業を実、	В

				78	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 ( 実		病後児保育事業を継続。	び二宮町 施。 ・登録児童	認定こども園あおばとにおいて、大磯町及 両町の児童に対する病後児保育事業を実 数70名(大磯町:57名、二宮町:13名) 数43名(大磯町:31名、二宮町:12名)	В
令和 5 ( 実		病後児保育事業を継続。	び二宮町で施。 ・登録児童	認定こども園あおばとにおいて、大磯町及 両町の児童に対する病後児保育事業を実 数84名(大磯町:55名、二宮町:29名) 数60名(大磯町:29名、二宮町:31名)	Α
令和 6 ( 実		病後児保育事業を継続。	び二宮町で施。 ・登録児童	認定こども園あおばとにおいて、大磯町及 両町の児童に対する病後児保育事業を実 数74名(大磯町:54名、二宮町:20名) 数53名(大磯町:32名、二宮町:21名)	А
評価Co	の場合				
未着手の 後 の 対					

第2期大	磯町子ども笑顔かか	ヾやきプラン 進捗管	理シート		79	
事 業 名	保育士の確保			子育	で支援課	
基本目標	5 子育てと	仕事の両立支援				
施策の方向	5-1 多様な保	育サービスの提供				
当初計画						•
事 業 概 要	保育需要の増加に伴す。	い、保育体制を支える(	<b>育士の確</b> 行	保に向け、国・県と連携し、体	利づくりを進めていき	₹ -
目 標 値	継続実施					
区分	新規	継続	拡列	完了 (事業終了)	その他	
進捗状況	評価基準:A(事業達成また	は継続実施)、B(概ね成果	あり)、B <b>*</b> (新	f型コロナの影響による)、C(未着号	または検討段階)	
年 度	年月	度別事業目標		実績		評価
令和2年度 ( 実 績 )	保育士就労支援事業交	付金制度の導入の検討。		保育士就労支援事業交付金制 和3年度の実施に向けた制度設		В
令和3年度 ( 実 績 )	保育士就労支援事業交	付金制度の導入の検討。		保育士就労支援事業交付金制 育士2名に対して交付金を交付		Α

				79	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
	4 年 度 績 )	・その他の保育士の確保方策の検討。	付対象者C ·県内市町	労支援事業交付金制度の運用を行った(交)人)。 (対が実施している保育士の確保方策につい きを行った。	
	ō 年 度 績 )	・保育士就労支援事業交付金制度の継続実施。 ・保育士就労に係る社会状況を踏まえ、保育士就労支援事業交付金制度の次年度以降の継続実施の必要性について検討。 ・その他の保育士の確保方策の検討。	付対象者7 ·県内市町	労支援事業交付金制度の運用を行った(交  人)。  付が実施している保育士の確保方策につい   を行った。	
	5 年 度 績 )	保育士の確保方策の検討。	付対象者 I ・県内市町	労支援事業交付金制度の運用を行った(交 0人)。 村が実施している保育士の確保方策につい 美を行った。	
未着手の	の場合 理由と今		1		

			1		?きプラン 進捗管 			80	
事	業	名	利用者のへ	、の支援(子	子育てコンシェルシ	<sup>ジ</sup> ュ等)	子育了	(支援課	
基	本 目	標	5 -	子育てと仕	事の両立支援				
施	策の方	向	5-I 💈	多様な保育	サービスの提供				
当	初 計	画							
事	業概	要	者からのそれ 育てコンシェ	1らの利用に ルジュを配置	あたっての相談にん	忘じ、必要な情報提 稚園・保育所等に勤	で情報集約と提供を行う 供、助言をし、関係機関と が務している子育て関係:	2の連絡調整を行	う子
目	標	値	・子育てコン・ ・コーディネ-						
	区分		新規	見 記	継続	拡充	完了	その他	
#		汩	】	業達成または	 	<b>■</b> まり	(事業終了) +の影響による)、C(未着手ま	たけ検討段階)	
医     	79 1八		計価基华·A(手			<b>kのり)、ロホ</b> (利望コロ)		たは快討技情)	評
+		度	・子育てコンシ			·子育て	実績コンシェルジュ3か所配置		511
	和 2 年 実 績		・コーディネー・子育てコンシ			支援分野	勤務している子育て関係者野に関する研修を実施した。		В
令	和3年	度	・子育 (コンン ・コーディネー			・各園に	コンソエルシュ3か所配直 勤務している子育て関係者 野に関する研修を実施した		В

80 年 年度別事業目標 実績 評価 度 ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置 ・各園に勤務している子育て関係者を対象に、子育て 支援分野に関する研修を実施した。 ・令和5年度から開始するはぐくみサロンの準備を行っ た。 令和4年度 В (実績) ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置 ・各園に勤務している子育て関係者を対象に、子育て ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談等) 支援分野に関する研修を実施した。 の実施 ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談 等)を13日実施した。 令和5年度 В (実績) ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置 ・コンシェルジュを含めた子育て関係者を対象に、子育 ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる出張育児相談 て支援分野に関する研修を実施した。 ・はぐくみサロン(子育てコンシェルジュによる育児相談 等)の実施(修正) 等)を21日実施した。 令和6年度 В (実績) 評価Cの場合

	笋	52期大	:磯町子ども	笑顔かか	べやきプ	<sup>°</sup> ラン 進捗	管理シート			81	
事	業	名	学童保育の	の充実					子育'	て支援課	
基	本 目	標	5	子育てと	仕事の同	両立支援					
施	策のこ	方向	5-2	放課後児	童対策	の充実					
当	初言	一画	j								· ·
事	業 根	Ŧ 要	ます。・研修等を通				むね40人の		有資格者を含めて2%	名以上の職員を配	置し
目	標	値	継続実施								
	区分		新邦	規		継続	拉	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	、況	評価基準:A(	事業達成また	は継続実	施)、B(概ね	 成果あり)、B*	新型コロナの	影響による)、C(未着手	<u>*</u> または検討段階)	
年		度		年周	度別事業	<b>美目標</b>			実績		評価
	和 2 分		に対し、放課に代わって保・子どもの情がループに有資	後や学校休 育を実施。 緒面や安全 養格者を含δ	·業時の長 (小学校6 性を配慮 かて2名以	を期休暇中なら年生までの 低し、おおし、 は上の職員を	配置する。	・国府学童」のグル・配置できた		て2名以上の職員を	Α
	和 3 4 実 総		に対し、放課に代わって保・子どもの情がループに有資	後や学校休 育を実施。 緒面や安全 経者を含む 増加傾向に	業時の長 (小学校6 性を配慮 かて2名以 こあるため	を期休暇中なら年生までの とし、おおむねく上の職員を り子どもの情	配置する。 緒面や安全性	·国府学童	クラブ 147人 クラブ 104人 ープに有資格者を含め 。	て2名以上の職員を	Α

				81	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
	回 4 年 度 実 績 )	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。(小学校6年生までの保育を実施)・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。・児童数の増加に対する対策を検討する。	・国府学面  つのグル 配置できた ・大磯町学校 ・大磯町町学	・ 童保の学年スペースの利用拡充について、 交と調整を行った。 童保育運営事業者選定委員会を開催し、令  日から運営する事業者の選定を行い、事	Α
	知 5 年 度 実 績 )	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。(小学校6年生までの保育を実施)・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する・利用児童数の増加に伴い、新たに学童保育実施場所の確保について検討する。	・国府学童 Iつのグル 配置できた ・大磯町学 大磯町学材	クラブ 177人 クラブ 112人 クラブ 112人 ープに有資格者を含めて2名以上の職員を 。 童保の学年スペースの利用拡充について、 交と調整し、整理整頓を行った。 の指導監査を実施し、適正な運営に努め	Α
-	回 6 年 度 実 績 )	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。(小学校6年生までの保育を実施)・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。・利用児童数の増加に伴い、新たに学童保育実施場所の確保について検討する。	・国府学童」ののグルで記置した。・大て、大きいで、大きが、国府小学	校の利用者数の増が見込まれたので、令和 あらたに体育館2階会議室を保育スペース	А
評価	Cの場合				
	手の理由と今) 対 応 等				

	ᢖ	52期大	磯町子ど	も笑顔かか	ヾやきプラン 進捗管	理シート			82	
事	業	名	男女共同	参画の講え	寅会、講座			町民課/学校教	育課/生涯学習	課
基	本 目	標	5	子育てと	仕事の両立支援		<u>,                                     </u>			
施	策のこ	方向	5-3	仕事と生	活の調和の実現					
当	初言	一画		•						
事	業 根	兓 要	R   全て   るよう   生涯	の教育活動 うな教育を推		別役割分担	旦意識にとら	らわれず、男女がその	個性と能力を発揮	でき
目	標	値		<b>ナ</b> 共同参画詞	: 同参画推進プラン』 <i>0</i> 構演会・講座を年 I 回♪		tび新プラン			
	区分		新	f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	、 況	評価基準:A(	(事業達成またに	は継続実施)、B(概ね成果あ	り)、B*(新型	コロナの影響に	こよる)、C(未着手または検	(計段階)	
年		度	課	白	F度別事業目標			実績		評価
			m-r		同参画推進プラン』の見じ 演会・講座の実施	直し	・『第3次大	磯町男女共同参画推注 磯町男女共同参画推注 参画講演会を1回開催	進プラン』の策定。	А
	和 2 3 実 総		継続: 学 校 教 育	<b>実施</b>				活動において、固定的・ れず、男女がその個性と を推進した。		Α
			男女: 男女: 学習	共同参画の視	見点で社会教育を推進す	<b>ే</b> .	して互いに	室において、男女が対 âカする家庭教育を推 度はファミリー教室を中	進を行う予定であっ	В*
			町プラン	磯町男女共同 ・の策定 :共同参画講	司参画推進プラン』の見i 座の実施	直し及び新	計画に基づ	磯町男女共同参画推注 き各種施策や事業を実 参画講座を開催した(参	<b>淫施した。</b>	А
	和 3 3 実 総		777		おいて、男女がその個性 膏を推進する。	と能力を発		れず、男女がその個性と		Α
			男女:	共同参画の視	<b>見点で社会教育を推進す</b>	<b>3</b> .	ていた講座 「地域の子」 グ」(参加 <i>A</i> ・人権教育)	ーウィルス感染症拡大的のうち I 回のみ開催した でもたちの子育て環境 、数 I 6 人) こおいて、LGBTsへの 記討を行った。	c。ファミリー教室 I ・危険予知トレーニン	B*

С	2
C	)

					02	
年	度	課	年度別事業目標		実績	評価
		町民課	男女共同参画講演会・講座の実施	計画に基っ	、磯町男女共同参画推進プラン』を運用し、 がき各種施策や事業を実施した。 参画講座を開催した(参加人数:7名)。	Α
令和 4 <sup>4</sup> ( 実 系		学校教育	全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発 揮できるような教育を推進する。	識にとらわ	育活動において、固定的な性別役割分担意 れず、男女がその個性と能力を発揮できる を推進した。	Α
		生涯学習	男女共同参画の視点で社会教育を推進する。		を認め自分らしく生きられる社会づくり」を て人権教育講演会を開催した。(参加人数	Α
		町民課	男女共同参画講演会・講座の実施	各種施策や	、磯町男女共同参画推進プラン』に基づき ◇事業を実施した。 参画講座を開催した(参加人数:30名)。	Α
	令和5年度 (実績)		全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発 揮できるような教育を推進する。	識にとらわ	育活動において、固定的な性別役割分担意 れず、男女がその個性と能力を発揮できる を推進した。	Α
		生涯学習	男女共同参画の視点で社会教育を推進する。		人権を「守る」とは?』をテーマとして人権養 を開催した。(参加人数79人)	Α
		町民課	男女共同参画講演会・講座の実施		、磯町男女共同参画推進プラン』に基づき 家画講座を開催した(参加人数:25名)。	Α
令和6 <sup>5</sup> ( 実 %		学校教育	全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発 揮できるような教育を推進する。	ず子どもた において、[	名簿の使用や敬称において男女にかかわら ちを「さん」づけでよぶなど全ての教育活動 固定的な性別役割分担意識にとらわれず、 )個性と能力を発揮できるような教育を推進	Α
		生涯学習	男女共同参画の視点で社会教育を推進する。		支え合うまちづくり〜少子化・災害を越えて マとして人権教育講演会を開催した。(参加 )	Α

## 評価Cの場合

	9	第2	期大	磯町子と	も笑顔かか	べやきフ	プラン 進	<b>陟管理</b> :	ンート			83		
事	業		名	男女が夫	<b>に子育て</b> に	こ参加で	する環境で	づくりの	推進		子育て (~R5スポーツ健康		涯学習課 (支援課/生涯学	習課)
基	本	3	標	5	子育てと	仕事の	両立支援							
施	策の	方	向	5-3	仕事と生	活の調	和の実現	1						
当	初言	计	画		•		-							
事	業材	既	要	父親が子	育てについ	<b>【植極的</b>	引に参加で	<b>きるよ</b> う <sup>7</sup>	な意識	啓発を、教	(室や講座、研修会	などを迫	追じ実施します	•
目	標		値	ポーツ 子 イクン 育 て	ニティスクー メン講座 3 E ミリー教室 3	回/年(令		,	日講点	医に名称変	(更)			
	区分	ì		亲	<b></b> f規		継続		拡	充	完了 (事業終了)		その他	
進	捗丬	犬	況	評価基準:A	(事業達成また)	は継続実施	も)、B (概ね成	え果あり)、E	8*(新型	コロナの影響	『による)、C(未着手また	:は検討段	皆)	
年			度	課年度別事業目標							実績			評值
				ポーツ	ニティスクール			<u>;</u>		教室3回・ イクメン講	個別2回 計5回/年			А
	令和2年度(実績)			育て支援	リー教室を年	-3回開催	<b>業する。</b>				ウィルス感染症拡ァ 中止とした。	、防止のが	eめ予定してい	B
				習 マタ- ス ポ ー ツ	ニティスクール	·(沐浴実	【習)の実施	Ī		教室9回・	個別21回 計30回	/年		Α
	和 3 実 <i>第</i>			- T	ジス講座を年3	回開催。	する。				∮座 2回 ナウイルス感染症拡 講座をⅠ回中止し2			В
					リー教室を年	3回開催	<b>崖する。</b>			ていた講座 「地域の子 グ」(参加	ナウィルス感染症拡 Eのうち   回のみ開作 - どもたちの子育で5 人数   6人) (降に向けた講座準・	Eした。ファ 環境・危険	・ミリー教室 I	

83

			83	
年 度	課	年度別事業目標		評価
	スポーツ	マタニティスクール(沐浴実習)の実施	教室5回·個別7回 計12回/年	Α
令和4年度 ( 実 績 )	子育て支援	イクメン講座を年3回開催する。	土曜日講座(イクメン講座から名称変更) 2回	В
	生涯学習	ファミリー教室を年3回開催する。	・ファミリー教室を3回開催した。 「思春期の子どもの行動が示すもの」(参加人数11人)、「中学生体験クッキング」(参加人数11人)、「親子版画体験」(参加人数11人) ・次年度以降に向けた講座準備	Α
	スポーツ	・マタニティスクール(沐浴実習)の実施 ・参加者において夫・パートナーが出席した割合	・教室5回・個別6回 計11回/年 ・夫・パートナーの出席率 82.6%	Α
令和5年度 ( 実 績 )	子育て支援	土曜日講座を年3回開催する。	土曜日講座を年2回開催した。	В
	生涯学習	ファミリー教室を年3回開催する。	・ファミリー教室を1回実施した。 「親子体験みそ作り」(参加者20人)。親子で学ぶ LINE教室を実施予定であったが、希望者が少なく実 施しなかった。 ・次年度以降に向けた講座準備	В
令和6年度 (実績)	子育て支援課	・マタニティスクール(沐浴実習)の実施 ・参加者において夫・パートナーが出席した割合 ・土曜日講座を年4回開催する。(修正)	・教室5回・個別7回 計12回/年 ・夫・パートナーの出席率 72.2% ・土曜日に開催した講座 4回/年	Α
	生涯学習	ファミリー教室を年3回開催する。	・ファミリー教室を2回実施した。 「親子で挑戦!ちょっとむずかしい折り紙」(参加者17人) 「親子で体験!みそ作り」(参加者25人)	В

評	価	C	の	場	合

第2期大	磯町子ども笑顔かか	ヾやきプラン 進捗管	理シート		(	84	
事 業 名	事業所への啓発				産業	観光課	
基本目標	5 子育てと	仕事の両立支援					
施策の方向	5-3 仕事と生	活の調和の実現					
当初計画							
事 業 概 要	町広報等への掲載や		事業所に、名	<b>逆業員が育</b>	<b>育児休業を取得できる</b>	よう働きかけます。	
目 標 値	パンフレット等配布 7	0事業所					
区分	新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進捗状況	評価基準:A(事業達成また	- は継続実施)、B(概ね成果	!あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	<del>:</del> ・影響による)、C (未着手ま	たは検討段階)	
年 度	年原	度別事業目標			実績		評価
令和2年度 (実績)	商工会と連携し、対象と る普及啓発を行う。	なる社員等を持つ事業所	等に対す		業所にパンフレット等を配 )事業所等に対する普及		В
令和3年度(実績)	商工会と連携し、対象と る普及啓発を行う。	なる社員等を持つ事業所	等に対す		業所にパンフレット等を配 )事業所等に対する普及		В

商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す。 ・町内68事業所にパンフレット等を配布し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。  令和4年度(実績)  商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す。 ・町内68事業所にパンフレット等を配布し、対象となる 社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。  令和5年度(実績)  商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す。 ・町内68事業所にパンフレット等を配布し、対象となる 社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。  A 16年度  本和6年度				84	
◆和4年度 ( 実 績 )  商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す  商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す  商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す  商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す  高者及啓発を行う。  ● 和5年度 ( 実 績 )  「町内68事業所にパンフレット等を配布し、対象となる 社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。  を 和6年度 ( 実 績 )	年	度	年度別事業目標	実績	評価
参和5年度 (実績) 商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対す る普及啓発を行う。  ・町内68事業所にパンフレット等を配布し、対象となる 社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。  ◆和6年度 (実績)  評価Cの場合  未着手の理由と今					В
令和6年度 (実績)					В
未着手の理由と今					В
	評価Cの均	易合			

	第2	2期大	磯町子と	も笑顔かか	<b>ヾ</b> やきプラン	進捗管	理シート			85	
事	業	名	(発達)降	章がいのあん	る子どもへの	子育て支持 (~R5 スポーツ健康課	援課/福祉課 /子育て支援課/福祉	止課)			
基	本 目	標	6	心配りが	必要な子ども	もたちへの	の支援				
施	策の方	向	6-1	配慮が必	要な子ども	への支援	<u>2</u>				
当	初計	画									
事	業 概	要	ポーツ・子育では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	目談に対応しま 一覧ではない。 一覧がいれない。 一覧でいれない。 一覧をでいれない。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をでいる。 一覧をできませる。 一覧をできませる。 一覧をできまする。 一覧をできます。 一覧をできます。 一覧をできます。 一覧をできます。 一覧をできます。 一覧をできます。 一覧をできまする。 一覧をできます。 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定	す。健診フォロー む、特別な支援 懸念される児童 (センター主催の ります。 に対して、放課 。	-教室を開き必要とするに対して相の巡回リハトを 後や長期を生活におけます。	催し、遊びを 「る幼児に対 目談記録シー ごリテーション 木暇中におい	通して子ど: して、関係機・ト(はぐくみ レによりセン マ生活能力	し、子どものことば、生活もの発達を促し、より良い 機関と連携した総合的なま サポートファイル)を活用 ターの医師、理学療法士学 向上のための訓練を行う 、知識技能の向上、集団会	親子関係が築けるよう 接体制整備を図りまし、ネットワークの強化 等が出張し、障がい児 の「放課後等デイサーと	) に支 す。 に努 。 。 の機 ごス」
1	145	/±	スポ継続		議3回以上/年						
目	標	值	子育 丁乙福 祉続		俄3四以工/牛	-					
	区分			f規	継続	3	拡	<u></u>	完了	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成またに	: は継続実施)、B(ホ	<u>■</u> 既ね成果あり	J)、B <b>*</b> (新型	コロナの影響	ことでは、C(未着手または検	計段階)	
年		度	課	年	<u>-度別事業</u> 目	目標			実績		評価
	1- 2 T	<u></u>	継続 スポーツ 子ど	実施 も発達支援会	議を開催				診時 相談38件 コー教室 18回、144人	、相談13件	А
	和 2 年 実 績		育て	7総合療育相	う相談センター主催の巡回リハビリテー ・x				ビリテーション利用者		В
			ション 障が ・障が の相	バよりセンター い児の機能回 いまたは療育	- の医師、理学  復・相談にあた  が必要な児を - ズに合わせた	療法士等 こる。 ・養育してい	が出張し、	・短期入所 ・児童発達	: 支給決定者 7名 :支給決定者 24名 :デイサービス利用者 4:		A
			継続   スポ   リ	実施					診時 相談38件 コー教室 18回、144人	、相談Ⅰ3件	А
	和 3 年 実 績		子育て	も発達支援会					件なしのため)		В
			ション 障が ・障が の相	バよりセンター い児の機能回 いまたは療育	-ズに合わせた	療法士等 こる。 養育してい	が出張し、	·短期入所 ·児童発達	ビリテーション利用者   :支給決定者 4名 :支援利用者 2 名 :デイサービス利用者 5'		Α

85

				85	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
	スポーツ	継続実施		診時 相談51件 1-教室 18回、183人、相談21件	А
令和 4 年 度 ( 実 績 )	子育て	子ども発達支援会議を開催	年0回(案	牛なしのため)	В
	1 1111	・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテーションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、 障がい児の機能回復・相談にあたる。 ・障がいまたは療育が必要な児を養育している保護者 の相談に乗り、ニーズに合わせた障がい福祉サービス を紹介し利用に繋げる。	·短期入所 ·児童発達	ごリテーション利用者 15名 支給決定者 2名 支援利用者 32名 デイサービス利用者 70名	Α
	スポーツ	継続実施		診時 相談69件 2-教室 18回、306人、相談5件	A
令和5年度 ( 実 績 )	子育て	子ども発達支援会議を開催	年0回(案位	牛なしのため)	В
	福祉課	・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテーションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。 ・障がいまたは療育が必要な児を養育している保護者の相談に乗り、ニーズに合わせた障がい福祉サービスを紹介し利用に繋げる。	·短期入所 ·児童発達	ごリテーション延べ利用者数 20名 支給決定者 2名 支援利用者 33名 デイサービス利用者 81名	Α
令和6年度 (実績)	子育て支援課	子ども発達支援会議を開催	・健診フォロ	診時 相談55件 コー教室 18回、196人、相談9件 達支援会議 0回(案件なしのため)	В
	福祉課	・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテーションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。 ・障がいまたは療育が必要な児を養育している保護者の相談に乗り、ニーズに合わせた障がい福祉サービスを紹介し利用に繋げる。	·短期入所 ·児童発達	ビリテーション延べ利用者数 II名 支給決定者 5名 支援利用者 23名 デイサービス利用者 95名	Α

## 評価Cの場合

	第2	∠期大	機町子と	も笑顔かね	がやきブラ	シン 進捗	で理シー	- ト				86			
事	業	名	園や学校	たにおけるノ	人材配置~	や相談体	制			子育	て支援	課/	学校教育	育課	
基	本 目	標	6	心配りが	必要な子	どもたち	への支援	<b>일</b>							
施	策の方	向	6-1	配慮が必	必要な子と	ぎもへの支	援								
当	初計	画		- !											
事	業 概	要	支援体制 ・臨床心理性理解・文	がい等を含む 整備を図り 里士等が、町 寸処方法なと 理的・情緒的 ため「教育す	ます。 「内各幼稚 ごを助言し、 りな問題を	園・保育戸、発達促進 抱えて学村	f等・小・ロ Éを支援し 交に登校 <sup>-</sup>	中学校? ます。	を巡回し、	特別な支援	爰が必	要と思	われる子	どもの	の特
目	標	值	育 て 支 援	も発達支援 悪実施	会議3回以	以上/年	11811111111111111111111111111111111111		11811111111111111111111111111111111111				110111111111111111111111111111111111111		
	区分		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b></b> f規	糸	迷続		拡充		完了 (事業終			その	他	
進	捗 状	況	評価基準:	A(事業達成ま7	たは継続実施	b)、B(概ね)	成果あり)、[	3*(新型	型コロナの影	響による)、C	(未着手	または村	(食討段階)		
丰		度	課	٤	年度別事	業目標					実績				評
令	和 2 年	度	育て支援	も発達支援会					2回						{
(実績)		)	児的・校性る・児のない。	整障がい等を 見支に 見を を を を を を を を を を を を を を を を を と の に り 、 の り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	时して、関係 備を関係 で で ない ない などを は の保 が が が が が き が き が き が き が き が り の り が り の り が り が り ら い う に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	機関等と連番とと連続では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	連携した総 所・小・中! はる子どもの 進を支援で 登校できな	合学りサーい行む機・多小支ど・児た	、特別な支換 特別な・世 特別な・世 大・一 大・一 大・一 大・一 大・一 大・一 大・一 大・一	援室」を運	する児童アドスをもったいない。それでは、それでは、それでのできまれています。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	・生徒 (ザー( ) 要性 ( ) 学性 ( ) 学校援 ( ) よ	に対して 対備に に を は に に に が が が が で が が が が が が が が が が が が が	関った別法な行係。がなないう	,
<del>-</del>	和3年	度	子 育 て 支援	も発達支援 <i>会</i>	会議を開催			年	0回(案件	なしのため)					1
	実績		児的・・・校牧教育	整障がい等を 見童・生徒に対 支援体制整体 未心回し、特別・ 解・対処方法 里的・情緒的	対して、関係 備を図る。 、、町内各幼 な支援が必 などを助言	機関等と選稚園・保育要と思われし、発達促	連携した総 所・小・中: lる子どもの 進を支援で	合 学 が ・教・大 ・教・大 ・文	、特別な支 関等と連携 対育研究所 ・中学校を 援が必要と を助言し、	当者連絡会援を総合といい。 のののでは、またいののでは、またいのでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、これいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	する児童 な支げて、各 、ともの! 支援。	i・生徒 体制の ザー(路 ) 要請に 特性理(	に対して、 整備を図 点床心理コ に応じて特 解・対処プ	関係。かなない	,

					86	
年	度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4	↓ 年 度	子育て支援	子ども発達支援会議を開催	年0回(案例	牛なしのため)	В
(実	績 )	学校教育課	・発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 ・臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 ・心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。	し童援・かけった登達徒の一般を受ける。とは、一般を変える。これでは、一般をでいる。これででいる。これでは、一般をでいる。これでは、一般をでいる。これでは、一般をできる。これでは、一般をできる。これでは、一般をできる。これでは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般を		
令和5	5 年 度	子育て支援	子ども発達支援会議を開催	年0回(案件	牛なしのため)	В
(実	績)	学校教育課	・発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 ・臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 ・心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。	し、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	育相談担当者を集めた連絡協議会を開催がい等を含む、特別な支援を必要とする児対して、関係機関等と連携した総合的な支係権を図った。所のスクールカウンセラー(臨床心理士)が公回し、また、各校の要請に応じて特別な支思われる子どもの特性理解・対処方法など、き違促進を支援。情緒的な問題を抱えて学校に登校できない及びその保護者に対する援助や指導を行う支援室」を運営し、子ども達が再び学校によう支援。	
令和6	5年度	子育て支援	子ども発達支援会議を開催	・こども発達 し、幼児の多	達支援会議 年0件(案件なしのため) 達相談員が町内各幼稚園、保育園等を巡回 発達面について保育士等に助言し、指導内 「法の工夫に行かせるよう支援。	В
(実	績 )	学校教育課	・発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 ・臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 ・心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。	し、童媛体育校、小媛をいった。全生制研を必要しい。全球がいいので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、の	育相談担当者を集めた連絡協議会を開催がい等を含む、特別な支援を必要とする児対して、関係機関等と連携した総合的な支 と	
評価C	の場合					
未着手の 後 の 対						

	第 ——	2期ナ	、磯町子と	ごも笑顔かか	<b>ヾやきプ</b>	ラン 進 	步管理:	シート			87		
事	業	名	専門職に	こよる相談機	能の充	実				子育て支援課 (~R5 スポーツ健康課			
基	本 目	標	6	心配りが	必要なる	子どもたっ	ちへのす	支援					
施	策のた	7 向	6-1	配慮が必	要な子と	どもへの	支援						
当	初計	画		<u> </u>									
事	業 概	要	・発達 ・乳球シー・ ・乳球シー・ ・乳球シー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の遅れなどが懸念 児について、随時代 員による子ども発達 でもの発達を促し、。 い児に関する総合 す。 総合療育相談セン	される児童による設まり良い親子 保健師による設まり良い親子 的な相談支 クター主催に、 をもって学校	に対して相談 ・健康相談・育さ ・し、子どもので 関係が築ける 接を実施しま よりセンターの に、登校できた	記録シート 児相談を行いています。その他、 理学 い、児童・生	(はぐくみち デいます。  習慣、社会 とします。 児童相談が 禁法士等 徒及びその	けポートファイル 歳6か月児健/ 大性、親子関係 所等と連携する が出張し、障か	マな問題などに対して適ちからを作成し、ネットワークの 東診査 2歳児歯科健康診などの相談に対応します。 いとともに、委託相談支援事 い児の機能回復・相談にする援助や指導を行うため、	強化に努めまな。	す。 ₹診査時に子ども 「室を開催し、遊び 見の相談支援事	びを通
目	標	値	子 育 相談( ス ポ 継続) 福 祉 継続。 学 校	実施									
	区分		¥	新規	;	継続		拡	充	完了 (事業終了)		その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成またに	は継続実施)	)、B(概ね成	果あり)、ほ	3*(新型	コロナの影響	による)、C(未着手また	は検討段階)		
年		度	課	年	=度別事	業目標				実績			評
			子専門	の相談員(臨	床心理士	、言語聴覚	注等)σ	配置	相談件数:	539件/年			Α
				実施						診時 相談38件 ロー教室 18回、14	4人、相談	3件	Δ
	和 2 年 実 績		ビス 福 ·県 祉 ショ	育を希望する新 や障がい福祉 立総合療育相 シによりセンタ- い児の機能回	サービス 談センター - の医師、	事業所の利 -主催の巡 理学療法	J用に繋り 回リハヒ	げる。 リテー	·児童発達	ビリテーション利用者 支援利用者 24名 デイサービス利用者			Α
			学児童を対している。	「教育支援室」 育研究所に配置	の保護者に 」を運営。	こ対する援	助や指導	夢を行う	徒及びその 室」を運営し	緒的な問題をもって学 保護者に対する援助や 、子ども達が再び学れ 所に配置した臨床心理	指導を行うた に登校でき	きめ「教育支援 るよう支援。	
			子専門	の相談員(臨	床心理士	、言語聴覚	建等)σ	配置	·相談件数	::544件/年			1
				実施						診時 相談38件 ロー教室 18回、17	7人、相談2	4件	1
	▶和3年度 実績)	福・県ゴにより	i を希望する親の い福祉サービス な総合療育相談 リセンターの医師 回復・相談にあれ	事業所の利 センター主 5、理学療法	引用に繋げる 催の巡回リ	る。 ハビリテー	ーション	・児童発達	ビリテーション利用者 支援利用者 21名 デイサービス利用者			4	
			│ 学 │児童	理的・情緒的な ・生徒及びその 「教育支援室」	の保護者に	に対する援			児童·生徒	青緒的な問題をもっ 及びその保護者にな を援室を運営した。			

					87	
年	度	課	年度別事業目標		実績	評価
		子育	専門の相談員(臨床心理士、言語聴覚士等)の配置	相談件数:	539件/年	Α
		スポ	継続実施		診時 相談51件 2-教室 18回、183人、相談21件	Α
令 和 4 年 ( 実 績		福祉課	・療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサー ビスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 ・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテー ションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、 障がい児の機能回復・相談にあたる。	·児童発達	ごリテーション利用者 15名 支援利用者 32名 デイサービス利用者 70名	Α
		育	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない 児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行う ため「教育支援室」を運営。 ・教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談 を実施。	児童・生徒 ため教育支	接室を運営した。 所に配置したスクールカウンセラーによる教	Α
		子育	専門の相談員(臨床心理士、言語聴覚士等)の配置	相談件数:	563件/年	Α
		スポ	継続実施		診時 相談69件 1-教室 18回、306人、相談5件	Α
令和5年 ( 実 績		福祉課	・療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサー ビスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 ・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテー ションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、 障がい児の機能回復・相談にあたる。	・短期入所 ・児童発達	ごリテーション延べ利用者数 20名 支給決定者 2名 支援利用者 33名 デイサービス利用者 81名	Α
		学校教育課	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない 児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行う ため「教育支援室」を運営。 ・教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談 を実施。	児童·生徒 ため教育支	接室を運営した。 所に配置したスクールカウンセラーによる教	Α
		子育て	専門の相談員(臨床心理士、言語聴覚士等)の配置	<ul><li>乳幼児健</li><li>・健診フォロー</li></ul>	健康相談・育児相談   20 件 診時 子ども発達相談55件 コー教室   8回、   96人、相談9件 権相談員の個別相談464件	А
令 和 6 年 ( 実 績		福 祉 課	・療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 ・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテーションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、 障がい児の機能回復・相談にあたる。	·短期入所 ·児童発達	ごリテーション延べ利用者数 II名 支給決定者 5名 支援利用者 23名 デイサービス利用者 95名	А
			  ・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない	・心理的・情	<b>青緒的な問題をもって学校に登校できない</b>	

評	価C	の	場	合

校

教

育

を実施。

ため「教育支援室」を運営。

・教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談

未着手の理由と今 後 の 対 応 等 学 児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行う 児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行う

ため教育支援室を運営した。

教育研究所での相談件数:336件

育相談を実施した。

・教育研究所に配置したスクールカウンセラーによる教

	第2	2期大	磯町子ども笑顔か	がやきプラン 進捗管	理シート		88	
事	業	名	ネットワークの強化	Ĺ		子育	て支援課	
基	本 目	標	6 心配りが	が必要な子どもたちへの	の支援	•		
施	策の方	向	6-2 児童虐	待防止体制の充実				
当	初計	画						
事	業 概	要	よう、育児不安を抱た 図ります。	えた家庭の子育てを支援	するとともに、り	±会において子どもが健や: 見童虐待に対応ができるネ 速やかな対応を行う体制を:	ットワーク体制の充分	
目	標	値	·要対協会議(代表: ·研修会   回/年	者会議ほか)8回/年				
	区分		新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(事業達成。	または継続実施)、B (概ね成果	あり)、B*(新型	コロナの影響による)、C(未着手	または検討段階)	
年		度	年	度別事業目標		実績		評価
	和 2 年 実 績		要対協会議 8回/年研修会 1回/年		研作め中		定感染拡大防止のた	B*
			要対協会議 7回/年 研修会 1回/年		研修	†協会議 7回/年 {会 新型コロナウイルス感染{ !止	症感染拡大防止のた	

88 年 年度別事業目標 実績 評価 度 要対協会議 7回/年 要対協会議 10回/年 研修会 |回/年 研修会 1回/年(大磯町要保護児童対策地域協議会 研修会「児童虐待の対応の基礎及び通告等の対応に ついて」) 令和4年度 Α (実績) 要対協会議 7回/年 要対協会議 | | 回/年(個別ケース検討会議除く) 研修会 |回/年 研修会 1回/年(大磯町要保護児童対策地域協議会 研修会「児童虐待の役割と児童相談所の役割につい て」) 令和5年度 Α (実績) 要対協会議 10回/年(修正) 要対協会議 6回/年(個別ケース検討会議除く) 研修会 |回/年 研修会 |回/年(大磯町要保護児童対策地域協議会 研修会「地域ネットワーク構成員の専門性を図るため の研修~ペアレントトレーニング ティーチャーズ・トレー ニング」) 令和6年度 Α (実績)

	_	_
1	8	3

評価Cの場合 未着手の理由と今 後 の 対 応 等

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	がやきプラン 進	捗管理シ <b>-</b>	- <b>-</b>		89		
事	業	名	早期把握	や支援(乳	礼幼児訪問·養育	<b>百支援訪問</b>	1)		で支援課 建康課/子育て支援課	)	
基	本 目	標	6	心配りが	必要な子どもた	ちへの支援	曼				
施	策の方	向	6-2	児童虐待	防止体制の充実	美					
当	初計	画									
事	業概	每	***-ッ 子育で支 ***・ 児・ ・ 児・ ・ 児・ ・ 児・ ・ 児・ ・ パーカー ・ アーカー ・ アーカ	妊娠届出時から出生後まで、虐待のリスクがある事例については、産科医療機関と母子 携して支援します。初めて出産した方を助産師や保健師が訪問し、保健指導を行うとともし 要な母子については産科、小児科、精神科等に精通する看護職の配置のある事業所に委 支援訪問事業等により支援します。 「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の 見の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導します。 「大磯町児童虐待相談・通告対応マニュアル」に基づき、相談・通告を受け付け、速やか 条体制を強化します。							
目	標	値	ス <b>継続</b> ッ	実施	かん事業 (乳児全産	<b>「訪問事業</b> 」	)訪問率1009				
	区分		新	f規	継続		拡充	完了 (事業終了)	その他		
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	たは継続実施)、B(概	ね成果あり)、「	3*(新型コロナの	)影響による)、C(未着手	または検討段階)		
年		度	課	至	丰度別事業目標			実績		評価	
<b>令</b> (	和 2 年		子育て支援		し事業 訪問率100	%		未熟児訪問 全数訪問 会訪問 4回 7.2%	(67件)	АВ	
	和 3 年 績		スポーツ健康課		、委託事業として訪り			未熟児訪問 全数訪問 法訪問 12回 0.3%	(57件)	A	

				89	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	スポーツ健康課	継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。	・新生児・オ・養育支援	<熟児訪問 訪問済47件(対象53件) 訪問 9回	A
(実績)		こんにちは赤ちゃん事業 訪問率100%	・訪問率 8	6.4%	В
令和5年度	スポーツ健康課	継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。	・新生児・オ・養育支援	京熟児訪問 訪問7   件  訪問 2回	А
(実績)	子育て支援課	こんにちは赤ちゃん事業 訪問率100%	・訪問率 8	3.3%	В
令和6年度(実績)	子育て支援課	こんにちは赤ちゃん事業 訪問率100%、継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。	※ うち令和 ついては、	産師対応 訪問54件(対象36件) n5年出生児の訪問2件、訪問未実施対象に Uにより出産1件、施設入所1件 は赤ちゃん事業 訪問率86.5%	A

評価Cの場合	<mark>하</mark>	
未着手の理由と今 後 の 対 応 等	と今 5 等	

	第2	2期大	:磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗な	管理シート			90	
事	業	名	家事や育	児への援助	助			子育	て支援課	
基	本 目	標	6	心配りが	必要な子どもたち⁄	への支援				
施	策の方	向	6-2	児童虐待	防止体制の充実					
当	初計	画								
事	業 概	要	の安全な対	対応ができる	:ンターの周知に努め るように努めます。		援助会員 <i>0</i>	の研修を允実させ、心	配りが必要な子とも	5^
目	標	値	・ 利用件数・ 会員数20	(200件/年						
	区分		新	規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進		況	評価基準:A	(事業達成また	<u>■</u> こは継続実施)、B(概ね成	 !果あり)、B*(	新型コロナの		<u></u> または検討段階)	
年		度		年原	度別事業目標			実績		評価
	和 2 年 実 績		相互によるで ターの充実	育児援助活動に努めます。	iかる人で会員組織を構 動を行うファミリー・サポ	゚ート・セン	援助会員数依有方会員	女 125人 2人		В
	和 3 年 実 績		相互によるす		iかる人で会員組織を構動を行うファミリー・サボ		利用件数間,接來有數學的一個,我們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們們			В

				90	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
	4 年 度 績 )	相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・セン	援助会員数 依頼会員数 両方会員 ・新たに、要		В
	ō 年 度 績 )	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努めます。 ・要保護児童等のうち支援が必要な者に対し、ヘルパーを派遣する。	・利用時間 ・接頼方 ・依両 ・新たに、新たに、	1527.5時間 数   17人 数   153人	В
	6 年 度 績 )	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努めます。 ・支援が必要な家庭に対し、子育て世帯訪問支援事業による家事・育児支援を行う。	·利用時間員 ·依京 ·依京 · · 西 要保護見 要保護見	1022.5時間 数   19人 数   155人	В
評価C	の場合				
	理由と今付 応 等				

		第2	2期大	:磯町子ど	も笑顔かか	バやきプラン 進捗	管理シート			91	
事	, Treely	業	名	地域の見	.守りの充実	美			子育-	て支援課	
基	本	目	標	6	心配りが	必要な子どもたち <sup>。</sup>	への支援				
施	策(	の方	向	6-2	児童虐待	防止体制の充実					
当	初	計	画								
事	業	概	要	安などを聞育て応援団	引き、必要に, 団」を実施し	応じて保健師等が訪 ます。	5問指導します	す。そのフォ	直委員が第2子以降¢ローとして、2歳児全∫		
目	7	票	值			事業 (乳児全戸訪問 「にこにこ子育て応					
	×	分		新	ŕ規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗	状	況	評価基準:A	(事業達成また	こは継続実施)、B(概ね原	成果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年			度		年度	度別事業目標			実績		評価
		2 年 績		100% ・妊婦や乳炎		<b>ἔ・2歳児全戸訪問事業</b> 音を対象とした子育で請 /年		・2歳児全所 ・子育て講 人 ・健康に関・ ・イクメン講・新型コロデ	t赤ちゃん事業 訪問率	.4% 4回(2コース)/年 8	B*
		3 年		100% ・妊婦や乳炎		僕・2歳児全戸訪問事業 音を対象とした子育で記 /年		・2歳児全戸 ・子育て講 17人 ・健康に関 ・イクメン講 ・新型コロ	は赤ちゃん事業 訪問率 が 訪問事業 訪問率92 変「ベビーマッサージ」。 する講座 2回/年 7人 座 2回/年 6人 トウイルス感染症拡大 講座を1回中止し2回ま	.2% B回(2コース)/年 5止のため、予定して	B*

				91	
年	度	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 ( 実 ;		・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率 100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育で講座やイクメン 講座の開催 10回以上/年	·2歳児全戸 ·子育て講 60人 ·健康に関	は赤ちゃん事業 訪問率83.3% 三訪問事業 訪問率89.3% 座「ベビーマッサージ」3回(2コース)/年 する講座 6回/年 39人 座(イクメン講座から名称変更) 2回/年	В
令和5 ( 実 <i>;</i>		・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率 100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育で講座やイクメン 講座の開催 10回以上/年	・2歳児全戸・ペアレント	は赤ちゃん事業 訪問率83.3% 三訪問事業 訪問率89.3% ・・トレーニング 6日 17人 ウピー 4日 28人	В
令和 6 ( 実 <sup>;</sup>		・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率 100% ・ペアレント・トレーニング講座 6日 ・タッチセラピー講座 4日	・2歳児全戸・ペアレント	は赤ちゃん事業 訪問率86.5% 三訪問事業 訪問率96.5% ・・トレーニング 6日 22人 ・ピー 4日 30人	В
評価Cの	)場合				
未着手の理 後 の 対				<del></del>	

	第	2期大	磯町子ども	も笑顔かか	<b>ヾ</b> やきプラン タ	<b>進捗管理シー</b>			92	
事	業	名	児童虐待	防止の予	防			子育"	て支援課	
基	本 目	標	6	心配りが。	必要な子ども7	たちへの支援				
施	策の力	方向	6-2	児童虐待	防止体制の充	芝実				
当	初計	画								
事	業概	要	くか」という 防止を図り ・II 月のり 周知を図っ	具体的な対 ます。 見童虐待防 っていきます。	対応方法を身に 止月間やオレン 。	ジリボンキャン・	)、親が楽しく	Dように子どもとコミュ 〈子育てに取り組むこ〉 チラシやオレンジリボン	とを支援し、児童虐	待の
目	標	值	子どものし	つけ等につ	いての講義、講	座の開催				
	区分		新	規	継続		広充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A(	(事業達成また	■ - は継続実施)、B(∜	 概ね成果あり)、B≯	:(新型コロナの	・ )影響による)、C(未着手。	<u>.</u> または検討段階)	
年		度		年度	度別事業目標			実績		評価
<b>\$</b> (	和 2 年 実 績			-	、ての講義、講座( してオレンジリボ)		纟20人	のためのペアレント・トレ	•	Α
	和 3 年 実 績				ヽての講義、講座( :してオレンジリボ)		€ 15人	のためのペアレント・トレ	,	Α

92 年 年度別事業目標 実績 評価 度 ・子どものしつけ等についての講義、講座の開催 ・お母さんのためのペアレント・トレーニング 8回/年 ・児童虐待防止の啓発としてオレンジリボンキャンペーンを実 26人 施する。 ・児童虐待防止月間(11月)にオレンジリボンを配布し 令和4年度 В (実績) ・子どものしつけ等についての講義、講座の開催 ・お母さんのためのペアレント・トレーニング 6回/年 ・児童虐待防止の啓発としてオレンリボンキャンペーンを実施 17人 する。 ・児童虐待防止月間(11月)にオレンジリボンを配布し た。 令和5年度 В (実績) ・子どものしつけ等についての講義、講座の開催 ・お母さんのためのペアレントトレーニング 6回/年 ・児童虐待防止の啓発としてオレンジリボンキャンペーンを実 22人 ・児童虐待防止月間(11月)にオレンジリボンを配布し 施する。 た。 令和6年度 Α (実績) 評価Cの場合 未着手の理由と今

後の対応等

	第2	2期大	磯町子ど	も笑顔かか	<b>ヾ</b> やきプラン	進捗管理	里シート			93	
事	業	名	相談者、	スクールカワ	ウンセラーの	配置			学校教育課。	/子育て支援課	
基	本 目	標	6	心配りが	必要な子ども	らたちへの	つ支援				
施	策の方	向	6-3	6-3 いじめや不登校への対応							
当	初計	画		•							
事	業概	要	校 教 育 課 ・教育	ため「教育支 育研究所に酉	「援室」を運営 記置した臨床 <sub>』</sub>	さします。 心理士によ	とり、教育	目談を実施	生徒及びその保護者に 近します。 シグに努めます。	こ対する援助や指導	事を
目	標	値	学校教育課 子育で支援								
	区分		新	f規	継続		拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:A	(事業達成また	· は継続実施)、B	3(概ね成果る	あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの	・ 影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	課	白	F度別事業E	目標			実績		評価
令 (	和 2 年 実 績		学校教育課	徒及びその保助や指導を行ールカウンセラールカウンセラ本制を整備し、で子どもが抱成及び解決に「		MAなどの軽 援室」を運営 目談員による 記置した <del>取</del> ・ス を実施する。	E減を図 言する。 S校内教育 F心理士す トレスなど	軽減を図る。 学校に登校 ・教育研究所 に県から派		営し、子ども達が再び このほか、各中学校区 ニラーを1名、各中学	A
	和3年実績		童り、ス酸と 関リ・相るの で は で を 変り、ス酸と と が るの を り、ス酸と と り、こ を り、こ り、こ り、こ り と り り り り り り り り り り り り り り り り り	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図り、援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。・スクールカウンセラーや心の教室相談員による校内教育相談体制の整備し、教育研究所に配置した臨床心理士することで子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決に向けた教育相談を実施する。  ・本登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図れた登校できるよう支援した。・教育研究所に配置したスクールカウンセラーのほか、各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーをしる、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。					Α		
	大領	,	子育て支援課	· 1н ил 🗷 ( шп И	V			THE THE			В

					93	
年	度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和 4 ( 実		学校教育課 子育て支援課	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図り、援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。・スクールカウンセラーや心の教室相談員による校内教育相談体制の整備し、教育研究所に配置した臨床心理士することで子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決に向けた教育相談を実施する。 専門の相談員(臨床心理士等)が対応する。	軽減を図る 校に登校で ・教育研究所 中学校区に 名、各中学	金、生徒及びその保護者が抱える悩みなどのため教育支援室を運営し、子ども達が再び学きるよう支援した。 所に配置したスクールカウンセラーのほか、各県から派遣されたスクールカウンセラーをし交に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内、制の整備を図った。	A
令和 5 ( 実	年度績)	秋	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図り、援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。・スクールカウンセラーや心の教室相談員による校内教育相談体制の整備し、教育研究所に配置した臨床心理士することで子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決に向けた教育相談を実施する。 専門の相談員(臨床心理士等)が対応する。	軽減を図る 校に登校で ・教育研究 中学校区に		A
令和 6 ( 実	年度	学校数	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図り、援助や指導を行うため「教育支援室」を運営する。・スクールカウンセラーや心の教室相談員による校内教育相談体制の整備し、教育研究所に配置した臨床心理士することで子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決に向けた教育相談を実施する。 専門の相談員(臨床心理士等)が対応する。	軽減を図る 校に登校で、 ・教育研究を 中学校区に 名、各中学科 相談件数: ・ 保護者に対		A
評価C♂	)場合					
未着手の理 後 の 対						

		第2	2期大	:磯町子と	ごも笑顔かた	がやきプラン 進捗や	ぎ理シート	Γ		94	
事	当	Ě	名	保護者、	児童の相談	<b>炎体制</b>			学校教育課	/子育て支援課	
基	本	目	標	6	心配りが	必要な子どもたちへ	への支援	•			
施	策の	力方	向	6-3	いじめや	不登校への対応					
当	初	計	画								
事	業	概	要	学校教育課・不	D教室相談員 大磯町いじめ D健全育成及 登校児童、生	「いる心の悩み・不安・ による相談の充実や 防止基本方針」に基 びいじめのない子どで では及びその保護者からでもに対して、専門の	校内教育相 づき、いじめら も社会の実現 <sup>*</sup> 抱える悩み	談体制の整 の防止等の記を目指しまなどの軽減	備を図ります。 取組を町全体で円 す。 を図るため「教育す	滑に進め、すべての	子ど
目	村	票	値	校 教 育	売実施 売実施						
	区	分		7	新規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗	状	況	評価基準:	A (事業達成また	たは継続実施)、B(概ね成	果あり)、B <b>*</b> (	新型コロナの景	√響による)、C(未着手	または検討段階)	
年			度	課	£	丰度別事業目標			実績		評価
		2 年 績		学校教育課学校教育課	成及び解決を図 放室構を関決 を構設 で で で で で で で で で で で で で	走及びその保護者が抱え 「教育支援室」を運営す	セラーや心な育相談体制 いじめの防ことを目指のない子ど える悩みなど	を村名、大学の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本	学校に心の教室相談 談体制の整備を図っ じめ防止基本方針」( 委員協議会、学校警会議の場でいじめ防」 のいて周知した。 は、生徒及びその保護 るため「教育支援室」 登校できるよう支援し	こ基づき、区長会や民 察連絡協議会等、町 上に関わる連携協力 者が抱える悩みなど を運営し、子ども達が	A
				子育て支援・	門の相談員(題	塩床心理士等)が対応で	する。	相談件数:2	<b>(</b>		Α
		3 年 績		学校教育課学校教育課・	成及び解決を図 文室相談員によ を備を関いして での取組を町いるので すべの現の子でも 会校児童、生行	いる心の悩み・不安・スト 図るため、スクールカウン る相談の充実や校内教 ち止基本方針」に基づき 全体で円滑に進めていく の健全育成及びいじめ 指す。 走及びその保護者が抱え 「適応指導教室」を運覧	セラーや心 な育相談体制 、いじめの防 ことを目指 のない子ど える悩みなど	を   名、各中   名、各中   大大   大大   大大   大   大   大   大   大   大	学校に心の教室相談 談体制の整備を図っ じめ防止基本方針」↓ 委員協議会、学校警・ 会議の場でいじめ防」 ついて周知した。	こ基づき、区長会や民察連絡協議会等、町上に関わる連携協力	
•			•	予育て支援	門の相談員 (臨	「床心理士等) が対応す	る。	相談件数:O	件(案件なしのため)		Α

			94	
年 度	課	年度別事業目標	実績	評価
令和 4 年 度 ( 実 績 )	学校教育課	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの 軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心 の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制 の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防 止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指 し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ど も社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなど の軽減を図るため「教育支援室」を運営する。(修正)	・各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、町内の様々な会議の場でいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため教育支援室を運営した。	Α
	子育て支援	専門の相談員(臨床心理士等)が対応する。	相談件数:1件	Α
令和5年度 (実績)	学校教育課子育て支	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの 軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心 の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制 の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防 止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指 し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ど も社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなど の軽減を図るため「教育支援室」を運営する。(修正) 専門の相談員(臨床心理士等)が対応する。	・各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを   名、各中学校に心の教室相談員を配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、町内の様々な会議の場でいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため教育支援室を運営した。  相談件数:   件	В
令和6年度(実績)	〈援 学校教育課 子育	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの 軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心 の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制 の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防 止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指 し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ど も社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなど の軽減を図るため「教育支援室」を運営する。 専門の相談員(臨床心理士等)が対応する。	教育研究所での相談件数:336件 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、町内の様々な会議の場でいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため教育支援室を運営した。 相談件数:1件 面談回数4回/年・保護者に対して臨床心理士が面談を行い、児童の困	Α
N. (T. C. C. L.)	で支援		り感に対する保護者の精神的負担の軽減を図った。	Α
評価Cの場合				
未着手の理由と今 後 の 対 応 等				

	第2	2期大	磯町子と	゛も笑顔かか	バやきプラン 進捗	管理シート		(	75	
事	業	名	スクール	ソーシャル「	フーカー等と福祉の	の連携		学校教育課/	/子育て支援課	
基	本 目	標	6	心配りが	必要な子どもたち	への支援				
施	策の方	向	6-4	子どもの	貧困への対策					
当	初計	画								
事	業 概	要		他だくいる怪を図ります。	4分・小女なとの軽減	《及び解決を』	ୟ <b>ଚ</b> / ସ <b>ଉ</b> ) ∖ ୩	目談員による相談の充	美化仪内叙目相高	<b>灰1</b> 本
目	標	値	· 校 教 育	宝実施 5実施						111111111111111
	区分		<del>.</del>	<b></b> f規	継続	拡	充	完了 (事業終了)	その他	
進	捗 状	況	評価基準:	A(事業達成また	こは継続実施)、B(概ね)	成果あり)、B*(	新型コロナの	影響による)、C(未着手ま	たは検討段階)	
年		度	課	生	丰度別事業目標			実績		評価
令	和2年		学 目指 校 ·家原	す。	は問題に組織的な対応		等を実施し ・子育て支き	/ーシャルワーカによる訪 た。 援センター、児童相談所 ス会議を開催した。		Α
(	実績		子育て支援課	の相談員 (臨	床心理士等) などがな	寸応する。	相談件数:	2件		Α
今	和3年	度	学 目指 校 ·家原	す。	ルワーカーによる訪問 な問題に組織的な対応 する。		談等を実施 ・子育て支き	/ーシャルワーカーによる した。 暖センター、児童相談所 、ケース会議を開催した	、教育支援室、警察	А
	実績		予育て支援課	の相談員 (臨	床心理士等) などがえ	寸応する。	相談件数:	0件 (案件なしのため)		В

				95	
年 度	課	年度別事業目標		実績	評価
令和4年度	学校教育課	・スクールソーシャルワーカーによる訪問相談の充実を目指す。 ・家庭的・福祉的な問題に組織的な対応するため、 ケース会議を開催する。	カーによる ・子育て支	町で配置しているスクールソーシャルワー 訪問相談、電話相談等を実施した。 援センター、児童相談所、教育支援室、警察 、ケース会議を開催した。	Α
(実績)	子育て支援課	専門の相談員(臨床心理士等)などが対応する。	相談件数:	I 作	Α
令和5年度	学校教育課	・スクールソーシャルワーカーによる訪問相談の充実を 目指す。 ・家庭的・福祉的な問題に組織的な対応するため、 ケース会議を開催する。	カーによる ※相談件数 ・子育て支	町で配置しているスクールソーシャルワー 訪問相談、電話相談等を実施した。 故:116件 援センター、児童相談所、教育支援室、警察 、ケース会議を開催した。	Α
(実績)	子育て支援課	専門の相談員(臨床心理士等)などが対応する。	相談件数:	I 件	Α
令和6年度	学校教育課	・スクールソーシャルワーカーによる訪問相談の充実を 目指す。 ・家庭的・福祉的な問題に組織的な対応するため、 ケース会議を開催する。	カーによる ※相談件数 ・子育て支	訪問相談、電話相談等を実施した。	Α
(実績)	子育て支援課	専門の相談員(臨床心理士等)などが対応する。	・保護者に		Α
評価Cの場合					
未着手の理由と今 後 の 対 応 等					

# 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策(幼児期の教育・保育)の進捗シート

1. 事業名	施設型給付の充実-1号認定子ども
2. 事業概要	幼稚園、認定こども園において、教育認定区分の子どもの保育を行う事業
3. 確保方策	第1期計画期間中において、公立幼稚園の統廃合を実施するとともに、幼保連携型認定こども園を2園新設することで、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備してきました。しかし、増加傾向にある保育ニーズに注視し、既存施設の活用を図った上で、さらに公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、1園を認定こども園へ移行する計画(定員の段階的見直し含む)となっています。 ■令和6年度 幼保連携型認定こども園 1園移行

# 1号認定について(当初計画)

	1号認定	H30年度	\	実施時期							
	I 与ink	実績	\	R2年度	R3年度	R4年度	R 5年度	R6年度			
	①量の見込み	437人	\	353人	345人	365人	367人	340人			
	幼稚園 (施設型給付:公立)			330人	260人	244人	228人	155人			
2	幼稚園 (施設型給付:私立)			80人	80人	80人	80人	80人			
②確保方策	認定こども園 (幼保連携型:公立)			0人	0人	0人	0人	133人			
策	認定こども園 (幼保連携型:私立)			61人	61人	61人	61人	1337			
	小計			471人	401人	385人	369人	368人			
	2-1			118人	56人	20人	2人	28人			



### 1号認定について

1 号認定	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見込	447	429	424	442人	409人	378人	333人
②確保方策			580	593人	580人	569人	569人
2-1			156人	151人	171人	191人	236人

## 5. 自己点検・自己評価

1号認定のニーズに対しては、幼稚園等において確保できた。

## 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策(幼児期の教育・保育)の進捗シート

1. 事業名	施設型給付の充実―2号認定こども
2. 事業概要	保育の必要性がある、満3歳以上の子どもを保育所、認定こども園等において保育する事業
3. 確保方策	第1期計画期間中において、公立幼稚園の統廃合を実施するとともに、幼保連携型認定こども園を2園新設することで、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備してきました。しかし、増加傾向にある保育ニーズに注視し、既存施設の活用を図った上で、さらに公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、1園を認定こども園へ移行する計画(定員の段階的見直し含む)となっています。 ■令和6年度 幼保連携型認定こども園 1園移行

#### 2号認定について(当初計画)

	2号認定	H30年度	\			実施時期		
(約	(保育ニーズ) 加児期の学校教育の利用希望が多い)	実績	\	R2年度	R3年度	R4年度	R 5年度	R6年度
	①量の見込み	204人		223人	226人	230人	234人	261人
	認可保育所 (公立)			62人	62人	62人	62人	62人
	認可保育所 (私立)			70人	70人	70人	70人	70人
2	認定こども園 (幼保連携型:公立)			0人	OV	0人		147人
②確保方策	認定こども園 (幼保連携型:私立)			75人	75人	75人	75人	147人
策	幼稚園 (施設型給付:公立)			10人	15人	15人	15人	5人
	幼稚園 (施設型給付:私立)		\	10人	10人	10人	10人	10人
	小計		\	227人	232人	232人	232人	294人
	2-1			4 人	6人	2人	△2人	33人



## 2号認定について

2号認定 (保育ニーズ) (幼児期の学校教育の利用希望が多い)	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見込	202人	250人	264人	259人	251人	261人	264人
②確保方策			227人	232人	232人	232人	232人
2-1	2-1		△ 37 人	△ 27 人	△ 19 人	△ 29 人	△ 32 人

## 5. 自己点検・自己評価

2号認定の保育需要については、町内保育施設の定員拡充等により確保方策に取り組んできたが、保育ニーズの増加により、今後も供給不足が見込まれることから、令和9年度に町立大磯幼稚園の公私連携幼保連携型認定こども園移行事業を進め、確保方策を達成できるよう提供体制の確保をめざしていく。

1. 事業名	施設型給付の充実一3号認定こども
2. 事業概要	保育の必要性がある、満3歳未満の子どもを保育所、認定こども園等において保育する事業
3. 確保方策	第1期計画期間中において、小規模保育事業所を1園、幼保連携型認定こども園を2園新設することで、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備してきました。 しかし、増加傾向にある保育ニーズを注視し、既存施設の活用を図った上で、さらに公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、1園を認定こども園へ移行する計画(定員の段階的見直し含む)となっています。  ●令和3年度 小規模保育事業所・認定こども園(保育部)の定員拡充  ●令和6年度 幼保連携型認定こども園 1園移行

### 3号認定について(当初計画)

	心をについて(								
	3号認定		H30年度	١			実施時期		
	実		実績	\	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		O歳	17人	\	23人	22人	22人	21人	21人
(	①量の見込み	1~2歳	126人	<b>\</b>	126人	126人	122人	119人	117人
		小計	143人	\	149人	148人	144人	140人	138人
	認可保育所	O歳		\	5人	5人	5人	5人	5人
	(公立)	1~2歳		\	23人	23人	23人	23人	23人
	認可保育所	O歳		\	12人	12人	12人	12人	12人
	(私立)	1~2歳		\	38人	38人		38人	38人
			公立	\	0人	0人	0人	0人	17人
(2) 確	認定こども園		私立	\	11人	11人	11人	11人	17人
②確保方策	(幼保連携型)		公立	\	0人	0人	0人	0人	69人
力策		1,0 乙成	私立	\	39人	42人	42人	42人	697
,	小規模保育事業	O歳		\	2人	2人	2人	2人	3人
	(A型)	1~2歳		\	6人	10人	10人	10人	12人
	小計	O歳		\	30人	30人	30人	30人	37人
	/J\≣T	1~2歳		\	106人	113人	75人	113人	142人
	合計		\	136人	143人	105人	143人	179人	
	₩¥ (@_ @)			O歳	7人	8人	8人	9人	16人
	受給差(②一①)		1~2歳	△ 20 人	△ 13 人	△ 47 人	△6人	25 人	



### 3号認定について

3号認定	3号認定		R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
	O歳	34人	25人	20人	18人	24人	16人	20人
①実績・見込	1~2歳	131人	151人	174人	168人	143人	139人	127人
	小計	165人	176人	194人	186人	167人	155人	147人
	O歳			30人	30人	30人	30人	30人
②確保方策	1~2歳			106人	113人	113人	113人	113人
	小計			136人	143人	143人	143人	143人
Q-(1)		O歳	10 人	12 人	6人	14 人	10人	
	Ø-U		1~2歳	△ 68 人	△ 55 人	△ 30 人	△ 26 人	△ 14 人

### 5. 自己点検・自己評価

3号認定の保育需要については、町内保育施設の定員拡充等により確保方策に取り組んできたが、保育エーズの増加により、今後も供給不足が見込まれることから、令和9年度に町立大磯幼稚園の公私連携幼保連携型認定こども園移行事業を進め、確保方策を達成できるよう提供体制の確保をめざしていく。

1. 事業名	① 利用者支援事業
2. 事業概要	子育て期のいろいろな悩みごと・困りごと等について、専門職員が一緒に考えたり、必要な情報を提供したり、適 ]なサービスや支援機関を紹介しています。
3. 確保方策	現在は、子育て支援課窓口、子育て支援総合センター、子育て支援センターで、施設案内や連絡調整、各種サービ の利用支援を行っています。 子育て支援総合センター・子育て支援センターについては、令和5年度より基本型へ移行することで、両施設以外 O公共施設等を活用して出張相談・訪問事業などを行うなど、事業を大幅に拡大し、子育て中の保護者に寄り添った 接をしていきます。

提供区域	大磯町全体	指数	実施場所数(か所数)				
実施時期	H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み			3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
②確保方策			3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
2-1			(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



提供区域	大磯町全体		指数	実施場所数(か所数)				
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見)	Σ	2か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
②確保方策				3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

## 5. 自己点検・自己評価

令和6年度から利用者支援事業のこども家庭センター型を実施した。子育て支援総合センター、子育て支援センターと連携し、幅広い相談に応じるための体制を整えた。

1. 事業名	② 地域子育て支援拠点事業
2. 事業概要	子育て中の親子が気軽に集まって、子育てについての情報交換をしたり、お互いの不安・悩みを相談できるよう、子育て支援総合センターでは「つどいの広場」を開催しています。 また、町東部地区では、令和元年10月まで生涯学習館、高麗区民会館、東町福祉館、保健センターにおいて「つどいの広場」を週4日程度開催していましたが、令和元年11月から開設した石坂巻子記念子育て支援センターに集約し、自由遊びや育児相談を行っています。
3. 確保方策	令和元年度より、新たに石坂巻子記念子育て支援センターを開設し、町東部地域の拠点として、子育て支援ニーズに対応できるようになっています。 今後は、さらなる子育て支援ニーズに対応できるよう運営方法なども含め検討していきます。

提供区域	大磯町全体			指数	年間延べ利用者数(人) ※利用人数×利用回数×12月			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み		16,809人		17,052人	16,905人	16,316人	15,766人	15,344人
②確保方策				常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所
				17,052人	16,905人	16,316人	15,766人	15,344人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



提供区域	大磯町全体			指数	年間延べ利用者数(人) ※利用人数×利用回数×12月			
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見)	7	常設1か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所
(1) 天順・兄)	Δ	12,641人	13,807人	5,817人	7,610人	10,608人	12,001人	11,127人
②確保方策				常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所
				17,052人	16,905人	16,316人	15,766人	15,344人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

### 5. 自己点検・自己評価

新型コロナウイルス感染症対策で中断していたランチタイムを令和6年度に再開し、親子にとってより過ごしやすい環境を整えた。また、令和6年度から子育て支援総合センターと子育て支援センターを「地域子育て相談機関」としても位置づけ、ひろばでのコンシェルジュなどへの相談に対し、「こども家庭センター」と適宜情報共有を行い、連携して相談支援に当たることができた。

1. 事業名	③ 妊婦健診
2. 事業概要	妊婦や胎児の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。大磯町では、母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査費用を補助するため、14枚の補助券を交付し、基本的な妊婦健診と健診に伴う自費の検査費用を補助しています。
3. 確保方策	実施は医療機関に委託している事業ですが、委託契約されていない診療機関において受診した場合でも、本人には 償還払いされる形で対応しています。

提供区域	大磯町全体			指数		年間延べ利用者数(人) ※年間利用人数×利用回数			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
①実績・見込	Σ	2,024人		2,674人	2,590人	2,534人	2,436人	2,366人	
②確保方策				2,674人	2,590人	2,534人	2,436人	2,366人	
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	



提供区域	大磯町全体			指数		年間延べ利用者数(人回) ※年間利用人数×利用回数			
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	
①実績		2,024人	1,805人	1,875人	1,754人	1,488人	1,461人	1,167人	
②確保方策			2,674人	2,674人	2,590人	1,894人	1,865人	1,582人	
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	

## 5. 自己点検・自己評価

里帰り等で委託契約されていない医療機関等を受診した場合は、償還払いで対応した。妊婦の健康管理を図る上で重要な事業であるため、受診等についての周知を徹底し、妊婦の健康の保持及び増進が図られるよう本事業を継続実施していく。

1. 事業名	④ 乳児家庭全戸訪問事業
2. 事業概要	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うぼか、療育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業で、大磯町では「新生児訪問」「こんにちは赤ちゃん事業」として実施しています。 【新生児訪問】初めてのお子さんが生まれた時に、助産師が訪問し、発育の確認や育児などの相談を実施しています。 【こんにちは赤ちゃん事業】第2子以降のお子さんが生まれた時に、民生委員・児童委員(主任児童委員含む)が訪問し、4か月児健診の案内や子育て情報の提供、養育状況の確認を行っています。
3. 確保方策	乳幼児家庭全戸訪問事業は、生後4か月までの乳児のいる家庭への訪問ということで、全数を対象としており、引き続き実施していきます。現在、新生児訪問を実施している保健師、助産師数、また、こんにちは赤ちゃん事業は、民生委員・児童委員の活動で実施していただいていますので、現在の実施体制を継続していきます。

	提供区域	大磯町全体			指数	〇歳児の人口推計数(人)			
	実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	①量の見込み				191人	185人	181人	174人	169人
② 確 保	実施体制(保健	建師等)			8人	8人	8人	8人	8人
方策	実施体制(民生委員・!	・児童委員等)			54人	54人	54人	54人	54人
	2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



	提供区域	大磯町全体		<u>.</u>	指数	〇歳児の人口推計数(人)			
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	
① 実	実   年间利用人数		149人	160人	150人	121人	112人	128人	96人
•	> 10011 103 (MINEST S)				8人	8人	8人	8人	6人
見込	実施体制(民生委員・	児童委員等)			53人	53人	50人	52人	45人
② 確	実施体制(保健師等)				8人	8人	8人	8人	10人
方策	保 方 実施体制(民生委員・児童委員等)				53人	53人	50人	54人	45人
	2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

## 5. 自己点検・自己評価

第1子は助産師(委託)、第2子以降は子育てコンシェルジュと民生委員・児童委員が訪問、未熟児や継続的な支援が必要な家庭は町保健師の訪問とし、量の見込みを確保できる体制を整えた。

1. 事業名	⑤ <b>−</b> 1	養育支援訪問事業、その他要支援・要保護児童等支援事業【養育支援訪問事業】
2. 事業概要	があるもの	こ対して不安や孤立感などから養育支援が特に必要な妊産婦(産後概ね1年程度)の家庭(児童虐待の可能性 のを含む)に町職員が訪問し、継続して養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育 確保するための訪問を民間事業者が行っています。
3. 確保方策	民間事業	9年1月より養育支援訪問するに当たり必要な産科、小児科、精神科等の看護に精通する看護職の配置がある 者による訪問を実施し、人員体制を強化しました。 この体制を継続していきます。

提供区域	大磯町全体			指数		相談対応件数(人)			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
①量の見込み	<del>ነ</del>			15人	15人	15人	15人	15人	
② 確 保 実施体制( 方 策	委託)			1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	



	提供区域	大磯町全体			指数		相談対応件数(人)			
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績		
①実績	年間利用人数	女 (人)	4人	4人	4人	12人	9人	15人	O人	
• 見 込	実施体制(	委託)			1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
②確保方策	実施体制(	委託)			1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	
	2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	

### 5. 自己点検・自己評価

養育支援訪問は、1事業所に委託した。令和6年度の利用実績はなし。今後も養育支援が必要な家庭は一定数想定されるため、委託事業所と連携し、本事業を継続実施していく。

1. 事業名	3-2 養育支援訪問事業、その他要支援・要保護児童等支援事業【要保護児童対策地域協議会】
2. 事業概要	虐待をうけている子どもたちや、虐待をうけているのではないかと思われる子どもなどの早期発見や支援を図るたに関係機関が連携し、「要保護児童対策地域協議会」を設置しています。協議会では、関係者間で情報交換と支援 協議を行っています。
3. 確保方策	地域の様々な関係団体、活動団体とも連携を深め、要保護児童の早期発見、適切な保護、対応につなげていきま 。

提供区域	大磯町全体	指数	要保護原	児童数、要支援児童数の相談件数(人)			
実施時期	実施時期 H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	27人		31人	31人	31人	31人	31人
② 確 実施体制 <sub>床</sub> (コーディネーター 策	)		3人	3人	3人	3人	3人
2-1			(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



提供区域	大磯町全体			要保護児	要保護児童数、要支援児童数の相談件数(人)			
実施時期	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	
①実績・見込	27人	82人	107人	138人	178人	196人	174人	
② 確 保 方 方 策			3人	3人	4人	4人	4人	
2-1			(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	

## 5. 自己点検・自己評価

「要保護児童対策地域協議会」の連携を強化し、児童虐待に対応ができるネットワーク体制を強化しながら早期発見、適切な支援や保護、DV等への対応に努めている。また、子ども家庭支援員などの専門職のコーディネーターを配置し、研修などで専門性の向上に努め、児童虐待の早期発見、適切な保護・対応につなげる。

1. 事業名	6	子育て短期支援事業
2. 事業概要	設等に入	の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施 所させ、必要な保護を行う事業(ショートステイ)及び、夜間養護等事業(トワイライトステイ事業)のこ 大磯町ではこれまで実施していません。
3. 確保方策		トステイについては児童相談所等を介しての代替サービスにつなげていきます。 トワイライトステイについてはファミリー・サポート・センターの利用などにつなげていきます。

	提供区域			指数	年間利用延べ人数(人) ※年間利用人数×利用日数			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	①量の見込み	0人	1	1人	1人	1人	1人	1人
② 確 保	ショートステイ			1人	1人	1人	1人	1人
方策	トワイライトステイ			1人	1人	1人	1人	1人
	2-1		] \		(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



	提供区域	· 区域 大磯町全体		指数	年間利用延べ人数(人) ※年間利用人数×利用日数				
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	
	①実績・見込	<u> </u>	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
② 確 保	ショートス	ステイ			0人	0人	0人	1人	0人
方策トワイライトステイ				0人	0人	0人	1人	0人	
	2-1				_	_	_	_	_

# 5. 自己点検・自己評価

施設側と調整したうえで、事業の実施について検討を進める。

1. 事業名	⑦ ファミリー・サポート・センター事業
2. 事業概要	育児の援助をしてほしい方(依頼会員)と援助したい方(協力会員)、そして依頼会員として子どもを預かってもらうこともあるが、時には預かることも可能な方(両方会員)とで会員を組織して、地域において会員同士で子育てを支援する相互援助活動を行うことを支援する事業です。 依頼会員:町内在住の、生後3か月から小学校6年生までのお子さんがいる方。 援助会員:町内在住で保育等に理解と情熱のある健康な方。(資格なし、研修あり)
3. 確保方策	ファミリー・サポート・センター事業は引き続き、依頼会員・援助会員による活動を促進していきます。また、援助会員数の拡充を目指すとともに、支援内容の充実や援助会員のスキルアップを図ります。

提供区域	大磯町全体			指数	年間利用延べ人数(人) ※年間利用人数×利用日数			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	<i>y</i>	373人		339人	339人	339人	339人	339人
②確保方策				339人	339人	339人	339人	339人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数(人) ※年間利用人数×利用日数			
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見込		373人	441人	415人	608人	395人	502人	433人
②確保方策				415人	608人	395人	502人	433人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

# 5. 自己点検・自己評価

依頼会員に対し、援助会員数が十分に確保できているとはいえず、援助会員数の確保に努める必要がある。

1. 事業名	⑧-1 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育):一時預かり
	幼稚園及び幼保連携型認定こども園に在園する児童を対象に、通常の教育時間の前後や、土曜・日曜・長期休業 期間中に幼稚園が行う教育活動のことです。
2. 事業概要	公立幼稚園(2園) :週3回 14時~17時 ※令和4年度から週5回。 ※認定こども園移行までの間の待機児童対策として、令和5年度から大磯幼稚園のみ 14時~18時に拡充、早朝保育を新規実施(7時30分~9時) 私立こいそ幼稚園 :平日 7時30分~9時 14時~17時30分まで(長期休暇期間中も実施) 認定こども園あおばと:平日 7時~9時 14時~18時まで(長期休暇期間中も実施)(平成28年度~) サンキッズ国府 :平日 7時~9時 14時~19時まで(長期休暇期間中も実施)(平成30年度~)
3. 確保方策	町では、私立幼稚園及び私立幼保連携型認定こども園が預かり保育を平日及び長期休業中に実施しているため、一定の数は確保されています。 女性の社会進出がより一層進むことを考慮し、計画期間中は公立で実施している週3回の預かり保育の実施に加え、長期休業中にも複数日実施することで、ニーズ対応してまいります。

提供区域				指数	年間利用延べ人数(人) ※年間利用人数×利用日数			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1	1号認定による利用	7,472人		6,151人	6,060人	6,356人	6,379人	5,968人
<del> </del>	2号認定による利用	-	\	228人	251人	296人	319人	319人
ズ 量	小計	7,472人		6,379人	6,311人	6,652人	6,698人	6,287人
	②確保方策			5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
				6,379人	6,311人	6,652人	6,698人	6,287人
	2-1			(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



	提供区域			指数	年間利用延べ人数(人) ※年間利用人数×利用日数				
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	
1	1号認定によ	る利用	5,843人	5,392人	5,263人	6,546人	10,046人	10,346人	15,203人
ーズ	2号認定によ	る利用	-	-	20人	0人	0人	0人	0人
量	小計		5,843人	5,392人	5,283人	6,546人	10,046人	10,346人	15,203人
	②確保方策				5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
					5,283人	6,546人	10,046人	10,346人	15,203人
	2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

### 5. 自己点検・自己評価

一時預かり事業については、町立大磯幼稚園の認定こども園移行までの間の待機児童対策として、令和6年度から大磯幼稚園で早朝保育(7:30~9:30)を新たに開始するとともに、保育時間終了後の預かり保育時間を1時間延長(17:00→18:00)し、実施体 制の拡充を行った。
今後についても、各園と連携を図り、引き続き事業を実施していく。

1. 事業名	⑧-2 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外:一時保育
2. 事業概要	保護者の断続的・短時間の就労等や傷病、冠婚葬祭等、または育児等に伴う心理的・肉体的負担を解消するなどの通常保育所の対象外の児童に対し、一時的な保育サービスを実施する事業です。 サンキッズ大磯: 平日・土曜日 7時から20時まで 日曜日・祝日 8時から18時までサンキッズ国府: 平日 7時から19時まで土曜日 7時から18時まで土曜日 7時から18時まで
3. 確保方策	現在、サンキッズ大磯及びサンキッズ国府において実施しています。また、サンキッズ大磯では休日保育も実施 しており、今後も多様なニーズに対応するため、事業の継続実施を支援していきます。

提供区域		大磯町全体			年間延べ利用者数(人) 年間利用人数×利用日数			
実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込む	み	2,436人		2,675人	2,652人	2,661人	2,631人	2,599人
②確保方策				2,675人	2,652人	2,661人	2,631人	2,599人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



提供区域	大磯町全体			指数	年間延べ利用者数(人) 年間利用人数×利用日数			
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見込	①実績・見込		2,358人	1,857人	1,564人	1,353人	1,769人	1,568人
②確保方策				1,857人	1,564人	1,353人	1,769人	1,568人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

## 5. 自己点検・自己評価

一時保育事業については、サンキッズ大磯、サンキッズ国府において実施しているが、今後についても、各園と連携を図り、引き続き事業を実施していく。

1.	事業名	9	延長保育事業	
2.	事業概要	ども園、 ・サン ・国府 ・もあ ・認定	小規模保育事業所に キッズ大磯 保育所 なこびとのこや	平日 18時から19時まで
3.	確保方策			. 十分な対応が可能です。サービスを継続するとともに、就労する保護者の増加やそ サービス提供となるよう工夫します。

	提供区域     大磯町全体		指数	年間利用実人数(人)					
	実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	①量の見込み		10,784人		11,642人	11,704人	11,704人	11,704人	12,486人
②確保方策	実施施設数	Į.			5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
方策	実施体制(人)	)			20人	20人	20人	20人	20人
	2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)



	提供区域			指数	年間利用実人数(人)				
	実施時期		H30年度 R1年度 実績 実績		R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績	年間利用実人	数(人)	10,784人	10,637人	7,617人	7,553人	9,270人	8,566人	8,566人
•	実施施設	数			5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
見込	実施体制(	(人)			20人	20人	20人	20人	20人
② 確 保	実施施設	数			5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
方策	実施体制(	(人)			20人	20人	20人	20人	20人
	2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

# 5. 自己点検・自己評価

延長保育事業については、現行の事業実施により対応ができた。 今後についても、各園と連携を図り、引き続き事業を実施していく。

1. 事業名	⑩ 病児・病後児保育事業
2. 事業概要	児童が病中または病気の回復期にあって集団保育が困難な期間、保育所や医療機関等に付設された専用スペース等において保育及び看護ケアを行う事業です。 ・認定こども園あおばと 平日 7時30分から18時30分まで(平成28年度~)
3. 確保方策	町内では、平成28年度に幼保連携型認定こども園あおばとが開園し、同年6月から病後児保育事業を開始しました。 また、平成30年度からは広域利用として、隣接する二宮町の児童の利用を可能としています。

提供区域       大磯町全体			指数	年間利用延べ人数(人) 年間利用人数×利用日数						
	実施時期	H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	①量の見込み 78人		] \	90人	90人	90人	90人	90人		
②確保方策	病後児保育事業			90人	90人	90人	90人	90人		
	2-1		] \		(確保)	(確保)	(確保)	(確保)		



提供区域     大磯町全体		指数	年間利用延べ人数(人) 年間利用人数×利用日数					
実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
①実績・見	①実績・見込		65人	20人	41人	43人	60人	53人
② 確保 病後児保 方策	<b>育事業</b>			20人	41人	43人	60人	53人
2-1				(確保)	(確保)	(確保)	(確保)	(確保)

# 5. 自己点検・自己評価

子どもの病気回復期の集団保育が困難な時期に保育を行うことで、保護者の子育てと就労の両立の支援を実施した。 また、委託先のあおばとの看護師により、町内各園に「もりのうさぎだより」を発行し、子どもの健康づくりの一助としての役割を果たした。 今後についても、受託先の事業者と連携を図り、引き続き事業を実施していく。

#### 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策(地域子ども・子育て支援事業)の進捗シート

1. 事業名	⑪ 放課後児童クラブ
2. 事業概要	就労等により昼間保護者のいない家庭の児童に対し、授業終了後や長期休暇期間中の適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業で、大磯町では大磯学童保育クラブ及び国府学童保育クラブの2箇所で実施しています。
3. 確保方策	現在の施設でニーズ量は満たされますが、保護者の多様な就労形態やニーズに対応できるよう、引き続き運営委託先の事業者と連携を図ってまいります。 また、全児童を対象とした放課後子ども教室との連携に努めてまいります。

### 4. 進捗状況

#### 【大磯学童保育クラブ】

	提供区域     大磯町全体			指数	実利用者数				
	実施時期	H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
1	低学年	80人		86人	79人	69人	66人	67人	
1	高学年	33人		44人	43人	44人	39人	35人	
る量	合計	113人		130人	122人	113人	105人	102人	
	②確保方策			131人	131人	131人	131人	131人	
	2-1		\	1人	9人	18人	26人	29人	



	提供区域		大磯町全体	<u>z</u>	指数	実利用者数			
	実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
① 実	低学年		84人	90人	101人	108人	134人	140人	151人
績	高学年		34人	40人	44人	39人	40人	37人	40人
見込	合計		118人	130人	145人	147人	174人	177人	191人
	②確保方策				145人	147人	174人	180人	193人
	2-1				0人	0人	0人	3人	2人

#### 【国府学童保育クラブ】

	提供区域    大磯町全体		指数		実利用者数				
	実施時期		H30年度 実績		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1	低学年		46人		64人	59人	51人	50人	50人
1	高学年		24人		33人	33人	33人	28人	25人
ズ 量	合計		70人		97人	92人	84人	78人	75人
	②確保方策				112人	112人	112人	112人	112人
	2-1				15人	20人	28人	34人	37人



	提供区域         大磯町全体			指数	実利用者数				
	実施時期		H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績
① 実	低学年		68人	80人	72人	67人	66人	75人	86人
績	高学年		22人	24人	33人	37人	45人	35人	26人
見込	合計		90人	104人	105人	104人	111人	110人	112人
	②確保方策				112人	112人	112人	112人	112人
	2-1				7人	8人	1人	2人	0人

# 5. 自己点検・自己評価

現在、大磯学童保育クラブにおいて確保方策を超える利用ニーズとなっているが、職員体制や児童の安全性の確保を考慮した上で、小学校の敷地内の空いているスペース等を活用しながら、保護者の多様な就労形態やニーズに対応できるよう努めている。 今後についても、受託先の事業者と連携を図り、引き続き事業を実施していくとともに、新たな学童保育の実施場所の確保に向け検討する。

# 5. 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン総括

「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン」では、人口減少や少子高齢化など、こどもを取り巻く環境が大きく変化する中、基本方針として①安心して子どもを産み、育てられる子育て環境づくりの促進、②家庭、地域、行政が連携し子どもを育てていく体制づくりの促進、③多様な保育サービスなど子育て支援機能の充実を掲げ、さまざまな施策に取り組んできました。令和6年度に計画期間最終年度を迎え、令和7年度から令和 II 年度を計画期間とするこどおも計画での事業に反映させるため、第2期大磯町子ども笑顔かがやきプランの総括を行いました。

## 1. 計画の目標値と達成状況

第2期計画では、総人口に対する0~14歳人口の割合を評価指標として設定しました。しかし、令和6年度時点での割合は10.6%と、目標値を0.9ポイント下回っており、計画開始年度である令和2年度から徐々に減少傾向にあります。この目標値は達成できませんでした。

評価指標(%)	現況 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標值
0~14 歳の人口割合	11.5	11.1	11.1	10.9	10.8	10.6	11.5

<sup>※</sup> 年齢別人口統計をもとに算出しています。

# 2. 計画事業の進行状況と評価

令和2年度から令和6年度までの計画期間中、毎年度、事業の進行管理を実施し、令和4年度には中間評価を行い、事業見込や確保方策を修正し、施策の改善などに取り組んできました。

#### (1) 年度別にみる事業評価

各年度の事業評価をみると、計画開始年度の令和2年度は、61 事業がA評価であったのに対し、令和3年度、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の縮小や中止で、A評価がそれぞれ56事業、57事業と減少しています。令和5年度になり、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことにより、67事業がA評価となっており、最終年度である令和6年度は、66事業がA評価になっています。

なお、令和6年度において事業評価がC評価となっている事業は、「平和学習」と「子育 て短期支援事業」の2事業あり、事業実施にあたっての調整がつかなかったことにより未実 施となっています。

		評価			
年度	Α	В	С	事業数	
令和2年度	61	33	ı	95	
令和3年度	56	38	ı	95	
令和4年度	57	34	4	95	
令和5年度	67	25	3	95	
令和6年度	66	27	2	95	

#### 【評価】

- A 事業目標を達成した、または達成した事業を継続的に実施できている。
- B 事業目標に達していないが、概ね成果が あった。
- C 事業が未着手、または検討段階にある。

## (2) 基本目標別にみる事業評価

基本目標ごとの継続的に事業実施している A 評価と概ね成果があった B 評価を合わせた事業数を計画開始年度の令和2年度と比較すると、年度ごとの増減はあるものの基本目標 I ~ 5 いずれも同数の評価となっています。

基本目標(A・B 評価の合計)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
I	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	19	19	18	18	19
2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	16	16	15	16	15
3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	23	23	23	23	23
4	地域が支える子育て環境づくり	13	13	13	13	13
5	子育てと仕事の両立支援	12	12	П	П	12
6	心配りが必要な子どもたちへの支援	П	П	П	П	11

## 3. 総括

現状と課題:「0~14 歳人口の割合」という目標値は達成できませんでした。また、事業評価で A または B と概ね成果があったと評価した事業においても、利用者数や利用率のさらなる向上が見込まれる取り組みもあります。また、計画どおり実施できていない取り組みもあります。

**今後の展望:**進行管理を徹底し、各所管課が把握している課題に基づき、効率的かつ効果 的な事業運営をめざし、既存事業の実施方法の見直しや、新たな事業の展開を積極的に図る 必要があります。

また、新規事業の展開において、大磯町だけでなく、国、神奈川県、近隣自治体及び民間企業などとの連携・協力を強化し、より広域的かつ多角的な支援体制を構築する必要があります。

「大磯町こども計画」に向けて:次期計画である「大磯町こども計画」における事業実施 にあたっては、より質の高いこども・子育て支援サービスを実現するため、こども・若者、 そして子育て当事者からの声を積極的に聴き、反映させることで、新規事業の提供や既存事 業のさらなる充実を図ってまいります。

# 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン

# 進行管理書《令和6年度》

令和7年6月

大磯町町民福祉部子育て支援課

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183

電話 0463(61)4100 内線305・306